

プリンタードライバー 操作手順書



使用条件

このガイドのすべて、または一部を許可なく複製することは禁じられています。

このガイドに含まれる情報は、予告なく変更される場合があります。

ここに記載された情報には関係なく、本製品の使用に伴って生じたいかなる問題にも、当社は責任を負いません。

商標について

Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®、Windows Vista®、および Windows Server® は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。KPDL は、Kyocera Corporation の商標です。PCL® は、Hewlett-Packard Company の商標です。TrueType® と Mac OS® は、Apple Inc. の登録商標です。Adobe®、Acrobat®、Adobe Reader®、Photoshop® および PostScript® は Adobe Systems, Incorporated の商標です。本書で使用されているその他のすべてのブランド名および製品名は、それを所有する各企業の登録商標または商標です。

本書で説明している操作は、Windows 7 の印刷環境での操作を例としています。操作方法は Microsoft Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows Vista、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2、および Windows Server 2008 環境で、基本的に同じです。

本書で使用している表示画面などは、使用するプリントデバイスによって、本書と異なる場合があります。

本書は 7.0 ドライバー向けに作成されたものです。

目次

1 インストール

ドライバー	1-1
ドライバーのインストールを準備する	1-1
SNMP 設定	1-2
SNMP 設定を選択する	1-2
データ収集	1-2
エクスプレスインストール	1-3
エクスプレスインストールを使用してインストールする	1-3
カスタムインストール	1-4
カスタムインストールを使用してインストールする	1-5
配布用のパッケージを作成する	1-6
ユーティリティのみをインストールする	1-7
ドライバーのプロパティを編集する	1-8
ユーティリティのプロパティを編集する	1-8
アップグレード	1-9
ドライバーコンポーネントをアップグレードする	1-9
メンテナンス	1-9
プリンターの追加コンポーネント	1-10
ドキュメント	1-11
アンインストール	1-11
ドライバーコンポーネントをアンインストールする	1-11
プリンタードライバーの設定について	1-11
デフォルトのドライバー設定を変更する	1-11

2 ドライバーの概要

オーバービューイメージ	2-1
印刷設定で PDL を選択する	2-2
設定リスト	2-2
印刷プレビュー	2-2
印刷ジョブをプレビューする	2-3
Kyocera ロゴ	2-3
バージョン情報を表示する	2-3
プラグイン情報を表示する	2-3
使用状況の情報を提供する	2-4

3 デバイス設定

デバイス設定へアクセスする	3-1
デバイスオプション	3-1
使用できるオプションを設定する	3-1
ユーザーボックスを設定する	3-2
自動設定	3-2
自動設定を有効にする	3-3
メモリー	3-3
管理者設定	3-3
一般	3-3

簡単設定タブを表示する	3-3
カウント情報	3-4
アプリケーション名を発行	3-4
アプリケーション別の印刷設定を有効にする	3-4
パスワードで管理者設定を保護する	3-4
初期設定プロファイルを隠す	3-5
下のペインを隠す	3-5
SNMP 設定	3-5
SNMPv3 オプション	3-6
ジョブの E メール通知	3-7
E メール通知オプションを選択する	3-7
ロック設定	3-7
ロック設定のオプション	3-7
ドライバー設定をロックする	3-8
ユーザー管理	3-9
ユーザー管理のオプション	3-9
ユーザー管理を使用して印刷する	3-10
部門管理	3-11
部門管理オプション	3-11
部門コードリストを取得する	3-12
部門コードを追加または編集	3-12
部門管理を使用して印刷する	3-13
Net Manager	3-13
Net Manager オプションを選択する	3-14
Net Manager を使用して印刷する	3-15
ユーザー設定	3-15
ユーザー登録	3-15
単位	3-16
ページ記述言語 (PDL)	3-16
PDL オプション	3-16
PDF	3-19
PDFオプション	3-19
XPS ドライバー	3-21
XPS オプション	3-21
互換性設定	3-22
給紙方法の設定	3-22
ドライバーの部単位設定を優先する	3-22
給紙元リストにメディアタイプも表示する	3-22
プラグインを削除する	3-23

4 簡単設定

簡単設定オプション	4-1
印刷の向き	4-1
カラー	4-2
部単位印刷	4-2
両面印刷	4-2
ページ集約	4-3
エコプリント	4-3
ステープル	4-4
パンチ	4-4
簡単設定オプションの編集/追加	4-4
簡単設定オプションを選択する	4-4
プロファイル	4-5
プロファイルを選択する	4-5
プロファイルを保存する	4-5
プロファイルを編集する	4-6
プロファイルを削除する	4-7

プロファイルをインポートする	4-7
プロファイルをエクスポートする	4-7
アプリケーション別の印刷設定	4-7

5 基本設定

出力用紙サイズ	5-1
原稿サイズ	5-1
カスタム用紙サイズを作成する	5-2
カスタム用紙サイズを削除する	5-2
カスタム用紙サイズを使用して印刷する	5-2
用紙種類	5-3
給紙元	5-3
排紙先	5-3
メールボックス	5-3
メールボックスへ印刷ジョブを送信	5-3
部数	5-4
カーボンコピー	5-4
カーボンコピーを印刷する	5-4
一括コピー	5-4
一括コピーで印刷する	5-5
部単位印刷	5-5
文書を部単位印刷する	5-6
印刷の向き	5-6
両面印刷	5-6
両面印刷モードで印刷する	5-7
カラー	5-7
エコプリント	5-8
エコプリントを選択する	5-8

6 レイアウト

ページ集約	6-1
ページ集約印刷する	6-2
縮小/拡大	6-2
ページ内での縮小/拡大を設定する	6-2
とじしろ	6-2
とじしろを作成する	6-2
全面印刷	6-3
全面印刷で印刷する	6-3
ポスター印刷	6-4
ポスターを印刷する	6-4
ブックレット印刷	6-5
ブックレットを印刷する	6-5

7 仕上げ

仕分け	7-1
振り分け	7-1
回転ソート	7-2
3つ折り	7-2
3つ折り印刷する	7-2
2つ折り	7-3
2つ折り印刷する	7-3
とじ指定	7-3
とじ指定のオプション	7-4
とじ指定を設定する	7-4
とじしろ	7-5

とじしろを作成する	7-5
ステープル	7-5
文書をステープルする	7-6
パンチ	7-6
印刷ジョブの実行時にパンチ穴をあける	7-6

8 印刷品質

印刷品質とカスタム品質	8-1
印刷品質の選択	8-1
印刷品質を選択する	8-2
トラッピング	8-2
トラッピング値を設定する	8-2
フォント詳細設定	8-3
フォント詳細設定オプション	8-3
フォント詳細設定を選択する	8-4
フォント代替えを設定する	8-4
プリンターフォントを無効にする	8-5
グラフィック詳細設定	8-5
パターンスケーリング	8-5
細線化	8-5
ハーフトーンスクリーン	8-6
反転のオプション	8-6
イメージデータ方式	8-6
CIE オプション	8-7
画像処理オプション	8-7
光沢モード	8-7
エコプリント	8-7
エコプリントを選択する	8-8
カラー	8-8
色再現モード	8-8
中国紅	8-9
色合わせ	8-10
色調整	8-12
カスタム色調整を選択する	8-12
HSL (色相、彩度、明るさ) を調整する	8-12
カラーバランスを調整する	8-13
白黒印刷のバランス調整	8-13
白黒設定を調整する	8-13
色変換処理	8-14
色の組み合わせ	8-14
色の組み合わせを選択する	8-15
テキストと図の効果	8-15

9 表紙/合紙

表紙付け	9-1
表紙付けオプション	9-2
表紙を印刷する	9-4
OHP 合紙	9-5
OHP フィルム間へ合紙を挿入する	9-5
合紙	9-5
合紙印刷の組み合わせ	9-6
合紙を印刷する	9-6
インデックス紙	9-7
インデックス紙のオプション	9-7
インデックス紙を挿入する	9-10
章分けの挿入	9-11

章（指定したページ）で分けて印刷	9-11
------------------------	------

10 ジョブ保存

ジョブ拡張機能	10-1
ジョブ拡張機能のオプション	10-2
ユーザーボックス	10-2
ユーザーボックスにジョブを保存する	10-2
クイックコピー	10-3
クイックコピージョブを印刷する	10-4
試し刷り後、保留	10-4
試し刷り後、保留ジョブを印刷する	10-4
プライベートプリント	10-4
プライベートプリントジョブを保管する	10-5
ジョブ保留	10-5
ジョブ保留ジョブを保管する	10-5
ユーザー管理	10-6
ユーザー管理を使用して印刷する	10-6
部門管理	10-6
部門管理を使用して印刷する	10-6
ジョブ名	10-7
アプリケーション名をジョブ名に使用しない	10-7
上書きモード	10-7
ジョブ名を選択する	10-7

11 拡張機能

プロローグ/エピローグ	11-1
挿入箇所オプション	11-2
プロローグ/エピローグファイルの選択および割り当てをする	11-2
プロローグ/エピローグファイルを編集する	11-3
プロローグ/エピローグファイルを削除する	11-3
ウォーターマーク	11-3
ウォーターマーク文字列を追加または編集する	11-4
ウォーターマークイメージを追加または編集する	11-5
セキュリティ・ウォーターマーク	11-6
セキュリティ・ウォーターマークを追加または編集する	11-7
単色調整	11-9
RGB 色を印刷向けに最適化する	11-9
ステータスマニター通知	11-10
ステータスマニター通知を設定する	11-10
ステータスマニターを表示する	11-11
EMF スプール	11-12
EMF スプールを選択する	11-12
クライアントプロファイルを有効にする	11-12

1 インストール

プリンタードライバーは、プリンターと PC 間の通信を制御するアプリケーションです。

インストールが完了したら、プリンターの **[プロパティ]** および **[印刷設定]** 画面でプリンタードライバーの設定を行います。

[Product Library] ウィンドウには、インストール方法が2つあります。**[エクスプレスインストール]** は、ドライバーとパッケージ形式にまとめた特定の機能を選択して、すばやくインストールする方法です。**[カスタムインストール]** では、任意のドライバーとユーティリティを選択することができます。

[アップグレード] では、ドライバーとユーティリティを最新のバージョンに更新できます。これは、アップグレードが必要な製品がある場合にのみ利用できます。クライアント/サーバー環境では、古いドライバーをアップグレードできません。詳しくは、プリントデバイスの販売店にお問い合わせください。

[メンテナンス] では、特定のユーティリティを実行できます。リリースノート、本体の使用説明書、その他のマニュアルを表示するには、**[ドキュメント]** を選択します。**[アンインストール]** では、ドライバーとユーティリティを削除できます。

参考: [Windows にプリンタードライバーをインストールする場合は、管理者権限を持ったユーザーでログインする必要があります。](#)

ドライバー

Windows 10、Windows 8.1、Windows Server 2012 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows Vista、および Windows Server 2008 の場合、プリントデバイスが USB で接続され、認証ドライバーが利用可能で PC がウェブに接続している環境では、ドライバーは Microsoft Windows Update からインストールできます。

ドライバーの拡張機能を利用できるように、提供されているインストールディスクからのドライバーのインストールを続行することをお勧めします。Windows で、インストール中に **[新しいハードウェアの検索ウィザード]** ダイアログボックスが開いた場合は、**[キャンセル]** をクリックします。**[ハードウェアのインストール]** 警告ダイアログボックスが開いたら、**[このドライバーソフトウェアをインストールします]** をクリックします。

ドライバーのインストールを準備する

- 1 PC とプリンターの電源を入れます。
- 2 ホームページからダウンロードしたインストーラーのZIPファイル解凍し、**[7 and newer]** フォルダー内の **[setup.exe]** をダブルクリックします。

- 3 表示される使用許諾契約書を読み、同意して、次に進みます。

SNMP 設定

簡易ネットワーク管理プロトコル ([SNMP]) は、デバイスエージェントの管理およびネットワーク管理システムを制御する、アプリケーションレイヤーのプロトコルです。プリントデバイスなどの管理対象デバイスは、ネットワーク管理システム用の管理情報を収集して格納します。

[SNMP 設定] アイコンで、デバイスの検出中に使用される [SNMP v1/v2] [リードコミュニティ名] を指定できます。この名前は、SNMP 通信のパスワードのようなものです。デフォルトの名前は、[public] です。

また、利用可能なオプションを選択して、[SNMPv3] 暗号化と認証を指定することもできます。

検出中または最低 1 つの検出デバイスが [デバイス] リストに追加されている場合、[SNMP 設定] アイコンは使用できません。

参考: インストール中に選択された [SNMP] 設定は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [一般] の [SNMP] 設定には影響しません。

SNMP 設定を選択する

- 1 [Product Library] ウィンドウで、[エクスプレスインストール] または [カスタムインストール] をクリックします。
- 2 [デバイス] ボックスの下にある、[SNMP 設定] アイコンをクリックします。
- 3 [Product Library] ダイアログボックスで、以下のオプションのいずれかを選択することができます。
 - [SNMP v1/v2 を使用]
 - [リードコミュニティ名] を入力します。
 - [SNMP v3 を使用]
 - [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。必要に応じて、[認証] と [プライバシー] のオプションを設定します。
- 4 [初期値に戻す] をクリックすると、デフォルトの設定に戻すことができます。
- 5 [OK] をクリックします。

参考: 異なる [リードコミュニティ名] を入力した場合、[デバイス] リストがクリアされます。[更新] アイコンをクリックして、デバイスを再検出します。

データ収集

プリンタードライバーのソフトウェア品質向上のために、匿名で [データ収集] への参加を選択できます。この選択は、インストール中、または [デバイス設

定] および [印刷設定] ダイアログボックスの下部にある [Kyocera] ロゴの [バージョン情報] ダイアログボックスから行えます。

エクスプレスインストール

【エクスプレスインストール】 は、Windows オペレーティングシステムで USB またはネットワーク接続されているデバイス、ドライバー、ユーティリティを簡単にインストールします。インストーラーは、USB またはネットワークケーブルで接続され、電源の入ったデバイスを検出します。同時に 1 つ以上の機能パッケージをインストールできます。

インストーラーで目的のプリントデバイスが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

参考: **【ステータスマニター】** を使用するには、.NET Framework 4.0 以降をインストールする必要があります。

エクスプレスインストールを使用してインストールする

- 1 お使いのプリントデバイスとコンピューターの電源が入っていて、USB またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。
- 2 **【エクスプレスインストール】** では、インストーラーが接続されているプリントデバイスを検出します。検出されたデバイスは、モデル名とポート名が示されたアイコンとしてすべてデバイスリストに表示されます。
目的のデバイスが検出されたら、デバイスリストでモデルを選択します。
目的のデバイスが見つからない場合、USB またはネットワークケーブルを取り外し、再度挿入後、適切に接続されているか確認します。**【更新】** アイコンをクリックして、デバイスを再検出します。
- 3 また、デバイスリストの上にある検索ボックスに、完全または一部の検索文字列を入力して、デバイスを検出することもできます。モデル名、IP アドレス、ホスト名、または USB ポートでデバイスを検索できます。結果はデバイスリストに表示されます。目的のデバイスが検出された場合、それを選択します。テキストボックスをクリアする場合は **[x]** アイコンをクリックし、検出されたすべてのデバイスのリストに戻ります。
- 4 **【ポート名にホスト名を使用】** を選択して、標準 TCP/IP ポートのホスト名を使用するように設定することもできます。(USB 接続は利用できません。)
- 5 インストーラーは、機能リストにあるすべての機能を自動的に選択します。各機能のチェックボックスをオンにしたりオフにしたりできます。
- 6 設定を確認します。**【インストール】** ボタンを有効にするために、デバイスと機能を最低 1 つ選択する必要があります。設定が正しいことを確認して、**【インストール】** をクリックします。
- 7 インストールが続行される前に、**【データ収集】** ダイアログボックスが表示されます。必要に応じて **【はい】** または **【いいえ】** を選択します。**【OK】** をクリックします。インストールが続行されます。
- 8 インストールが正常に終了すると、**【完了】** ページで、次のオプションを選択できます。プリンター ドライバーのインストール後にのみオプションが表示されます。

【テストページを印刷】

このチェックボックスを選択し、プリントデバイスの接続と動作をテストします。正常にインストールされている場合、コンピューター名とプリンタードライバーの情報、およびポート設定が含まれた **[Windows プリンターテストページ]** が、新たにインストールされたプリントデバイスで印刷されます。

【イベントの通知を有効にする】

【ステータスマニター通知】 ダイアログボックスで、イベントの通知を有効にするチェックボックスを選択します。**【拡張機能】** タブの **【ステータスマニター】** をクリックすると、**【ステータスマニター通知】** ダイアログボックスが表示されます。

【簡単設定タブを表示する】

【簡単設定】 タブは、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義しておき、印刷時に簡単に呼び出して使用することを可能にします。**【簡単設定タブを表示する】** オプションは、**【デバイス設定】** > **【管理者設定】** > **【一般】** でも表示されます。

プラス (+) アイコンをクリックし、オプションのリストを展開します。

【初期画面を簡単設定タブにする】 オプションを使用すると、ドライバーを開いた際に最初に表示されるタブが **【簡単設定】** タブとなります。

【初期画面を基本設定タブにする】 オプションを使用すると、ドライバーを開いた際に最初に表示されるタブが **【基本設定】** タブとなります。

【簡単設定タブ以外を隠す】 オプションを使用すると、ドライバーのタブが **【簡単設定】** タブのみとなります。

9 インストーラーを終了するには、**【完了】** をクリックします。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。**【完了】** をクリック後、問題を解決し、再度インストールしてください。同じメッセージが再表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリントデバイスのインストールが完了しました。必要に応じて、コンピューターを再起動してください。

カスタムインストール

【カスタムインストール】 は、Windows オペレーティングシステムで USB またはネットワーク接続されているデバイス、ドライバー、ユーティリティを任意にインストールします。インストーラーは、USB またはネットワークケーブルで接続され、電源の入ったデバイスを検出しますが、プリントデバイスの機種とポート名を手動で選択することもできます。

【カスタムインストール】 で選択した項目は、青い背景で表示されます。**【デバイス】** リストから 1 つ以上の製品をインストールできますが、必ず製品を選択し、**【インストールするプロダクト】** リストに移動する必要があります。

【カスタムインストール】 ダイアログボックスで **【ユーティリティ】** タブを選択することによって、プリントデバイスまたはドライバーなしで、ユーティリティをインストールできます。**【ユーティリティ】** リストで選択したユーティリティを、**【インストールするプロダクト】** に移動させます。

【インストール】 ボタンの横にある右向きの矢印をクリックすることによって、**【インストールするプロダクト】** にあるすべてのドライバーおよびユーティリティの、**【パッケージ】** ファイル (.EXE) を作成することができます。アップデートの必要があるコンピューターが多い場合でも、各コンピューターごとにインストーラーを実行する必要はありません。作成したパッケージをメールや共有ドライブ経由で配布することができます。各ユーザーは、そのパッケージをコンピューターで実行することにより、ドライバーやユーティリティを自動的にインストールすることができます。

インストーラーで目的のプリントデバイスが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

参考: **【ステータスマニター】**を使用するには、.NET Framework 4.0 以降をインストールする必要があります。

カスタムインストールを使用してインストールする

- 1** お使いのプリントデバイスとコンピューターの電源が入っていて、USB またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。
- 2** **【Product Library】** ウィンドウで、**【カスタムインストール】** をクリックします。
プリントデバイスを検出する場合は、手順 **3** に進みます。プリントデバイスのモデルやポート名を追加する場合は、手順 **5** に進みます。
- 3** **【カスタムインストール】** ウィンドウでは、接続されているプリントデバイスを、インストーラーが検出します。または、デバイスリストの上にある検索ボックスに、完全または部分的な検索文字列を入力すると、モデル名、IP アドレス、ホスト名、または USB ポートでデバイスの絞り込み検索が可能です。検出されたプリントデバイスは、モデル名とポート名が示されたアイコンとしてすべて **【デバイス】** リストに表示されます。プリントデバイスが検出されなければ、手順 **5** に進みます。
- 4** **【デバイス】** リストからプリントデバイスを選択し、青い矢印をクリックして、**【インストールするプロダクト】** リストに移動します。手順 **6** に進みます。
- 5** 検出で自動的にプリントデバイスを追加しない場合は、**【カスタムデバイスの追加】** をダブルクリックします。
【デバイス】 ダイアログボックスで、サポートされているモデルの **【モデル】** リストと、ローカルおよびネットワークポートの **【ポート名】** リストから選択します。目的のデバイスに接続されているポートを追加する場合は、**【ポートの追加】** をクリックします。**【デバイス】** ダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。デバイスは、**【インストールするプロダクト】** リストに表示されます。
- 6** **【ドライバー】** タブからドライバーを選択し、青い矢印をクリックして、**【インストールするプロダクト】** リストに移動します。**【インストール】** ボタンを有効にするには、1 つ以上のドライバーが必要です。
- 7** **【ユーティリティ】** タブからユーティリティを選択し、青い矢印をクリックして、**【インストールするプロダクト】** リストにユーティリティを移動します。より新しいバージョンのユーティリティがインストールされている場合、新しいバージョンがすでにインストールされていることを知らせるメッセージが表示されます。
- 8** **【インストールするプロダクト】** リストから製品を削除する場合、製品を選択し、**【削除】** をクリックします。すべての製品を削除するには、リストボックスの下部にある **【すべて削除】** アイコンをクリックします。
- 9** **【ポート名にホスト名を使用】** を選択して、標準 TCP/IP ポートのホスト名を使用するように設定することもできます。(USB 接続は利用できません。)

- 10 **[インストールするプロダクト]** リストでのデバイスとドライバーの各組み合わせに対し、**[編集]** をクリックし、ドライバーのインストールオプションを設定するダイアログボックスを開きます。必要に応じて、設定可能なオプションを変更できます。
- 11 設定を確認します。**[インストール]** ボタンを有効にするために、プリントデバイス、ドライバー、またはユーティリティを最低 1 つ選択する必要があります。設定が正しいことを確認して、**[インストール]** をクリックします。
- 12 インストールが続行される前に、**[データ収集]** ダイアログボックスが表示されます。必要に応じて **[はい]** または **[いいえ]** を選択します。**[OK]** をクリックします。インストールが続行されます。
- 13 インストールが正常に終了すると、**[完了]** ページで、次のオプションを選択できます。プリンター ドライバーのインストール後にのみオプションが表示されます。
 - [テストページを印刷]**
このチェックボックスを選択し、プリントデバイスの接続と動作をテストします。正常にインストールされている場合、コンピューター名とプリンタードライバーの情報、およびポート設定が含まれた **[Windows プリンターテストページ]** が、新たにインストールされたプリントデバイスで印刷されます。
 - [イベントの通知を有効にする]**
[ステータスモニター通知] ダイアログボックスで、イベントの通知を有効にするチェックボックスを選択します。**[拡張機能]** タブの **[ステータスモニター]** をクリックすると、**[ステータスモニター通知]** ダイアログボックスが表示されます。
 - [簡単設定タブを表示する]**
[簡単設定] タブは、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義しておき、印刷時に簡単に呼び出して使用することを可能にします。**[簡単設定タブを表示する]** オプションは、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** でも表示されます。
プラス (+) アイコンをクリックし、オプションのリストを展開します。
 - [初期画面を簡単設定タブにする]** オプションを使用すると、ドライバーを開いた際に最初に表示されるタブが **[簡単設定]** タブとなります。
 - [初期画面を基本設定タブにする]** オプションを使用すると、ドライバーを開いた際に最初に表示されるタブが **[基本設定]** タブとなります。
 - [簡単設定タブ以外を隠す]** オプションを使用すると、ドライバーのタブが **[簡単設定]** タブのみとなります。
- 14 インストーラーを終了するには、**[完了]** をクリックします。
ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。**[完了]** をクリック後、問題を解決し、再度インストールしてください。同じメッセージが再表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。
以上で、プリントデバイスのインストールが完了しました。必要に応じて、コンピューターを再起動してください。

配布用のパッケージを作成する

- 1 お使いのプリントデバイスとコンピューターの電源が入っていて、USB、またはネットワーク通信で接続されていることを確認してください。

- 2 **[Product Library]** ウィンドウで、**[カスタムインストール]** をクリックします。
- 3 **[デバイス]** リストからプリントデバイスを選択し、青い矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストに移動します。また、**[ユーティリティー]** タブから、ユーティリティーを選択することもできます。
- 4 設定を確認します。**[インストール]** と **[パッケージ]** ボタンを有効にするために、プリントデバイスとドライバ、またはユーティリティーのどれか 1 つを選択する必要があります。設定が正しければ、**[インストール]** ボタンの横にある ► をクリックした後、**[パッケージ]** をクリックします。
- 5 **[インストール先]** の画面で、**[パッケージ]** ファイル(.EXE) の保存先を選択して、**[パッケージ名]** を入力します。
また、以下のオプションを選択することもできます。
[サイレントインストール] (デフォルトとして選択されている)
インストール中の進捗画面等を表示せずにインストールを行うパッケージを作成します。
[通知を許可する] (デフォルトとして選択されていない)
パッケージのサイレントインストール中に、エラーが発生した場合に通知します。**[サイレントインストール]** が選択されている場合のみ利用することができます。
- 6 **[OK]** をクリックします。
- 7 **[パッケージを作成中]** の画面が表示され、システムはパッケージを作成します。
- 8 パッケージの準備が完了すると、**[完了]** 画面が表示されます。**[完了]** をクリックします。
- 9 任意のユーザーに、作成されたパッケージの保存先と **[パッケージ名]** を通知してください。

ユーティリティーのみをインストールする

- 1 **[Product Library]** ウィンドウで、**[カスタムインストール]** をクリックします。
- 2 **[ユーティリティー]** タブからユーティリティーを選択し、青い矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストにユーティリティーを移動します。より新しいバージョンのユーティリティーがインストールされている場合、新しいバージョンがすでにインストールされていることを知らせるメッセージが表示されます。

参考: 必須条件が満たされていない場合も、ユーティリティーの横にそれを知らせるメッセージが表示されます。

- 3 **[インストールするプロダクト]** リストから製品を削除する場合、製品を選択し、**[削除]** をクリックします。すべての製品を削除するには、リストボックスの下部にある **[すべて削除]** アイコンをクリックします。

- 4 設定を確認します。**[インストール]**ボタンを有効にするために、ユーティリティーを最低 1 つ選択する必要があります。設定が正しいことを確認して、**[インストール]**をクリックします。
- 5 インストーラーを終了するには、**[完了]**をクリックします。
ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。**[完了]**をクリック後、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。
以上で、ユーティリティーのインストールが完了しました。必要に応じて、コンピュータを再起動してください。

ドライバーのプロパティを編集する

- 1 **[Product Library]** ウィンドウで、**[カスタムインストール]** をクリックします。
- 2 **[デバイス]** リストからデバイスを選択し、青い矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストに移動します。
- 3 **[ドライバー]** リストからドライバーを選択し、青い矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストに移動します。
- 4 **[インストールするプロダクト]** リストの中の、**[編集]** をクリックします。
- 5 **[デバイス]** ダイアログボックスが開き、モデル名と IP アドレスまたは USB が表示されます。ドライバーが複数ある場合、各ドライバーの設定はタブに分かれています。設定するドライバーのタブを選択します。割り当てられているすべてのドライバーについて、次のドライバー設定が表示されます。
 - [プリンター名]**
デバイスのプリンター名を入力します (最大 63 文字)。
 - [プリンターの共有]**
このプリントデバイスを他と共有する場合にこのオプションを選択します。選択されている場合、プリントデバイスの **[共有名]** を入力できます (最大 63 文字)。
 - [通常使うプリントシステムに設定]**
ほとんどまたはすべての印刷ジョブをこのプリントデバイスに送信する場合にこのオプションを選択します。

- 6 **[OK]** をクリックします。

ユーティリティーのプロパティを編集する

- 1 **[Product Library]** ウィンドウで、**[カスタムインストール]** をクリックします。
- 2 **[ユーティリティー]** タブから **[KYOCERA Net Viewer]** を選択し、青い矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストへ移動します。
- 3 **[インストールするプロダクト]** リストの中で、**[KYOCERA Net Viewer]** の **[編集]** をクリックします。

- 4 ダイアログボックスが開き、ユーティリティのオプションを表示します。任意の項目を選択します。

[KYOCERA Net Viewer]

[デバイス管理]

デバイスを検出し、デバイス設定を管理します。

[部門管理]

デバイスグループの部門を設定し、部門設定を管理します。

[ホスト管理]

プリンタードライバーおよび印刷キューを管理します。

- 5 **[OK]** をクリックします。

アップグレード

インストーラーは、古いドライバーやユーティリティのコンポーネントを検出します。ドライバーまたはユーティリティコンポーネントを選択して、最新バージョンにアップグレードできます。アップグレードが可能な場合、**[アップグレード]** をクリックするとリストが表示されます。

クライアント/サーバー環境では、古いドライバーをアップグレードできません。詳しくは、プリントデバイスの販売店にお問い合わせください。

ドライバーコンポーネントをアップグレードする

- 1 **[Product Library]** ウィンドウで、**[アップグレード]** をクリックします。
- 2 **[アップグレード]** リストから、PC 上でアップグレードするドライバーやユーティリティを選択します。
- 3 **[アップグレード]** ボタンをクリックして、アップグレードを開始します。
- 4 **[完了]** ダイアログボックスで、**[完了]** をクリックします。

メンテナンス

便利な機能を提供するユーティリティにアクセスできます。利用可能なユーティリティを選択して、実行します。

[オプションプリンターコンポーネント]

このオプションにより、共通プロファイル、プラグインモジュール、および **[Net Manager]** アプリケーションを使用して、プリンタードライバーの機能を拡張できます。

[Quick Network Setup]

最も一般的なネットワーク設定を行います。

[Wi-Fi セットアップツール]

Wi-Fi の設定を行います。

プリンターの追加コンポーネント

追加コンポーネントをインストールすることにより、プリンタードライバーの機能を拡張することができます。

および **[共通プロファイル]** をインストールすることもできます。

オプションプリンターコンポーネントをインストールする

- 1 **[メンテナンス]** をクリックします。
- 2 **[オプションプリンターコンポーネント]** を選択し、**[実行]** をクリックします。
- 3 **[プリンターの選択]** ページで、1つ以上のプリントデバイスを選択して、**[次へ]** をクリックします。どのページにおいても、設定を訂正する場合は、**[戻る]** をクリックします。
- 4 **[コンポーネントの選択]** ページで、プラス (+) アイコンをクリックし、オプションを展開します。各オプションをクリックして、より詳細なダイアログボックスを開きます。
- 5 各プリントデバイスのモデルの下で、あらかじめ定義された印刷設定の共通プロファイルを1つ以上選択できます。
- 6 各プリントデバイスのモデルの下で、プラグインモジュールを1つ以上選択できます。

[PDF 作成]

さまざまなデータを、Adobe PDF 形式で印刷および保存できるオプションです。

[セキュリティ・ウォーターマーク]

ほとんど目で見ることのできない画像やテキストを、背景に印刷するオプションです。セキュリティ・ウォーターマークは、印刷したページをコピーした場合にのみ表示されます。

[単色調整]

印刷で単一の色を正確に一致させることができるオプションです。

[中国紅]

この機能は、特定の赤色や他の色を選択またはカスタマイズして印刷できます。

参考: OSの設定地域が中国の場合は、標準機能として使用できます。

- 7 各プリントデバイスの機種の下で **[Net Manager 連携機能を有効にします]** を選択できます。
- 8 設定が正しければ、**[インストール]** をクリックします。
- 9 **[プリンターコンポーネントのインストールが完了しました。]** のページが開いたら、**[終了]** をクリックします。
プリントデバイスと追加コンポーネントのインストールが完了した後、コンピュータの再起動の指示が表示された場合は、コンピュータを再起動してください。

ドキュメント

ドライバー、ユーティリティー、およびプリントデバイス操作手順に関するドキュメントにアクセスできます。利用可能なファイルを選択して開きます。PDF ファイルの閲覧には、Acrobat Reader 8.0 以降のバージョンが必要です。

アンインストール

アンインストーラーは、ローカルドライブのプリントデバイスドライバーを検出します。【アンインストール】ウィンドウでそれらのコンポーネントのリストを作成します。ドライバーをアンインストールした場合、そのドライバーを使用しているデバイスもまた削除されます。

ドライバーコンポーネントをアンインストールする

- 1 **【Product Library】** ウィンドウで、**【アンインストール】** をクリックします。
- 2 リストからアンインストールするコンポーネントを選択します。デバイスを選択するか、プラス (+) をクリックして、個々のデバイスリストを展開します。リスト上部の **【すべて選択】** のチェックボックスをオン/オフすると、すべてのアイテムの選択または解除ができます。
- 3 アンインストールを開始するには、**【アンインストール】** ボタンをクリックします。
- 4 **【完了】** ダイアログボックスで、**【完了】** をクリックします。

プリンタードライバーの設定について

プリンタードライバーの設定は、アプリケーションの **【印刷】** ダイアログボックスまたは **【スタート】** からアクセスできます。アプリケーションから行った設定は、そのアプリケーションが終了するまで有効です。**【スタート】** からアクセスした場合は、変更はデフォルトのプリンター設定として保持されます。

デフォルトのドライバー設定を変更する

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。
Windows 10、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2: **【スタート】** > **【コントロールパネル】** > **【デバイスとプリンターの表示】** をクリックします。
Windows 8 および Windows Server 2012: **【コントロールパネル】** > **【デバイスとプリンターの表示】** を開きます。
Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **【スタート】** > **【デバイスとプリンター】** をクリックします。
Windows Vista および Windows Server 2008: **【スタート】** > **【コントロールパネル】** > **【プリンター】** をクリックします。
- 2 お使いのプリントデバイスのアイコンを右クリックし、**【印刷設定】** をクリックします。
- 3 **【印刷設定】** ダイアログボックスにて、各タブで設定したい項目を変更します。
- 4 **【OK】** をクリックします。

2 ドライバーの概要

[印刷設定] ダイアログボックスの下側の画面にあるオーバービューや設定リストには、ドライバーで設定されている内容が表示されます。ドライバーの設定を行うと、オーバービューイメージと設定リストに反映されます。ドライバー設定を選択した後、**[印刷プレビュー]**を選択して印刷ジョブを確認することができます。

コンピュータの縦方向の画面解像度が 864 ピクセル以下の場合、**[印刷設定]** ダイアログボックスの下側の画面は表示されません。この場合、現在の PDL を示すボタンは、ダイアログボックスの左下に、**[印刷プレビュー]** チェックボックスは右下に表示されます。



オーバービューイメージ

[印刷設定] ダイアログボックスの画面下側に、オーバービューイメージが表示されます。イメージは、ドライバーの設定によって表示が変わります。ドライ

バー設定が選択されるとイメージは自動的に変わり、左側のタブをクリックすると別のイメージに変更することもできます。

プリントデバイスのイメージには、接続されているほとんどのデバイスが表示されます。**[給紙元]**や**[排紙先]**として選択されているデバイスが緑で強調表示されます。**[ジョブ保存]**タブでジョブ保留オプションが選択されている場合、ストレージデバイスアイコンが表示されます。

ページイメージは、**[簡単設定]**タブ、**[基本設定]**タブ、**[レイアウト]**タブでのページ設定にしたがって更新されます。

カラーイメージには、カラー設定が表示されます。**[白黒]**を選択すると、イメージには**[印刷品質]**タブで選択されたグレースケール設定が表示されます。

現在のページ記述言語 (PDL) は、すべてのイメージに表示されます。アプリケーションから印刷する際、PDL 設定を一時的に変更することができます。

印刷設定で PDL を選択する

- 1 オーバービューイメージの部分にある **[PDL]** をクリックします。
- 2 **[PDL (ページ記述言語)]** ダイアログボックスの **[言語の選択]** リストから、ページ記述言語を選択します。

[PCL XL] を選んだ場合は、**[スマート両面印刷]**、**[白紙ページをスキップ]**、および **[印字領域互換]** を選択できます。

[KPDL] を選択すると、**[スマート両面印刷]**、**[白紙ページをスキップ]**、または **[パススルーモード]** を選択できます。**[パススルーモード]** を選択すると、**[拡張機能]** タブの **[EMF スプールを行う]** は使用できません。アプリケーションの **[印刷]** ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合は、**[パススルーモード]** の設定は変更できません。

[PDF] を選択すると、**[PDF 詳細設定]** をクリックして、**[PDF 詳細設定]** ダイアログボックスを開くことができます。

XPS ドライバーをインストールした場合は、**[XPS 設定]** をクリックして、**[XPS 設定]** ダイアログボックスを開くことができます。
- 3 **[GDI 互換モード]** を選択すると、アプリケーションで作成したグラフィックデータの印刷品質を向上できる場合があります。

[白紙ページをスキップ] をオン、または **[レイアウト設定を使用]** を設定すると、**[GDI 互換モード]** は使用できません。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

設定リスト

各タブの画面下側にある設定リストには、ドライバーの機能（一部機能を除く）の現在の設定が表示されます。スクロールダウンすると、すべてのドライバータブの機能を確認できます。各オプションが選択されると、現在選択されているオプションが設定リストに表示されます。マイナス (-) またはプラス (+) をクリックして詳細の表示/非表示を切り替えられます。

印刷プレビュー

各タブの下のパインに、**[印刷プレビュー]** チェックボックスが表示されます。ドライバー設定を選択した後、**[印刷プレビュー]** を選択して印刷ジョブを確認することができます。プレビューには、テキストとイメージの他、設定によ

では【ウォーターマーク】または【セキュリティーウォーターマーク】が表示されます。【印刷プレビュー】は、【2 色カラー】が設定されている場合でも、フルカラーの【印刷プレビュー】になります。

プレビューで問題がないことを確認して印刷を行います。設定を変更して印刷したい場合には、キャンセルすることができます。

印刷ジョブをプレビューする

- 1 各タブでドライバーの設定をするか、プロファイルを選択します。
- 2 任意のタブで【印刷プレビュー】を選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで【OK】をクリックします。
- 4 【印刷プレビュー】ダイアログボックスが表示されたら、必要に応じて次の操作を行います。

矢印ボタンをクリックして、文書のページを確認します。

虫眼鏡アイコンをクリックして、拡大または縮小表示にします。

プレビューを閉じて印刷前にドライバー設定を変更する場合は、【X】ボタンをクリックします。

プレビューに問題がなければ、プリンターボタンをクリックし、ジョブを印刷します。

Kyocera ロゴ

【Kyocera】ロゴは、【デバイス設定】、および【印刷設定】ダイアログボックスの下部に表示されます。ロゴをクリックすると、ドライバーのバージョンとドライバーのプラグインの情報を表示した【バージョン情報】、および【データ収集】のボタンを表示したダイアログボックスが開きます。

バージョン情報を表示する

- 1 【デバイス設定】または【印刷設定】ダイアログボックスで、【Kyocera】ロゴ > 【詳細バージョン】をクリックすると、次のドライバー情報が表示されます。

【ファイル名】

【詳細バージョン】

【説明】

【日付】

【製造元】

【コメント】

- 2 著作権情報を表示するには、【使用条件】をクリックします。

- 3 【OK】をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

プラグイン情報を表示する

- 1 【デバイス設定】または【印刷設定】ダイアログボックスで、【Kyocera】ロゴ > 【プラグイン】をクリックすると、次のプラグイン情報が表示されます。

[モジュール]

[説明]

[詳細バージョン]

- 2 [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

使用状況の情報を提供する

- 1 [デバイス設定] または [印刷設定] ダイアログボックスで、[Kyocera] ロゴ > [データ収集] をクリックします。
- 2 プライバシーポリシーを読み、参加のオプションを選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

3 デバイス設定

[デバイス設定]では、インストールされているプリントデバイスのオプションを選択し、プリンタードライバーで関連機能を利用できるようにします。さらに、ドライバーのメモリー設定を、プリントデバイスにインストールされているメモリーと合わせることによって、ドライバーはフォントのダウンロードをより効率的に管理できます。また、管理者、ユーザー、PDL (ページ記述言語)、互換性の各設定が可能です。

デバイス設定へアクセスする

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 10、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2: **[スタート]> [コントロールパネル]> [デバイスとプリンターの表示]** をクリックします。

Windows 8 および Windows Server 2012: **[コントロールパネル]> [デバイスとプリンターの表示]** を開きます。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **[スタート]> [デバイスとプリンター]** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[スタート]> [コントロールパネル]> [プリンター]** をクリックします。

- 2 目的のプリントデバイスのアイコンを右クリックします。

Windows 10、Windows 8.1、Windows Server 2012 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、および Windows Server 2008 R2: **[プリンターのプロパティ]** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[プロパティ]** をクリックします。

- 3 **[デバイス設定]** をクリックします。

デバイスオプション

使用できるオプションを設定すると、給紙元や仕上げ、ジョブ拡張機能など、プリントデバイスの機能を拡張できます。

[ジョブ保存] タブの **[ユーザーボックス]** 機能を使用するには、まず **[デバイス設定]** タブでユーザーボックスを作成します。印刷ジョブを保存するため最大 1000 個のユーザーボックスを作成し、印刷ジョブを保存できます。ユーザーボックスは、後でプリントデバイスの操作パネルからジョブを印刷できるユーザーに割り当てることができます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

使用できるオプションを設定する

- 1 **[デバイス設定]> [使用できるオプション]** で、インストールされているすべてのオプションのチェックボックスをオンにします。

- 2 [OK] をクリックします。

ユーザーボックスを設定する

- 1 [デバイス設定] > [使用できるオプション] で、[ハードディスク] を選択します。すでに選択してある場合は [ハードディスク] をダブルクリックします。
- 2 [ハードディスク設定] ダイアログボックスで、[追加] をクリックします。
- 3 [定義されたユーザーボックス] リストに、新しい [ボックス番号] と [ボックス名称] が表示されます。必要に応じて、[ボックス番号] および [ボックス名称] のボックスの番号および名前を変更します。番号は 1 から 1000 までの整数、名前は最大 32 文字以内である必要があります。また、ユーザー名は 20 文字以内で入力してください。
- 4 [共有ボックス] をオンにすると、複数のユーザーでボックスを共有できます。
チェックボックスがオンの場合、すべてのネットワークユーザーが、ボックスにジョブを保存できます。
チェックボックスがオフの場合、ボックスの所有者およびネットワーク管理者だけが、ボックスにジョブを保存できます。
- 5 印刷を開始する前にユーザーに共有ボックスのパスワードを入力するよう要求するには、[パスワードの確認] を選択し、最大 16 文字のパスワードを入力します。
- 6 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。
印刷中は [ユーザーボックス] ダイアログボックスに新しいユーザーボックスが表示されます。

ユーザーボックスを削除するには、[定義されたユーザーボックス] リストからボックスを選択して、[削除] をクリックします。

ユーザーボックスリストをインポートするには、[インポート] をクリックして有効なユーザーボックスリストファイル (.CSV または .KXU) を選択します。

[エクスポート] をクリックすると、PC またはネットワーク内の現在のユーザーボックスリスト (.CSV または .KXU) を保存できます。保存されたリストは他のプリンタードライバにインポートできます。

自動設定

この機能を使うと、ネットワークで接続しているプリントデバイスに装着されているデバイスを検出します。[自動設定] は入力デバイス、出力デバイス、ストレージデバイス、メモリーの容量を検出します。コンピューターが TCP/IP または WSD ポート経由で直接プリントデバイスに接続されている場合、[自動設定] ボタンが [デバイス設定] に表示されます。[自動設定] は [使用できるオプション] のリスト、[メモリー]、オーバービューイメージを更新して、プリントデバイスとプリンタードライバの設定を自動的に一致させます。[自動設定] は OS ごとに動作が異なります。

[自動設定] を使用しても、装着されているすべてのデバイスが検出されるわけではありません。設定内容が正しいことを確認してから、[デバイス設定] で [OK] をクリックします。

サイレント自動設定

[サイレント自動設定] 機能を選択すると、ドライバーは 10 分おきにプリントデバイスをチェックし、追加デバイスやメモリーに変更がないかを確認します。変更が検知されると、ドライバーは自動的に新しい設定に更新されます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

自動設定を有効にする

- 1 すべてのオプションデバイスがプリントデバイスに接続され、電源がオンになっており、印刷の準備が整っていることを確認してください。
- 2 **[デバイス設定]**で、**[自動設定]**をクリックします。
[自動設定] ダイアログボックスが開きます。自動設定オプションから選択します。
[自動設定の開始]
ボタンをクリックして、いつでもプリントデバイスの現在の設定を取得できます。**[サイレント自動設定]** がオフになっているときに、実行することをお勧めします。
[サイレント自動設定]
ドライバーがプリントデバイスへの変更を指定時間ごとに確認するように設定する際に選択します。ドライバーはオプションデバイスやメモリーの変更を定期的に確認します。

- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

メモリー

プリンターデバイスのメモリー容量を表示できます。

管理者設定

この機能を使うと、管理者は、ユーザーや部門の制御、ドライバーの表示タブの設定および **[管理者設定]** オプションへのアクセスを制御するためのパスワード設定などのオプション設定ができます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

一般

管理者は、**[一般]** タブで、**[簡単設定]** タブの表示を制御できます。いくつかの **[SNMP]** 設定や、ジョブの E メール通知、その他各種設定も選択できます。

簡単設定タブを表示する

この機能を使うと、管理者は、**[簡単設定]** タブの表示を制御できます。よく使う印刷時の設定をあらかじめ定義しておき、アクセシビリティを改善することができます。

[簡単設定タブを表示する] チェックボックスをオフにすると、**[印刷設定]** ダイアログボックスにタブは表示されません。

この機能を有効にするには[デバイス設定]>[管理者設定]>[一般]で、[簡単設定タブを表示する]をクリックします。

[簡単設定タブを表示する] チェックボックスをオンにすると、[印刷設定] ダイアログボックスにタブが表示されます。[簡単設定タブを表示する] チェックボックスを選択する際に、追加のチェックボックスにアクセスできます。

[簡単設定タブ以外を隠す] を選択すると、[簡単設定] タブのみがユーザーに表示されます。

[初期画面を簡単設定タブにする] を選択すると、[印刷設定] 画面を開いたときの初期画面になります。

[編集/追加ボタンを隠す] を選択すると、ユーザーが [簡単設定] タブをカスタマイズできなくなります。

カウント情報

管理者は、印刷ジョブにカウント情報を埋め込み、この機能に対応しているアプリケーションで部門管理のために使用できます。カウント情報には、印刷ページ数、両面印刷、ページ集約、カラーモード、カラーページカウント、用紙サイズなどが含まれます。

[Net Manager] が選択されている場合は、[カウント情報] は自動的に選択されます。[PDF] が PDL として選択されている場合、または XPS ドライバーの場合は、カラーページカウント情報のみが印刷ジョブに埋め込まれます。

この機能を有効にするには、[デバイス設定]>[管理者設定]>[一般]で、[カウント情報]をクリックします。

アプリケーション名を発行

この機能を使うと、管理者は、異なる印刷プロセスを各アプリケーションでできるように、印刷ジョブにアプリケーション名を付加して送信できます。

この機能は、[PDF] が PDL として選択されている場合は使用できません。

この機能を有効にするには、[デバイス設定]>[管理者設定]>[一般]で、[アプリケーション名を発行]をクリックします。

アプリケーション別の印刷設定を有効にする

管理者は、インストールされた各アプリケーションから行うすべての印刷を、プロファイルで定義されたドライバー設定を使用して印刷するよう設定できます。この機能を使用する前に以下を行ってください。

[印刷設定] からアクセスする [プロファイル] ダイアログボックスで、プロファイルを追加します。

同じく [プロファイル] ダイアログボックスで、プロファイルを選び、[アプリケーション別の印刷設定] ダイアログボックスでアプリケーションを追加して有効にします。

デフォルトでは、この機能は有効です。この機能を無効にするには、[デバイス設定]>[管理者設定]>[一般]で、[アプリケーション別の印刷設定を有効にする]のチェックボックスを外します。

パスワードで管理者設定を保護する

この機能を使うと、管理者は、[管理者設定] ダイアログボックスで [設定を保護する] をオンにし、このダイアログボックスに対して不正な変更が行われるのを防ぐことができます。この設定を選択すると、パスワードの入力および確認のための再入力を求められます。このパスワード保護により、すべての [管理者設定] オプションへのアクセスがブロックされます。

管理者パスワードを設定する

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** で **[設定を保護する]** を選択します。
- 2 **[パスワード設定]** ダイアログボックスで、4～16文字のパスワードを入力します。**[新しいパスワードの確認]** にパスワードを再入力して、**[OK]** をクリックします。

管理者パスワードをクリアする

- 1 **[デバイス設定]** で、**[管理者設定]** をクリックします。
- 2 **[パスワード設定]** ダイアログボックスで、パスワードを入力し **[OK]** をクリックします。
- 3 **[管理者設定]** ダイアログボックスで、**[設定を保護する]** チェックボックスを外し、**[OK]** をクリックします。

初期設定プロファイルを隠す

この機能を使うと、管理者は、**[簡単設定]** タブと **[プロファイル]** ダイアログボックスで、**[初期設定]** プロファイルを表示したり、非表示にしたりできます。

チェックボックスをオンにすると **[初期設定]** プロファイルがリストに表示されません。

チェックボックスをオフにすると **[初期設定]** プロファイルがリストに表示されます。

下のペインを隠す

この機能を使うと、管理者は、下のペインを隠して **[印刷設定]** ダイアログボックスのサイズを小さくできます。オーバービューイメージと設定リストがビューから削除されます。**PDL 選択**、**[プロファイル]** ボタン、**[印刷プレビュー]** チェックボックスは使用できます。

一部の画面表示や画面解像度の設定では、**[下のペインを隠す]** チェックボックスが自動的に選択されます。

SNMP 設定

簡易ネットワーク管理プロトコル (**[SNMP]**) は、デバイスエージェントの管理およびネットワーク管理システムを制御する、アプリケーションレイヤーのプロトコルです。プリントデバイスなどの管理対象デバイスは、ネットワーク管理システム用の管理情報を収集して格納します。**[SNMP]** のセキュリティーレベルは、**[SNMP 設定]** ダイアログボックスの設定により指定されます。**[SNMPv3]** では、暗号化と認証がサポートされます。**[SNMP]** 設定は、プリンタードライバーおよびプリントデバイスのホームページで設定する必要があります。

使用可能な **[SNMP]** オプションは、次のとおりです。

[SNMPv1/v2c]

[リードコミュニティ名] と **[ライトコミュニティ名]** を使用して管理対象デバイスと通信します。

[SNMPv3]

認証と暗号化のセキュリティー拡張機能には、ユーザー名とパスワードが必要です。**[設定]** をクリックすると、認証オプションやプライバシーオプションが利用できるようになります。

[設定を他の機種に反映]

このオプションを使用すると、設置したプリントデバイスのリストが表示され、選択した **[SNMP]** 設定を適用することができます。

SNMPv3 オプション

[SNMPv3] オプションを選択すると、プリントデバイスとの接続に信頼性を高めることができます。

[認証]

転送されたファイルが完全な状態で到達し受信されたかどうかを、チェックするアルゴリズムを実行します。Message Digest 5 (**[MD5]**) および Secure Hash Algorithm 1 (**[SHA1]**) は、パケットデータの認証に用いられるアルゴリズムです。

[MD5]

このオプションは、128 ビットのハッシュ値を生成する暗号化用ハッシュ関数を実行します。

[SHA1]

160 ビット長のメッセージダイジェストを生成します。**[SHA1]** は、**[MD5]** の後継アルゴリズムです。

[暗号通信]

通信の信頼性を高めるために暗号化が使用されます。このオプションは、**[認証]** オプションを選択すると選択できるようになります。次の **[暗号通信]** オプションから1つ選択してください。

[DES]

暗号化技術として Data Encryption Standard が使用されます。**[DES]** は、暗号化アルゴリズムを使用して平文を暗号文に変換します。暗号化と復号化には、8 バイト長のブロックと 56 ビット長のキーが使用されます。

[AES]

暗号化技術として Advanced Encryption Standard が使用されます。**[AES]** は、対称的に構成されたブロックによる暗号文で、128、192、256 ビット長の暗号キーを使用して 128 ビットのデータブロックを処理することができます。この方法は、**[DES]** よりも安全性が高くなります。

SNMP 設定を選択する

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** で **[SNMP設定]** をクリックします。
- 2 **[SNMPv1/v2c]** または **[SNMPv3]** を選択します。
[SNMPv1/v2c] の場合は、**[リードコミュニティ名]** と **[ライトコミュニティ名]** を最大 32 文字で入力します。
[SNMPv3] の場合は、**[ユーザー名]** を最大 32 文字で入力して、**[パスワード]** を 8 ～ 32 文字で入力します。
- 3 **[SNMPv3]** に認証とプライバシーオプションを設定するには、**[設定]** をクリックします。
- 4 **[SNMPv3 設定]** ダイアログボックスで、使用可能なオプションを選択し、**[OK]** をクリックします。

- 5 **[設定を他の機種に反映]** から、設定を適用できるモデルを選択できます。**[SNMP]** の設定が、選択したすべてのモデルに適用されます。

- 6 **[OK]** をクリックします。

ジョブの E メール通知

この機能を使うと、管理者は、印刷ジョブと同時にメールアドレスを送信できます。ジョブの印刷が終了すると、送信されたアドレスに、デバイスからメールが送信されます。デバイスが複数のジョブを印刷していて、印刷が終了まで時間がかかる場合に便利です。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、**[デバイス設定]** の **[管理者設定]** ボタンが、**[認証]** ボタンになります。メール通知のデータは、**[認証設定]** ダイアログボックスで入力できます。

E メール通知オプションを選択する

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** で、**[印刷完了通知]** を選択します。
- 2 メールアドレスのオプションを選択します。

[特定の E メールアドレスを使用] を選択し、有効なメールアドレスを入力します。クライアント/サーバー環境では、クライアントユーザーによるアドレス変更が可能です。

[印刷時に E メールアドレスを入力] を選択し、**[OK]** をクリックします。印刷の際に、**[印刷]** ダイアログボックスで **[OK]** をクリックし、**[印刷オプション]** または **[認証設定]** ダイアログボックスで有効なメールアドレスを入力し、**[OK]** をクリックします。
- 3 印刷中の問題に対しての通知が欲しい場合は、**[印刷中断時に通知]** を選択します。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ロック設定

管理者は、ドライバーの各タブの設定や機能レベルを指定し、それらをロックすることができます。ロックされた設定は、すべての印刷ジョブに適用され、変更が制限されます。ロック設定は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ロック設定]** で行います。例えば、印刷は両面で行うようにドライバーを設定しておくことができます。用紙が節約されるため、経費の削減および環境保護につながります。

設定をロックすると、他のタブで表示される同じ機能もロックされます。例えば、**[両面印刷]** を選択すると、**[簡単設定]** および **[基本設定]** タブでもその機能がロックされます。

また管理者は、一時的に機能のロックを解除するためのパスワードを設定することもできます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を利用できません。

ロック設定のオプション

[ロック設定] タブには、管理者がロックできるドライバー設定が表示されます。ロックすると、ユーザーの変更は制限され、設定はすべての印刷ジョブ

に適用されます。設定が有効になると、[パスワードの設定] オプションにアクセスできます。これにより、管理者は用紙やトナー量の使用を制御できます。

[白黒モード]

すべてのカラー設定が無効になり、黒トナーのみを使用してジョブが印刷されます。これは、[簡単設定]、[基本設定]、および [印刷品質] タブでロックされます。

[エコプリント]

[簡単設定]、[基本設定]、または [印刷品質] タブで選択されている [エコプリント] 設定をロックします。

[両面印刷]

[簡単設定] または [基本設定] タブで選択されている [両面印刷] 設定をロックします。

[ページ集約]

[簡単設定] タブの現在の [ページ集約] 設定、および [レイアウト] タブの [ページ集約] 設定がロックされます。[レイアウト] タブでは、[ページ集約] オプションはロックされていません。

[アプリケーション別の印刷設定]

アプリケーションごとに定義されている、ドライバー設定のプロファイルをロックします。

[ジョブ保存タブ]

[ジョブ保存] タブで選択された設定がロックされます。

[セキュリティ・ウォーターマーク]

[拡張機能] タブの [セキュリティ・ウォーターマーク] 設定をロックします。[セキュリティ・ウォーターマーク] は、オプションのプラグインです。

[ウォーターマーク]

[拡張機能] タブの [ウォーターマーク] 設定をロックします。

[パスワードの設定]

管理者が設定したパスワードを使用して、選択したドライバー機能をロックできます。管理者がパスワードを設定している場合、ドライバーのタブ、または [アプリケーション別の印刷設定] ダイアログボックスに、[ロック解除] アイコンが表示されます。ロックを解除するには、[ロック解除] をクリックし、パスワードを入力します。

ドライバー設定をロックする

- 1 [デバイス設定] > [管理者設定] で [ロック設定] をクリックします。
- 2 ロックする各ドライバー機能のチェックボックスを選択します。
- 3 一時的に設定をアンロックするためにパスワードを設定する場合は、[パスワードの設定] のチェックボックスを選択します。
[パスワードの設定] ダイアログボックスで、4～16 文字のパスワードを入力します。[新しいパスワードの確認] にもう一度パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
パスワードを削除するには、[パスワードの設定] チェックボックスのチェックを外します。[パスワードの解除] ダイアログボックスで、パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

4 [ロック設定] の内容を保存するには、[OK] をクリックします。

パスワードが設定されている場合は、ロックされている機能が表示されているドライバータブに、[ロック解除] アイコンが表示されます。機能のロックを解除し一時的に設定を変更するには、[ロック解除] をクリックし、パスワードを入力します。

ユーザー管理

この機能を使うと、管理者は、部署や部門ごとに権限を割り当てる [部門管理] とは異なり、ユーザーごとにジョブ制限を提供します。プリントデバイスには最大 1000 個のログインユーザー名とパスワードを登録することができ、プリンタードライバーに保存されます。

ユーザーはユーザー名とパスワードによって認識されます。ユーザー名は、UPN 形式 (username@domain.com) にすることも可能です。この機能により、指定されたユーザーのみに印刷の権限が制限されるため、安全な印刷および課金が行えます。各ユーザーが印刷したページ数は、プリントデバイスによって管理されます。

また、プリンタードライバーに追加されたユーザーをプリントデバイスの操作パネルに手動で登録する必要があります。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは一部のオプションを利用できません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、[デバイス設定] の [管理者設定] ボタンが、[認証設定] ボタンになります。ユーザーログインのデータは、[認証設定] ダイアログボックスで入力できます。

ユーザー管理のオプション

ドライバーで選択した [ユーザー管理] の設定は、PC から送信されたすべての印刷ジョブに適用されます。

[特定のログインユーザー名を使用]

このオプションは、特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ [ユーザー管理] が使用できます。このオプションが選択されていると、ユーザーは印刷ジョブごとにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

クライアント PC はクライアント/サーバー環境で、管理者によって設定されたデフォルトのユーザー名とパスワードを使用するか、他の名前とパスワードを入力することができます。[標準に戻す] をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

[印刷時にログインユーザー名を入力]

印刷の際にユーザー名とパスワードの入力を求められます。リストにはないユーザー名を使用し、リストにユーザー名を追加しないでおくこともできます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたらユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックして印刷します。

[印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)]

印刷の際にユーザー名とパスワードの入力を求められます。印刷するジョブに関して、入力されるユーザー名とパスワードは [登録ログインユーザーリスト] にある必要があります。ドライバーの [登録ログインユーザー] リストに入力されている [ログインユーザー名] を使用できます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたらユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックして印刷します。このオプションは、選択されたユーザー名がドライバーに保存されていることが確認された場合のみ、ジョブを印刷します。

[ユーザー (ホスト) 毎にログインユーザー (デバイス) を確認]

このオプションは、Windows [ユーザー名] をドライバーの [登録ログインユーザーリスト] で検索します。確認は、ユーザーがジョブを印刷する際に行われます。Windows [ユーザー名] が [登録ログインユーザーリスト] に存在する場合、そのリスト内の関連付けられたドライバーの [ログインユーザー名] とパスワードを使用してジョブを印刷できます。[登録ログインユーザーリスト] が Windows [ユーザー名] と関連付けられていない場合、ユーザー名と関連付けたい [登録ログインユーザーリスト] とパスワードの入力が求められます。

一致したユーザー名が見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限のチェックを行います。ユーザー権限のみ持つユーザーは、印刷ジョブはキャンセルされ、管理者に問い合わせ印刷権限を取得するよう促すメッセージが表示されます。管理者権限を持つユーザーは、ドライバーにより、[ログインユーザー名] とパスワードの入力を求められます。Windows [ユーザー名] とともに、これらをリストに追加しておく、印刷ジョブを続行するためにユーザーが [ログインユーザー名] とパスワードを再入力する必要がなくなります。

[登録ログインユーザーリスト]

クリックして、ログインユーザー名とパスワードを追加、削除、編集、インポート、またはエクスポートすることができます。[登録ログインユーザーリスト] を作成すると、このリストをテキストファイル (.CSV、.KXC、.TXT) 形式で保存することにより、まとめてエクスポートすることができます。[登録ログインユーザーリスト] をインポートするには、既存のリストを参照し、それをプリンタードライバーに保存します。

ユーザー管理を使用して印刷する

ログインユーザー名が割り当てられ、プリントデバイスのユーザーログインモードが [オン] に設定された後、[ユーザー管理] を選択して、ユーザーログインモードで印刷を実行できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントには自動的にサーバーで設定した [ユーザー管理] の設定が適用されます。

- 1 [デバイス設定] > [管理者設定] > [ユーザー管理] で、[ユーザー管理] を選択します。
 - 2 [ユーザー管理] オプションを選択します。
 - [特定のログインユーザー名を使用]
 - [印刷時にログインユーザー名を入力][特定のログインユーザー名を使用] または、[印刷時にログインユーザー名を入力] を選択した場合は手順 5 に進みます。
-
- 参考: ログインユーザー名リストを作成すると、上記以外の [ユーザー管理] オプションも選択可能になります。
-
- 3 [登録ログインユーザーリスト] は、ボタンをクリックして確認や管理ができます。
 - 4 以下の [ユーザー管理] オプションから選択します。
 - [印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)]
 - [ユーザー (ホスト) ごとにログインユーザー (デバイス) を確認]
 - 5 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

- 6 アプリケーションから文書を印刷します。
- 7 **[印刷オプション]** または **[認証設定]** ダイアログボックスが表示されたらユーザー名とパスワードを入力または選択して、**[OK]** をクリックします。

部門管理

この機能を使うと、管理者は、プリントデバイスを制御できます。**[部門管理]** で、ユーザーあるいは部署に部門コード (識別番号) を割り当てられます。特定の部門コードを割り当て、印刷の際に入力を求める設定を行うことができます。部門コードを作成すると、プリントデバイスの操作パネルから、特定の部門コードに関連付けられている印刷枚数を確認したり、部門コードごとに印刷枚数を制限したりできるようになります。部門コードは、最大 8 桁まで指定可能です。

参考: プリントデバイスで **[部門管理]** がオンに設定されている必要があります。最大 1000 件の部門コードをプリントデバイスに割り当て、プリンタードライバに保存することができます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピューターは一部のオプションを利用できません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、**[デバイス設定]** の **[管理者設定]** ボタンが、**[認証]** ボタンになります。部門管理のデータは、**[認証設定]** ダイアログボックスで入力できます。

部門管理オプション

[部門管理] では、次の設定が行えます。

[特定のコードを使用]

このオプションでは、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブごとに部門コードが送信されます。

印刷時、ユーザーは **[ジョブ保存]** タブで、異なる部門コードを選択することができます。**[管理者設定]** > **[部門管理]** のデフォルトの選択は変更されません。

クライアントコンピューターはクライアント/サーバー環境で、管理者によって設定されたデフォルトの部門コードを使用するか、他の部門コードを入力することができます。**[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

[印刷時にコードを入力]

このオプションでは、部門コードを入力するよう求めるだけでなく、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブが送信されるとき、ユーザーは部門コード ID を入力するよう求められます。

[部門コード]

リストに部門コードを追加、および編集、または削除できます。最大 1000 件の部門コードを、プリンタードライバに保存できます。プリントデバイスが TCP/IP ポートや WSD ポートに接続されている場合、プリントデバイスに保存されている部門コードリストを取得することができます。部門コードリストを作成すると、このリストをテキストファイル (.CSV、.KXC、.TXT) 形式で保存することにより、まとめてエクスポートすることができます。部門コードリストをインポートするには、既存のリストを参照して開きます。

[印刷時にコードを入力 (コードリストの確認)]

このオプションでは、ドライバーに保存された部門コードを指定するように求められます。印刷ジョブを送信する際、部門コードの入力を促すメッセージが表示されたら、コードを入力し、**[OK]** をクリックして印刷します。部門コードは、部門コードリストと照合されます。入力を間違えた場合は、もう一度部門コードを入力するように求められます。

[印刷時にコードリストから選択]

このオプションでは、印刷時に部門コードリストを表示します。ユーザーまたはグループに印刷ジョブを割り当てることができます。部門コードはドライバーに保存され、リストを表示するには 1 つ以上の部門コードを作成しておく必要があります。

[ユーザー (ホスト) ごとに部門コードを確認]

このオプションは、Windows ユーザー名をドライバーの **[部門コード]** で検索します。確認は、ユーザーがジョブを印刷する際に行われます。

Windows ユーザー名が **[部門コード]** に存在する場合は、そのリスト内の関連付けられたドライバーの部門コードを使用してジョブを印刷できます。

[部門コード] が、Windows ユーザー名と関連付けられていない場合、ユーザー名と関連付けたい **[部門コード]** の入力求められます。

一致したユーザー名が見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限のチェックを行います。ユーザー権限のみ持つユーザーには、印刷ジョブがキャンセルされ、管理者に問い合わせして印刷権限を取得するよう促すメッセージが表示されます。管理者権限を持つユーザーは、ドライバーにより、部門コードの入力を求められます。Windows ユーザー名とともに、これをリストに追加しておく、印刷ジョブを続行するためにユーザーが部門コードを再入力する必要がなくなります。

部門コードリストを取得する

- 1 **[デバイス設定] > [管理者設定] > [部門管理]** で **[部門管理]** を選択して、**[取得]** をクリックします。
- 2 **[部門管理リストを取得]** ダイアログボックスで、**[ユーザー名]** および **[パスワード]** と認証モードを選択します。
- 3 **[OK]** をクリックします。

既存のリストは、新しく取得された部門コードリストに置き換えられます。

部門コードを追加または編集

- 1 **[デバイス設定] > [管理者設定] > [部門管理]** から、**[部門管理]** を選択します。部門コードを作成するには、**[追加]** をクリックします。
既存の部門コードを編集するには、リストから部門コードを選択し **[編集]** をクリックします。
- 2 **[コード]** で、最大 8 桁の数字を入力します。
- 3 **[説明]** に、ユーザーやグループ名などの部門コードの説明を入力できます。
- 4 **[ユーザー名]** で、Windows ユーザー名を、最大 20 文字で入力します。ユーザー名は大文字と小文字の区別がありません。

- 5 **[追加]** をクリックして **[ユーザー名 (ホスト)]** リストに名前を追加します。各部門コードに最大 1000 個の名前を追加できます。
- 6 部門コードをリストから削除するには、削除する部門コードを選択し **[削除]** をクリックします。
- 7 **[OK]** をクリックします。

部門管理を使用して印刷する

- 1 **[デバイス設定] > [管理者設定] > [部門管理]** から、**[部門管理]** を選択します。
- 2 次の **[部門管理]** オプションを選択します。
 - [特定のコードを使用]**
 - [印刷時にコードを入力]****[特定のコードを使用]** または **[印刷時にコードを入力]** を選択した場合は手順 5 に進みます。

参考: 部門コードをリストに登録すると、上記以外の **[部門管理]** オプションも選択可能になります。

- 3 **[部門コード]** リストは、ボタンをクリックして確認や管理ができます。
- 4 次の **[部門管理]** オプションから選択します。
 - [印刷時にコードを入力 (コードリストの確認)]**
 - [印刷時にコードリストから選択]**
 - [ユーザー (ホスト) ごとに部門コードを確認]**
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 6 アプリケーションから文書を印刷します。
- 7 一部のオプションでは、**[印刷オプション]** または **[認証設定]** ダイアログボックスが表示されるため、部門コードを入力または選択して、**[OK]** をクリックします。

Net Manager

[Net Manager] は、ユーザー認証の一括管理、承認、ユーザーアクセス管理、セキュアブルプリント機能を提供するサーバーベースのアプリケーションです。**[Net Manager]** アプリケーションを別途インストールする必要があります。また、**[Net Manager]** と関係するには、プリンタードライバーの **[デバイス設定] > [管理者設定] > [Net Manager]** での設定が必要です。**[Net Manager]** のドライバー機能は、プリンタードライバーのオプションとしてインストールされます。

XPS ドライバーは **[Net Manager]** をサポートしていません。**[Net Manager]** の詳細については、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズ株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

管理者は、ポリシーに基づいた印刷を行うため、ユーザーとグループに対して **[Net Manager]** サーバーとユーザー情報を設定できます。

ポリシーで印刷機能を制限した場合、**[Net Manager]** はプリンタードライバーの設定を変更するため、一部の印刷機能が対象のユーザーまたはグループに対して制限されます。ポリシーとプリンタードライバーの設定に不一致がある場合の対処は、プリンタードライバーの **[Net Manager]** タブで設定できます。

セキュアプルプリントでは、ジョブを送信した後に印刷するプリントデバイスを選択できます。セキュアプルプリント機能を使用するには、プリンタードライバーは、**[Net Manager]** のスプーラーのポートを使用して、**[Net Manager]** のスプーラーのサーバーに接続する必要があります。プリントデバイスでユーザーが認証されるまで、印刷ジョブは **[Net Manager]** スプーラーサーバーで保持されます。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、**[デバイス設定]** の **[管理者設定]** ボタンが、**[認証設定]** ボタンになります。**[Net Manager]** のデータは、**[認証設定]** ダイアログボックスで入力できます。**[Windows 認証を使用]** を選択している場合は、**[認証設定]** ボタンは使用できません。

Net Manager オプションを選択する

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[Net Manager]** で、**[Net Manager]** を選択します。
- 2 サーバーアドレスとポート番号を入力します。デフォルトのポート番号は 9094 です。
- 3 認証のオプションを選択します。
 - [Windows 認証を使用]**
[Net Manager] の認証に Windows のログイン情報を使用します。Windows 認証が失敗した場合を除き、印刷中に **[Net Manager ログイン]** ダイアログボックスは表示されません。選択した場合は、手順 5 に進みます。
 ワークグループ環境では、**[Windows 認証を使用]** は設定できません。
 - [特定のログインユーザー名を使用]**
 特定のログイン情報を入力します。選択した場合は、手順 4 に進みます。
- 4 **[ログインユーザー名]** と **[パスワード]** を入力します。ログインユーザー名は、複数のドメインをサポートするため、ユーザープリンシパル名 (UPN) 形式 username@domain.com で入力することができます。
- 5 印刷中にポリシーが不一致を示すメッセージを非表示にする場合は、**[ポリシーが不一致の場合に通知を表示しない]** を選択します。この選択後、印刷動作を選択します。
 - [印刷を続ける]**
 ポリシーを適用し、印刷を続けます。
 - [印刷をキャンセルする]**
 印刷ジョブをキャンセルします。
- 6 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

Net Manager を使用して印刷する

- 1 アプリケーションの **[印刷]** ダイアログボックスを開きます。**[印刷設定]** または **[プロパティ]** をクリックして、**[プロパティ]** ダイアログボックスを開き、ポリシーで設定された印刷制限を確認できます。
- 2 **[Net Manager ログイン]** または **[認証設定]** ダイアログボックスが表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。ドライバーで **[Net Manager]** のユーザー名またはパスワードが無効または空白の場合は、ダイアログボックスが表示されます。**[管理者設定] > [Net Manager]** で、**[Windows 認証を使用]** が選択されている場合、Windows 認証が失敗した場合を除き、**[Net Manager ログイン]** ダイアログボックスは表示されません。
- 3 各印刷ジョブに前回保存したユーザー名とパスワードを使用する場合、**[次回から表示しない]** をクリックします。選択すると、これ以降、**[Net Manager ログイン]** ダイアログボックスは表示されません。
- 4 **[ログイン]** をクリックして、ログインユーザー名とパスワードが認証された **[Net Manager]** スーパーサーバーに印刷ジョブを送信します。
印刷ジョブは **[Net Manager]** の **[ジョブ]** に表示されます。
- 5 **[Net Manager]** の設定によっては、ジョブが印刷される前に **[印刷オプション]** ダイアログボックスが開き、印刷割り当ての情報を表示します。**[OK]** をクリックし続行します。
- 6 プリントデバイスの操作パネルで、認証のための情報を入力しスプールのジョブを実行します。**[Net Manager]** サーバーが管理するあらゆるプリントデバイスからの印刷が可能です。

ユーザー設定

この機能を使うと、ユーザー名や部署・部門名の指定、デフォルトの単位を選択を行うことができます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントは **[部署・部門名]** と **[単位]** は使用できません。**[ユーザー名]** および **[言語設定]** は変更できます。

ユーザー登録

この機能を使うと、最大 31 文字の **[ユーザー名]** と **[部署・部門名]** を使用して、印刷ジョブを識別できます。2 バイト文字もサポートしています。**[ユーザー名]** は、ストレージデバイスに保存されている印刷ジョブの識別に使用することができます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントユーザーは **[ユーザー名]** を変更することができます。これにより、サーバーのデフォルトユーザー名は変更されません。

ユーザー登録情報を設定する

- 1 **[デバイス設定] > [ユーザー設定]** で、**[ユーザー名]** テキストボックスにユーザー名を入力します。
- 2 **[部署・部門名]** テキストボックスに、部署・部門名またはグループ名を入力します。

[ユーザー名] および [部署・部門名] テキストボックスには、最大 31 文字まで入力することができます。

- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

単位

単位には、**[インチ]** または **[ミリ]** のいずれかを設定することができます。これは、次の設定に使用されます。

[基本設定] タブの **[原稿サイズ]** 設定。

[拡張機能] タブの **[ウォーターマークの追加]** および **[ウォーターマークの編集]** ダイアログボックスにある **[間隔]** の設定。

[レイアウト] タブの **[ポスター印刷]** 設定。

[レイアウト] または **[仕上げ]** タブでの **[とじしろ設定]**。

単位を選択する

- 1 **[デバイス設定]** > **[ユーザー]** で **[インチ]** または **[ミリ]** のいずれかを選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ページ記述言語 (PDL)

この機能を使うと、印刷ページのコンテンツおよびレイアウトを指定できます。**[デバイス設定]** で、**[PCL XL]** (Printer Command Language XL)、**[PCL 5c]**、**[KPD]** (京セラページ記述言語)、または **[PDF]** (ポータブルドキュメントフォーマット) から選択できます。PDL として **[PDF]** を追加するには、**[Output to PDF]** (PDF 作成) プラグインをインストールする必要があります。デフォルトは、一般的に使用されている **[PCL XL]** に設定されています。

PDL を選択すると、**[デバイス設定]** および **[印刷設定]** のすべてのタブにあるオーバービューイメージの下隅に、選択した PDL が表示されます。**[印刷設定]** の任意のタブで PDL を一時的に変更することもできます。

[GDI 互換モード] は、ベクトルグラフィックのラスターライズを行い、ビットマップイメージとして印刷します。**[GDI 互換モード]** を使用すると、アプリケーションで作成したグラフィックを高品質で出力することができます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

使用するアプリケーションが XML Print Specification をサポートしている場合、XPS ドライバーをインストールした後で XPS 印刷を実行できます。XPS ドライバーの場合、選択可能な PDL は **[XPS]** のみです。

PDL オプション

PDL オプションは、**[デバイス設定]** の **[PDL (ページ記述言語)]** ダイアログボックスで選択できます。

PCL XL

HP PCL と PCL 6 の最新バージョンです。この PDL には、PCL 5c の機能が含まれています。PCL XL には、PCL の旧バージョンとの下位互換性はありませんが、次の点において、PCL 5c の機能よりも強化されています。

ファイルサイズの圧縮

印刷速度の高速化

アプリケーションに戻る速度の高速化
[セキュリティ・ウォーターマーク] に対応
[細線化] に対応

PCL 5c

PCL の旧バージョンとの完全な互換性
双方向通信のサポート
Microsoft Windows のアプリケーションで使用できるフォントの種類の拡大
複雑なグラフィックは印刷できない場合があります
[プロローグ/エピローグ]で、[ページのはじめ/ページの終わり] が使用できません

KPDL

PostScript 2 または 3 がサポートされているアプリケーションから印刷する場合は、KPDL を使用します。

PostScript 印刷のエミュレーション
グラフィックの再生機能の強化
印刷速度は、PCL 5c よりも遅くなる場合があります
PCL 5c よりも大きなデバイスメモリー容量が必要です
ネイティブ TrueType フォントのダウンロードが可能です
多彩な [グラフィック詳細設定] オプションをサポートしています
[EMF スプールを行う] は、[パススルーモード] が選択されている場合は使用できません

PDF

[Output to PDF] (PDF 作成) は、さまざまなデータ元から文書を Adobe PDF 形式に印刷または保存できるプラグインです。PDF 形式は、文書の作成に使われたオペレーティングシステムや、アプリケーションに依存しません。

PDF 文書作成のため、既存の市販アプリケーションの代用として使用可能
元の文書のレイアウトを保持
PDF コンテンツを表示できる OS 上で閲覧や印刷が可能
いくつかのドライバー機能は使用不可

PDL 設定

ページ記述言語によっては、[PDL (ページ記述言語)] ダイアログボックスで追加の設定を行うことができます。

PCL XL 詳細設定

[白紙ページをスキップ]

このオプションは、印刷データのないページや、空白 (スペース) 文字のみのページの出力を防ぎます。これにより、用紙の節約と印刷時間の多少の短縮が可能です。

白紙ページを含む全ページを印刷する場合は、[オフ] を選択してください。

白紙ページに含めない場合は、[オン] を選択してください。

[ブックレット]、[両面印刷]、または [ページ集約] 機能を使用する場合、白紙ページを含めた全ページを印刷する場合、[レイアウト設定を使用] を選択してください。そうでない場合、白紙は印刷されません。

[スマート両面印刷]

このオプションを使うと、両面印刷で、片面のみに印刷が必要な場合に、自動的に用紙が両面ユニットをパイパスします。片面 1 ページのみの文書を印刷する場合、複数ページの文書から 1 ページのみの印刷する場合、複数ページをページ集約機能で 1 ページに印刷する場合は、用紙は両面ユニットをパイパスします。このオプションを選択すると、両面ユニットの消耗を低減でき、印刷時間の短縮にもつながります。

[印字領域互換]

[印字領域互換] をチェックすると、印刷領域が他社製製品の印刷領域と異なる際に、近づけることができます。

KPDL 詳細設定

[白紙ページをスキップ]

このオプションは、印刷データのないページや、空白 (スペース) 文字のみのページの出力を防ぎます。これにより、用紙の節約と印刷時間の多少の短縮が可能です。このオプションが選択されている場合、[パススルーモード] は使用できません。

白紙ページを含む全ページを印刷する場合は、[オフ] を選択してください。

白紙ページをに含めない場合は、[オン] を選択してください。

[ブックレット]、[両面印刷]、または [ページ集約] 機能を使用する場合、白紙ページを含めた全ページを印刷する場合、[レイアウト設定を使用] を選択してください。そうでない場合、白紙は印刷されません。

[スマート両面印刷]

このオプションを使うと、両面印刷で、片面のみに印刷が必要な場合に、自動的に用紙が両面ユニットをパイパスします。片面 1 ページのみの文書を印刷する場合、複数ページの文書から 1 ページのみの印刷する場合、複数ページをページ集約機能で 1 ページに印刷する場合は、用紙は両面ユニットをパイパスします。このオプションを選択すると、両面ユニットの消耗を低減でき、印刷時間の短縮にもつながります。

[パススルーモード]

このオプションは、PostScript 形式のアプリケーションによる複雑なジョブを印刷する際に、エラーを減らすことができます。チェックすると [拡張機能] タブの [EMF スプールを行う] は使用できません。

[PDF 詳細設定]

文書を Adobe PDF フォーマットで印刷および保存するオプションを提供します。詳細については、PDF の項を参照してください。

デバイス設定で PDL を選択する

- 1 [デバイス設定] > [PDL] で、[言語の選択] リストから、ページ記述言語を選択します。

[PCL XL] を選んだ場合は、[スマート両面印刷]、[白紙ページをスキップ]、および [印字領域互換] を選択できます。

[KPDL] を選択すると、[スマート両面印刷]、[白紙ページをスキップ]、または [パススルーモード] を選択できます。[パススルーモード] を選択すると、[拡張機能] タブの [EMF スプールを行う] は使用できません。

[PDF] を選択すると、[PDF 詳細設定] をクリックして、[PDF 詳細設定] ダイアログボックスを開くことができます。

- 2 [GDI 互換モード] を選択すると、アプリケーションで作成したグラフィックデータの印刷品質を向上できる場合があります。

[白紙ページをスキップ] がオン、または [レイアウト設定を使用] が設定されている場合、[GDI 互換モード] は使用できません。

3 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

PDF

[PDF作成] プラグインは、さまざまなデータ元から文書を Adobe PDF 形式に印刷または保存できます。この機能は、PDF 文書を作成する場合に、既存の商用アプリケーションの代わりとして利用することができます。PDF 形式で保存された文書は、元の文書のレイアウトを保持し、PDF コンテンツを表示できる OS 上で閲覧、印刷ができます。

複数の用紙サイズが混在する文書の場合は、PDF のすべてのページで、最初のページのサイズが使用されます。

参考: PDL として [PDF] を選択した場合は、一部のドライバーのオプションのみ利用できます。

PDFオプション

[Output to PDF] (PDF 作成) プラグインがインストールされている場合、PDF オプションを選択できます。

[PDF 詳細設定] ダイアログボックスで、次のオプションが使用できます。

[フォントを埋め込む]

このオプションを使用すると、文書のフォントは PDF ファイルで設定されたとおりに画面に表示されます。このオプションを使用すると、ファイルの見ばえを正確に再現することができますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。

[データを圧縮する]

このオプションを使用すると、PDF 文書を圧縮できます。ファイルサイズが大幅に小さくなります。

[印刷と保存 オプション]

リストから、印刷 (**[印刷のみ]**)、PDF ファイルに保存 (**[ファイルに保存]**)、またはその両方 (**[印刷と保存]**) を選択します。保存オプションを選択すると、**[PDF 詳細設定]** ダイアログボックスで追加オプションを選択できます。

[カラーとして保存]

このオプションでは、PDF ファイルをカラー文書として保存します。**[印刷のみ]** が選択された場合は表示されません。

[既定のフォルダーに自動保存]

PDF ファイルを自動的に既定のフォルダーに保存します。PDF ファイルを保存する場所を指定します。

[日付と時間]

チェックボックスを選択すると、同じファイル名に、ファイル保存時の日付と時間が追加されます。チェックボックスを非選択にすると、同名のファイルがすでに存在する場合、そのファイルを上書きします。

[暗号化]

暗号化では、PDF ファイルの暗号化のレベルを選択します。暗号化で [なし] 以外を選択すると、パスワードによる保護をかけることができ、許可されていないユーザーが文書を開いたり、変更したりすることを防げます。

[Arc4 40]

この暗号化オプションによって、PDF 文書に低レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 6.0 以前のバージョンに対応しています。

[Arc4 128]

この暗号化オプションによって、PDF 文書に低レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 6.0 以降のバージョンに対応します。

[AES 128]

この暗号化オプションによって、PDF 文書に高レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 7.0 以降のバージョンに対応します。

[AES 256]

この暗号化オプションによって、PDF 文書に高レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 9.0 以降のバージョンに対応します。

[パスワード保護]

セキュリティ設定を変更したり、文書を開いたりする場合は、パスワードを選択します。パスワードには、最大 16 文字まで設定できます。

[セキュリティ設定を変更するパスワード]

チェックボックスを選択し、オーナーパスワードを入力します。Adobe Acrobat では、[ファイル]>[プロパティ]>[セキュリティ] タブから、セキュリティ設定を変更する際にこのパスワードが必要となります。このパスワード保護付きの PDF ファイルを Adobe Reader で開いた場合、文書の印刷、編集、内容のコピーなどはできません。

[文書を開くパスワード]

チェックボックスを選択し、ユーザーパスワードを入力します。PDF 文書を開く際は、ユーザーパスワードを入力する必要があります。このパスワードは、オーナーパスワードとは異なるものに設定しなければなりません。

PDF を印刷および保存する

- 1** [デバイス設定]>[PDL] で、[言語の選択] リストから **[PDF]** を選択します。
- 2** **[PDF 詳細設定]** をクリックします。
- 3** **[PDF 詳細設定]** ダイアログボックスの、**[印刷と保存オプション]** で、PDF ファイルを印刷、保存、または印刷して保存するかどうかを選択します。
- 4** 手順 3 で保存オプションを選択した場合は、保存先フォルダー、暗号化、パスワードオプションを指定します。
- 5** すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 6** 文書を開いて印刷します。
- 7** PDF ファイルに名前を付けて、保存します。

XPS ドライバー

Windows 10、Windows 8.1、Windows Server 2012 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows Vista (最新のプラットフォームアップデートを含む SP2)、および Windows Server 2008 では、XML Paper Specification (**[XPS]**) を使用できます。ページ記述言語は、書類の表示、処理、印刷方法を提供します。PDL と文書形式のどちらとしても、**[XPS]** は、互換性のあるプリントデバイス機器と Windows Presentation Foundation (WPF) アーキテクチャー向けに書かれたソフトウェアが必要となります。**[PCL]** および **[KPDLL]** は、**[XPS]** 環境と互換性がありません。そのため、**[XPS]** ドライバーは、単一の PDL 設定のみをサポートします。**[XPS]** ドライバーは、**[Product Library]** ディスクからインストールできます。**[インストール方法]** メニューで、**[カスタムモード]** をクリックし、**[カスタムインストール]** ページで **[KX XPS DRIVER]** を選択します。

[XPS] ドライバーの使用時には、一部のドライバー機能は使用できません。**[KX XPS DRIVER]** と **[KX DRIVER]** との間では、ユーザーインターフェイスが異なる部分があります。

XPS オプション

XPS ドライバーを使用している場合、XPS オプションを選択できます。

[XPS 設定] ダイアログボックスで、次のオプションが使用できます。

[印刷と保存 オプション]

リストから、印刷、保存、または印刷して保存するかどうかを選択します。保存オプションを選択すると、**[XPS 設定]** ダイアログボックスで追加オプションを選択できます。

[既定のフォルダーに自動保存]

XPS ファイルを自動的に規定のフォルダーに保存します。XPS ファイルを保存する場所を指定します。

[日付と時間]

チェックボックスを選択すると、同じファイル名に、ファイル保存時の日付と時間が追加されます。チェックボックスを非選択にすると、同名のファイルがすでに存在する場合、そのファイルを上書きします。

XPS を印刷および保存する

- 1 **[デバイス 設定]>[PDL]** で、**[XPS 設定]** をクリックします。
- 2 **[XPS 設定]** ダイアログボックスの **[印刷と保存オプション]** で、印刷、保存、または印刷して保存するかどうかを選択します。
- 3 手順 2 で保存オプションを選択した場合は、保存先フォルダーオプションを指定します。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 5 文書を開いて印刷します。
- 6 XPS ファイルに名前を付けて、保存します。

互換性設定

[互換性設定]では、給紙元の値の指定、**[部単位印刷]**設定のプリンタードライバー優先、および**[基本設定]**タブの**[給紙元]**と**[用紙種類]**（メディアタイプ）リストの統合などの操作を行います。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

[互換性設定]ダイアログボックスのすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**[標準に戻す]**をクリックします。

給紙方法の設定

[給紙方法の設定]は、カセットやフィーダー用の値など、プリンタードライバーに固有の給紙値との互換性をサポートします。新しくプリンタードライバーをインストールした場合でも、そのドライバーのメーカーには関係なく、交換したドライバーと同じ給紙サポートを維持します。古いドライバーに給紙のマクロが残っていても、給紙値の調整が維持されるため、マクロを変更する必要はありません。

[ドライバー情報]ユーティリティ（Utility\Driver Info\DrvInfo.exe）を使用して、インストールされているすべてのドライバーの給紙値を比較できます。

プリンタードライバー間で指定された給紙元が異なる場合、設定値を割り当て直してドライバー間で一致するようにできます。

給紙を設定

- 1 **[デバイス設定]>[互換性]**で、**[給紙方法の設定]**リストから給紙方法を選択します。現在の値は、**[設定値]**ボックスに表示されています。
- 2 **[設定値]**に値を入力して、**[適用]**をクリックします。異なるドライバーの設定を同じにするため、この値は他のドライバーの値と揃えておく必要があります。
- 3 すべてのダイアログボックスで**[OK]**をクリックします。

ドライバーの部単位設定を優先する

この機能を使うと、ソフトウェアアプリケーションの**[部単位印刷]**設定を無視し、プリンタードライバーの設定を優先させます。

オンにすると、プリンタードライバーの**[部単位印刷]**設定が使用されます。

オフにすると、アプリケーションの**[部単位印刷]**設定が使用されます。

プリンタードライバーの部単位印刷設定を優先選択する

- 1 **[デバイス設定]>[互換性]**で、**[ドライバーの部単位設定を優先する]**を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで**[OK]**をクリックします。

給紙元リストにメディアタイプも表示する

この機能を使うと、ドライバーの**[基本設定]**タブを変更して、**[用紙種類]**と**[給紙元]**を**[給紙元]**という名前の1つのリストに統合できます。統合したリストでは、最初に用紙種類が表示され、次にカセットと**[手差しトレイ]**が続いて表示されます。

統合された給紙元リストを作成する

- 1 **[デバイス設定]** > **[互換性]** で、**[給紙元リストにメディアタイプも表示する]** を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

プラグインを削除する

ドライバーに設定されているプラグインを削除できます。削除すると、ドライバーのインターフェイスにはプラグインの機能は表示されません。

参考: **[Output to PDF] (PDF 作成) モジュール**を削除する場合は、**[PDF]** が **PDL** として選択されていないことを確認してください。

- 1 **[デバイス設定]** で、**[Kyocera]** ロゴ > **[プラグイン]** を順にクリックします。
- 2 リストからプラグインモジュールを選択して、**[削除]** をクリックし、次に **[はい]** をクリックします。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

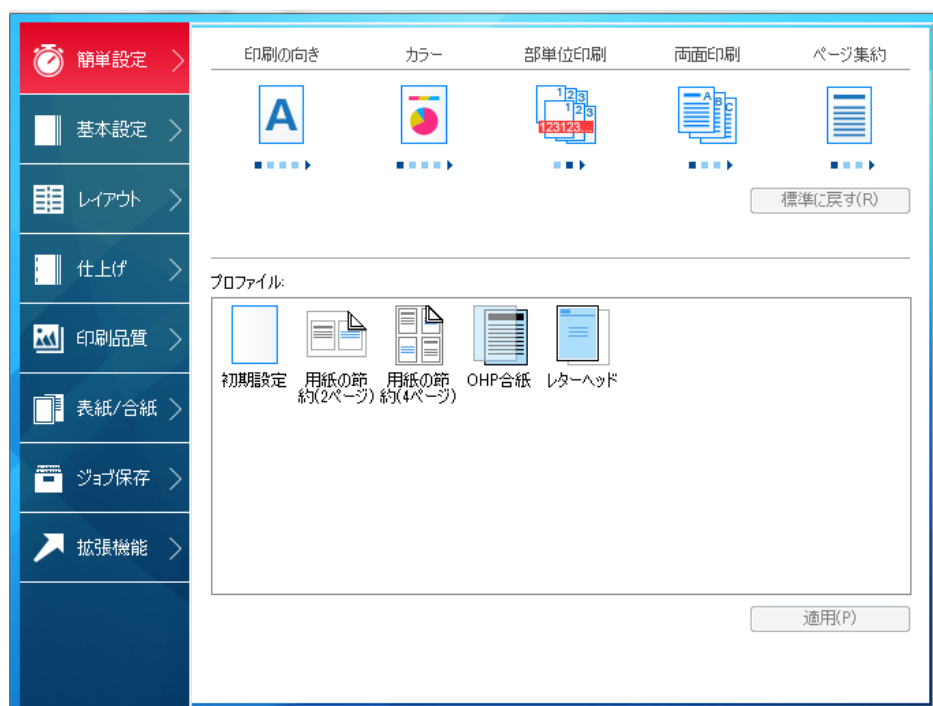
4 簡単設定

【簡単設定】タブでは、印刷ジョブに基本的な印刷設定を適用することができます。簡単なユーザーインターフェイスですばやくオプションを選択できます。

【簡単設定】の設定はプロファイルと呼ばれるグループとして保存し、すべての印刷ジョブに適用できます。プロファイルでは一般的な印刷タスクがサポートされています。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】**をクリックします。**【標準に戻す】**ボタンは、アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

【簡単設定】タブを表示するかどうかは、**【インストール】**処理中、または**【デバイス設定】**>**【管理者設定】**で管理者が設定できます。



簡単設定オプション

【簡単設定】タブでは、最大5つまで印刷オプションを設定できます。**【編集/追加】**機能を使用すると、印刷オプションの表示をカスタマイズできます。よく使う印刷ジョブを、事前に定義した設定と登録されたプロファイルを選択して印刷を行えます。

印刷の向き

この機能を使うと、印刷ジョブの用紙の向きを指定できます。**【印刷の向き】**アイコンを繰り返しクリックすると、印刷方向を縦、横、縦回転、横回転に変更できます。回転オプションは、印刷の向きを180度回転させます。

[印刷の向き] は、[基本設定] タブにも表示されます。[簡単設定] または [基本設定] タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

カラー

この機能を使うと、フルカラー印刷、エコカラー印刷、黒トナーだけの印刷、または 2 色カラー印刷を選択できます。[カラー] アイコンを繰り返しクリックして、[フルカラー]、[エコカラー]、[白黒]、および [2 色カラー] を切り替えます。

[エコカラー] が選択された場合、黒とグレースケールの印刷には黒トナーのみが使用されます。

[2 色カラー] を選択すると、[印刷品質] タブで、色の組み合わせを選択できます。[2 色カラー] は、[PCL XL] または [PCL 5c] が PDL として選択されている場合に使用できます。

[カラー] は、[基本設定] タブおよび [印刷品質] タブにも表示されます。[簡単設定]、[基本設定]、または [印刷品質] タブのいずれかで行った変更は、他の 2 つのタブにも適用されます。

管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[白黒モード] を選択することによって、すべてのジョブを黒トナーのみで印刷できます。

部単位印刷

この機能を使うと、複数部数の印刷で、印刷の順番を指定できます。

[部単位印刷] アイコンをクリックし、[オフ]、[オン]、[オン (逆順印刷)] を切り替えます。

[オン] を選択すると、印刷ジョブがプリントデバイスに送信された後、データはページイメージとしてプリントデバイスのメモリーに保存されます。残りのジョブは、保存されたデータから印刷されます。これにより、部数ごとにデータを複数回 PC からプリントデバイスに送信することなく、複数部数が印刷できます。

[オン] を選択すると、ドライバーは 1 冊分を部数分印刷します (123、123)。
[オフ] を選択すると、ドライバーは各ページごとに部数分印刷します (111、222)。例えば、[オン] を選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

アプリケーションの [部単位印刷] 設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションの [部単位印刷] を使用するには、[デバイス設定] の [互換性] ダイアログボックスで、[ドライバーの部単位設定を優先する] のチェックボックスをはずします。

[オン (逆順印刷)] を選択すると、印刷されたページは逆の順番で出力されます (321、321)。
[基本設定] タブの [排紙先] で、[プリンターの設定] が選択されていない場合に設定できます。

[部単位印刷] は [基本設定] タブにも表示されます。[簡単設定] または [基本設定] タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

両面印刷

この機能を使うと、ページの両面に印刷できます。[両面印刷] アイコンを繰り返しクリックし、長辺とじ、短辺とじ、オフに変更できます。両面ユニットにより、用紙を反転させて裏面への印刷が可能です。表紙と合紙の両面に印刷するには、[長辺とじ] または [短辺とじ] を選択する必要があります。

[長辺とじ]

長辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

[短辺とじ]

短辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** を選択し、**[両面印刷]** を選択することによって、すべてのジョブを両面に印刷できます。

[ロック設定] を行う前に、**[両面印刷]** をオンにしておく必要があります。**[両面印刷]** がオフのまま **[ロック設定]** を行った場合、すべてのユーザーは **[両面印刷]** が使用できなくなります。

[両面印刷] は **[基本設定]** タブにも表示されます。**[簡単設定]** または **[基本設定]** タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

ページ集約

[ページ集約] は、文書のレビューや用紙節約などの目的で 1 枚の用紙に複数のページを印刷します。1 枚の用紙に印刷するページが増えるため、ページサイズが小さくなり読みやすさは低下します。**[ページ集約]** アイコンを繰り返しクリックし、1 枚の用紙に印刷するページ数を 2 ページ、4 ページ、またはオフに変更します。

この機能は、**[レイアウト]** タブで、**[ページ集約]** としても表示されます。1 シートあたりのページ数を追加したり、ページの並べ方を設定したり、または各ページの境界線を印刷したりできます。

[ページ集約] が選択されている場合、**[レイアウト]** タブで **[縮小拡大]**、**[全面印刷]** および **[ポスター印刷]** は使用できません。

ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

[ロック設定] を行う前に、**[ページ集約]** をオンにしておく必要があります。**[ページ集約]** がオフのまま **[ロック設定]** を行った場合、すべてのユーザーは **[ページ集約]** が使用できなくなります。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** の順に進み、**[ページ集約]** を選択することによって、すべてのジョブをページ集約で印刷することができます。

エコプリント

この機能を使うと、印刷ジョブ内のテキスト、およびグラフィックス全体を薄い濃度で印刷します。**[エコプリント]** は、印刷速度に影響しません。**[エコプリント]** アイコンをクリックし、オン/オフを切り替えます。

[エコプリント] は、**[基本設定]** タブと **[印刷品質]** タブにも表示されます。**[簡単設定]**、**[基本設定]**、または **[印刷品質]** タブのいずれかで行った変更は、他の 2 つのタブにも適用されます。

[ロック設定] を行う前に、**[エコプリント]** をオンにしておく必要があります。**[エコプリント]** がオフのまま **[ロック設定]** を行った場合、すべてのユーザーは **[エコプリント]** が使用できなくなります。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** を選択し、**[エコプリント]** を選択することによって、すべてのジョブを **[エコプリント]** モードで印刷できます。

ステープル

文書をステープルでとじて作成できます。**[ステープル]**アイコンをクリックして、印刷ジョブをステープルする (**[オン]**)、しない (**[オフ]**) を変更します。ステープルの追加機能は、**[仕上げ]** タブで選択できます。

パンチ

この機能を使うと、印刷された用紙の端にパンチ穴をあけ、バインダーなどにとじられるようにします。**[パンチ]**アイコンをクリックして、印刷ジョブをパンチする (**[オン]**)、しない (**[オフ]**) を変更します。パンチの追加機能は、**[仕上げ]** タブで選択できます。

簡単設定オプションの編集/追加

[簡単設定] タブ上部のアイコンは、頻繁に使用する機能を表示するようにカスタマイズできます。アイコンは0-5個表示できます。**[簡単設定]** タブで **[プロファイル]** のオプションだけを使用したい場合、すべてのアイコンをビューから削除できます。

参考: 管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** で **[編集/追加ボタンを隠す]** を選択することにより、**[編集/追加]** ボタンを非表示にすることができます。アプリケーションの **[印刷]** メニューからドライバー画面にアクセスした場合は、**[編集/追加]** ボタンは表示されません。

簡単設定オプションを選択する

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 10、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2: **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[デバイスとプリンターの表示]** をクリックします。

Windows 8 および Windows Server 2012: **[コントロールパネル]** > **[デバイスとプリンターの表示]** を開きます。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **[スタート]** > **[デバイスとプリンター]** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[プリンター]** をクリックします。
- 2 お使いのプリントデバイスの機種を右クリックし、**[印刷設定]** をクリックします。
- 3 **[簡単設定]** タブを選択します。
- 4 **[編集/追加]** をクリックします。
- 5 **[簡単設定オプションの編集/追加]** ダイアログボックスでは、次の操作を行います。

[簡単設定] タブに機能を追加するには、**[利用可能な機能]** で機能を選択し、矢印をクリックして **[選択した機能]** に移動します。**[選択した機能]** には最大5つの機能を表示できます。

[簡単設定] タブから機能を削除するには、**[選択した機能]** で機能を選択し、矢印をクリックして **[利用可能な機能]** に移動します。**[簡単設定]** タブで **[プリンタープロファイル]** のみを使用するには、すべての機能を **[利用可能な機能]** に移動します。

上矢印または下矢印をクリックして、**【選択した機能】**で各機能の位置を変更します。一番上の機能は**【簡単設定】**タブでは左側に表示されます。

リストを初期設定に戻すには、**【標準に戻す】**をクリックします。

- 6 **【OK】**をクリックして、設定内容を保存します。

プロフィール

この機能を使うと、プリンタードライバーの設定をプロフィールとして保存できます。**【簡単設定】**タブと**【印刷設定】**の各タブで各種設定を行い、それらをプロフィールに保存して、印刷を行う際に一括で適用することができます。プロフィールを使用すると、印刷ジョブごとに各種の印刷設定を繰り返す必要がなく、同一の印刷設定を使う印刷ジョブの実行が簡単になります。**【印刷設定】**では**【名前を付けて保存】**と**【プロフィール】**ボタンが各タブの下部に表示されます。

【初期設定】プロフィールも含めて、1つのドライバーに最大26のプロフィールを作成できます。**【デバイス設定】**>**【管理者設定】**で、**【初期設定】**プロフィールを隠す選択ができます。**【デバイス設定】**で行った設定は、プロフィールには保存できません。

【初期設定】以外のプロフィールは、編集、削除、インポート、およびエクスポートすることができます。

プロフィールを選択する

簡単設定タブ

- 1 **【簡単設定】**タブで、プロフィールを選択します。選択されたプロフィールの設定内容が下の設定リストに表示されます。
- 2 **【適用】**をクリックします。
- 3 **【OK】**をクリックします。

プロフィールダイアログボックス

- 1 **【印刷設定】**画面の任意のタブで**【プロフィール】**をクリックします。
- 2 **【プロフィール】**ダイアログボックスで、プロフィールを選択します。選択されたプロフィールの設定内容が下の設定リストに表示されます。
- 3 **【適用】**をクリックします。
- 4 **【OK】**をクリックします。

プロフィールを保存する

【名前を付けて保存】 ボタン

- 1 **【印刷設定】**を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。
- 2 任意のタブで、**【名前を付けて保存】**をクリックします。

- 3 プロファイルを識別するため、**[名称]**を入力し、**[アイコン]**を選択して、**[コメント]**を入力します。

- 4 **[OK]**をクリックしてプロファイルを保存します。

[プロファイル] ダイアログボックスと **[簡単設定]** タブに新しく追加したプロファイルが表示されます。

参考: プリンタードライバーを初期設定にリセットするには、**[初期設定]** プロファイルを選択し、**[適用]**をクリックします。これにより、選択したプロファイルの設定は消去されます。

[プロファイル] ボタン

- 1 **[印刷設定]**を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。

- 2 任意のタブで **[プロファイル]**をクリックします。

- 3 **[追加]**をクリックします。

- 4 プロファイルを識別するため、**[名称]**を入力し、**[アイコン]**を選択して、**[コメント]**を入力します。

- 5 **[OK]**をクリックしてプロファイルを保存します。

新しく追加したプロファイルが、**[プロファイル]** ダイアログボックスに表示されます。

- 6 **[OK]**をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

新しく追加したプロファイルが、**[簡単設定]** タブに表示されます。

参考: プリンタードライバーを初期設定にリセットするには、**[初期設定]** プロファイルを選択し、**[適用]**をクリックします。これにより、選択したプロファイルの設定は消去されます。

プロファイルを編集する

- 1 いずれかのタブで **[プロファイル]**をクリックします。

- 2 **[プロファイルの選択]**で、編集するプロファイルを選択し、**[編集]**をクリックします。

- 3 **[名称]**、**[アイコン]**、および**[コメント]**のオプションを編集できます。

- 4 **[OK]**をクリックして変更を保存します。

[プロファイル] ダイアログボックスと **[簡単設定]** タブに、編集されたプロファイルが表示されます。

- 5 **[適用]**をクリックして、選択したプロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**[OK]**をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プロファイルを削除する

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。
- 2 **[プロファイルの選択]** で、削除するプロファイルを選択し、**[削除]** をクリックします。
- 3 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して **[はい]** をクリックします。
- 4 **[閉じる]** をクリックして **[プロファイル]** ダイアログボックスを閉じます。

プロファイルをインポートする

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** > **[インポート]** をクリックします。
- 2 既存プロファイル (.KXP) を選択し、**[開く]** をクリックします。
インポートされたファイルの中に、既存のドライバーでは使用できないプロファイル設定が含まれている場合は、メッセージが表示されます。プロファイルをインポートするには **[はい]** を、インポートをキャンセルするには **[いいえ]** をクリックします。
[はい] を選択すると、**[プロファイル]** ダイアログボックスに新しくインポートしたプロファイルが表示されます。
- 3 **[適用]** をクリックして、選択したプロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**[OK]** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
新しく追加したプロファイルが、**[簡単設定]** タブに表示されます。

プロファイルをエクスポートする

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。
- 2 **[プロファイルの選択]** で、エクスポートするプロファイルを選択し、**[エクスポート]** をクリックします。
- 3 **[プロファイルのエクスポート]** ダイアログボックスで、プロファイルに名前を付けて保存します。
- 4 **[OK]** をクリックして **[プロファイル]** ダイアログボックスを閉じます。

アプリケーション別の印刷設定

この機能を使うと、管理者は、プロファイルをアプリケーションと関連付け、そのアプリケーションからのすべての印刷に同一のプロファイル設定を適用できます。これによりプロファイルが一層使いやすくなり、アプリケーションからの印刷の一貫性が保証されます。例えば、用紙を節約するために両面印刷プロファイルをすべてのスプレッドシートに適用することや、Microsoft Word によるレポート印刷に対して、同一のステープルや一貫した印刷品質を設定することができます。

[アプリケーション別の印刷設定] ダイアログボックス (**[プロファイル]** ダイアログボックスからアクセスできます) で、いつでもプロファイルとアプリケーションを関連付けることができます。最大 25 のアプリケーション別の印刷設

定を作成できます。アプリケーションを使用して印刷するには、**[デバイス設定]>[管理者設定]>[一般]**で**[アプリケーション別の印刷設定を有効にする]**をクリックします。

クライアント/サーバー環境で、クライアント PC のユーザー はサーバー上のアプリケーション印刷設定の詳細を確認できますが、設定の変更や別のプロファイルの選択はできません。

管理者は、**[デバイス設定]>[管理者設定]>[ロック設定]**を選択し、**[アプリケーション別の印刷設定]**を選択することによって、アプリケーションからのすべてのジョブに関連付けられたプロファイル設定を適用できます。

アプリケーション印刷設定を追加する

- 1 いずれかのタブで**[プロファイル]**をクリックします。
- 2 **[プロファイル]**ダイアログボックスで、**[アプリケーション]**をクリックします。
- 3 **[アプリケーション別の印刷設定]**ダイアログボックスで**[追加]**をクリックします。
- 4 **[設定名称]**テキストボックスに最大 15 文字までの設定名称を入力します。
- 5 **[アプリケーションを選択してください]**にて、次の方法でアプリケーションを選択します。
 - [アプリケーション名]**を選択し、リストに登録されているアプリケーションを選択します。
 - [ファイル名]**を選択し、印刷可能なアプリケーションの実行ファイル名(.EXE)を入力するか、**[参照]**をクリックして PC 上にあるファイルを参照します。
- 6 **[プロファイルを選択してください]**で、リストからプロファイルを選択します。
- 7 すべてのダイアログボックスで**[OK]**をクリックします。

アプリケーション印刷設定を削除する

- 1 任意のタブで**[プロファイル]**をクリックします。
- 2 **[プロファイル]**ダイアログボックスで、**[アプリケーション]**をクリックします。
- 3 **[アプリケーション別の印刷設定]**ダイアログボックスで、削除するアプリケーション印刷設定を選択し、**[削除]**をクリックします。
- 4 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して**[OK]**をクリックします。
- 5 すべてのダイアログボックスで**[OK]**をクリックします。

アプリケーション印刷設定を編集する

- 1 いずれかのタブで**【プロファイル】**をクリックします。
- 2 **【プロファイル】**ダイアログボックスで、**【アプリケーション】**をクリックします。
- 3 **【アプリケーション別の印刷設定】**ダイアログボックスで、編集するアプリケーション印刷設定を選択し、**【編集】**をクリックします。
- 4 **【アプリケーション印刷設定の編集】**ダイアログボックスで、**【設定名称】**、**【アプリケーションを選択してください】**または**【プロファイルを選択してください】**で設定を変更します。
- 5 すべてのダイアログボックスで**【OK】**をクリックします。

5 基本設定

【基本設定】タブでは、最もよく使うプリンタードライバーの設定を指定できます。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】**をクリックします。**【標準に戻す】**ボタンは、アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



出力用紙サイズ

この機能を使うと、文書を出力する用紙のサイズを選択できます。この設定を使用する際は、**【原稿サイズ】**の設定がアプリケーションで設定されている原稿サイズと一致していることを確認してください。出力用紙サイズがアプリケーションの原稿サイズと異なると、各ページは出力用紙サイズと一致させるために拡大または縮小されます。

カッコ内の数値 (%) は、原稿用紙サイズに対する出力用紙サイズの比率です。

原稿サイズ

この機能を使うと、アプリケーション内の原稿サイズを選択できます。選択すると、**【出力用紙サイズ】**リストは、原稿サイズに対する出力用紙サイズの比率を示します。

参考: 大きな用紙サイズ (A0, A1, A2, B1, B2, B3) が選択された場合、縮小・拡大率は 20% 未満となる場合があります。印刷結果は保証されないことを示すメッセージが表示されます。[レイアウト] タブの [ポスター印刷] 機能は、大きな用紙サイズでは使用できません。

標準サイズ以外の不定形サイズの用紙に印刷することもできます。カスタム用紙サイズとして、[原稿サイズ] および [出力用紙サイズ] リストに保存しておくと、後でそのサイズを選択できます。

[原稿サイズ] ダイアログボックスには、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。[デバイス設定] からアクセスして、[ユーザー設定] ダイアログボックスの [単位] 設定を変更できます。

カスタム用紙サイズを作成する

- 1 [基本設定] タブで、[原稿サイズ] をクリックします。
 - 2 [原稿サイズ] ダイアログボックスで、[新規] をクリックします。
 - 3 [名称] ボックスに、デフォルトのカスタム名が表示されます。カスタム用紙サイズ名を入力します。
 - 4 短辺および長辺の値を入力または選択します。入力した値が制限値を超えた場合、値が自動的に制限値に調整されます。
 - 5 完了したら、[追加] をクリックします。
 - 6 [OK] をクリックして [原稿サイズ] ダイアログボックスを閉じます。
- [出力用紙サイズ] のリストにカスタム用紙サイズが表示され、これは出力サイズを拡大または縮小するために使用されます。

カスタム用紙サイズを削除する

- 1 [基本設定] タブで、[原稿サイズ] をクリックします。
- 2 [原稿サイズ] ダイアログボックスで、削除するカスタムサイズを選択します。
- 3 [削除] をクリックします。
- 4 [OK] をクリックして [原稿サイズ] ダイアログボックスを閉じます。

カスタム用紙サイズを使用して印刷する

- 1 カスタムサイズの用紙を [手差しトレイ] に入れます。
- 2 [基本設定] タブで、[出力用紙サイズ] リストのカスタム用紙サイズ名を選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

用紙種類

この機能を使うと、用紙種類を選択できます。選択した用紙が印刷ジョブに使用されます。選択可能な用紙の種類は、**[給紙元]** の選択によって異なります。デフォルト設定は **[指定なし]** に設定されており、給紙元が用紙切れとなっても他の給紙元に切り替わりません。**[自動選択]** を選択した場合、プリントデバイスは指定と同一の種類とサイズ of 用紙が給紙されているカセットまたはトレイを選択します。

プリントデバイスからカスタム用紙種類名を表示できます。プリントデバイスで名前が変更された場合は、新しい名前がデフォルト名に替わり表示されます。プリントデバイス名を表示するには、**[デバイス設定]** の **[自動設定]** を使用します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙種類は、**[手差しトレイ]** から給紙する必要があります。プリントデバイスの『使用説明書』の指示にしたがって、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。

参考: ダイアログボックスでは、**[給紙元]** と **[用紙種類]** は異なる項目となっていますが、**[デバイス設定] > [互換性]** の **[給紙元リストに用紙種類も表示する]** を使用すると、1 項目として設定することができます。この場合、**[基本設定]** タブの **[用紙種類]** は使用できず、**[給紙元]** リストから用紙種類を選択します。

給紙元

この機能を使うと、印刷ジョブに給紙するトレイまたはカセットを指定できます。デフォルト設定は **[自動選択]** で、プリントデバイスはアプリケーションまたはプリンタードライバーから要求されている用紙を検索します。印刷中に選択したトレイまたはカセットが用紙切れとなった場合、プリントデバイスは他の給紙元を選択し、印刷を続行します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙種類は、**[手差しトレイ]** から給紙する必要があります。プリントデバイスの『使用説明書』の指示にしたがって、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。

参考: ダイアログボックスでは、**[給紙元]** と **[用紙種類]** は異なる項目となっていますが、**[デバイス設定] > [互換性]** の **[給紙元リストに用紙種類も表示する]** を使用すると、1 項目として設定することができます。この場合、**[基本設定]** タブの **[用紙種類]** は使用できず、**[給紙元]** リストから用紙種類を選択します。

排紙先

印刷ジョブの出力先の排紙トレイを指定できます。

メールボックス

オプションのメールボックスが装着され、**[デバイス設定]** で選択されている場合、7 段あるメールボックストレイのいずれかに印刷ジョブを送信することができます。

メールボックスへ印刷ジョブを送信

メールボックストレイに印刷ジョブを送信できます。

- 1 **[基本設定] > [排紙先]** から、**[メールボックス (フェイスダウン)]** を選択します。

- 2 **[メールボックス]** ボタンをクリックします。
- 3 ダイアログボックスで、使用するメールボックストレイをリストから選択します。
- 4 **[OK]** をクリックします。

部数

この機能を使うと、印刷する部数を指定できます。最大 999 部まで設定できます。

カーボンコピー

この機能を使うと、別のトレイやカセットから給紙した用紙を使用して追加の印刷ができます。この機能は、例えば請求書のような文書を、異なるカラー用紙または用紙の種類で印刷するときに便利です。カーボンコピーは、最大枚数まで設定して印刷できます。

[拡張機能] タブの **[プロローグ/エピローグ]** 機能を使用して、各カーボンコピーにロゴや見出しを追加できます。

[カーボンコピー] が選択されている場合、**[一括コピー]** と、**[レイアウト]** タブの **[ブックレット]** および **[表紙/合紙]** タブにあるすべての機能が利用できません。

[デバイス設定] > [管理者設定] > [Net Manager] で、**[Net Manager]** が選択されている場合、**[カーボンコピー]** は使用できません。

カーボンコピーを印刷する

- 1 **[基本設定]** タブで、給紙元と原稿の印刷部数を選択します。
- 2 カーボンコピーを行うために、各給紙元にカラー用紙など任意の種類の用紙をセットします。
- 3 **[カーボンコピー]** チェックボックスを選択します。
- 4 **[設定]** をクリックします。
- 5 **[カーボンコピー設定]** ダイアログボックスで、各給紙元の印刷部数を選択します。
すべての給紙元の印刷部数の合計が、**[合計]** に表示されます。
- 6 各カーボンコピーの **[給紙元]**、**[用紙種類]**、あるいは両方を選択します。
- 7 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

一括コピー

印刷ジョブをバッチに分けて印刷できるようにします。バッチごとの枚数を選択することもできます。この機能を使用するためには、ストレージデバイスが装着されている必要があります。

設定したバッチリストは、印刷ジョブとして名前を付けて保存することができます。これは、他のプリンターデバイスで同じ設定を使用する際に、エクスポートやインポートして使用できます。

それぞれのバッチに表紙を追加したり、必要に応じてジョブ名とタイトルを追加して印刷することもできます。表紙は、本文とは違う用紙サイズ、用紙種類、印刷の向きを選択することもできます。用紙サイズ、用紙種類、および給紙元の設定は、**[基本設定]** タブの設定と異なっていてもかまいません。**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** で、**[ユーザー管理]** または **[部門管理]** が選択されている場合は、表紙を追加することはできません。

この機能を使用すると、**[簡単設定]** および **[基本設定]** タブの **[部単位印刷]** が自動的にオンに設定されます。**[クイックコピー]** を使用する場合は、ストレージデバイスに保存されるバッチは1つだけで、バッチの表紙は保存も印刷もされません。

[一括コピー] は、**[PCL XL]** または **[PCL 5c]** が PDL として選択されている場合に使用できます。この機能は、**[部数]** および **[カーボンコピー]** とは併用できません。また、**[一括コピー]** は、**[Net Manager]** との併用もできません。

一括コピーで印刷する

- 1 **[基本設定]** タブで、**[一括コピー]** を選択します。
- 2 **[設定]** をクリックします。
- 3 **[一括コピー設定]** ダイアログボックスで、**[新規]** をクリックして、バッチをリストに追加します。
- 4 **[部数]** には、選択されたバッチのコピー枚数を入力します。
- 5 すべてのバッチに表紙を追加するには、**[一括コピーの表紙を印刷]** を選択して、表紙のオプションを選択します。

すべてのバッチの表紙にジョブ名を印刷したい場合は、**[一括コピーのジョブ名]** に任意の文字を入力します。

それぞれのバッチのタイトルを印刷したい場合は、**[一括コピーの表紙タイトル]** に任意の文字を入力します。

[出力用紙サイズ]、**[給紙元]**、**[用紙種類]**、および **[印刷の向き]** のオプションを選択します。設定内容を変更すると、変更による互換性を保つため、他の選択も調整されることに注意してください。
- 6 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

リストからバッチを選択し、**[削除]** をクリックするとバッチを削除できます。

[インポート] をクリックすると、PC またはネットワークから有効なバッチファイル (.BCI) を検索してインポートできます。

[エクスポート] をクリックすると、PC またはネットワークの任意の場所に、設定したリスト (.BCI) を保存できます。保存されたリストは他のプリンタードライバーにインポートできます。

部単位印刷

この機能を使うと、複数部数の印刷で、印刷の順番を指定できます。

[部単位印刷] アイコンをクリックし、**[オフ]**、**[オン]**、**[オン (逆順印刷)]** を切り替えます。

[オン] を選択すると、印刷ジョブがプリントデバイスに送信された後、データはページイメージとしてプリントデバイスのメモリーに保存されます。残りのジョブは、保存されたデータから印刷されます。これにより、部数ごとにデータを複数回 PC からプリントデバイスに送信することなく、複数部数が印刷できます。

[オン] を選択すると、ドライバーは 1 冊分を部数分印刷します (123、123)。**[オフ]** を選択すると、ドライバーは各ページごとに部数分印刷します (111、222)。例えば、**[オン]** を選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

アプリケーションの **[部単位印刷]** 設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションの **[部単位印刷]** を使用するには、**[デバイス設定]** の **[互換性]** ダイアログボックスで、**[ドライバーの部単位設定を優先する]** のチェックボックスをはずします。

[オン (逆順印刷)] を選択すると、印刷されたページは逆の順番で出力されます (321、321)。**[基本設定]** タブの **[排紙先]** で、**[プリンターの設定]** が選択されていない場合に設定できます。

[部単位印刷] は **[簡単設定]** タブにも表示されます。**[簡単設定]** または **[基本設定]** タブで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

文書を部単位印刷する

- 1 **[基本設定]** タブで、**[部単位印刷]** アイコンをクリックして、オン/オフを切り替えます。
- 2 **[部数]** ボックスで、印刷ジョブの最終部数を入力するか数字を選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

印刷の向き

この機能を使うと、印刷ジョブの用紙の向きを指定できます。**[縦]**、**[横]**、**[縦 (180°回転)]**、**[横 (180°回転)]** のいずれかのアイコンをクリックします。回転オプションを選択すると、印刷ジョブの向きが 180 度回転します。

[印刷の向き] は、**[簡単設定]** タブにも表示されます。**[簡単設定]** または **[基本設定]** タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

両面印刷

ページの両面に印刷できます。両面ユニットにより、用紙を反転させて裏面への印刷が可能です。表紙と合紙の両面に印刷するには、**[長辺とじ]** または **[短辺とじ]** を選択する必要があります。

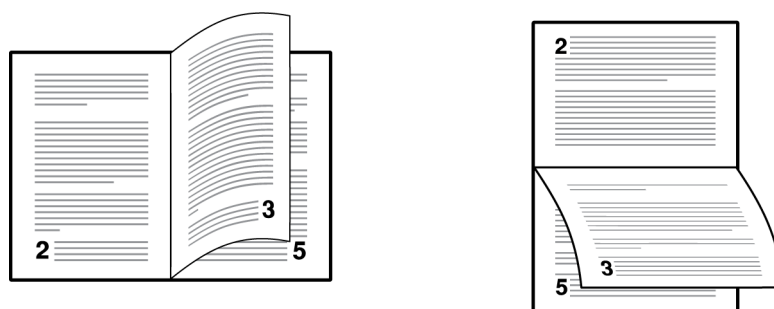
[長辺とじ]

長辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

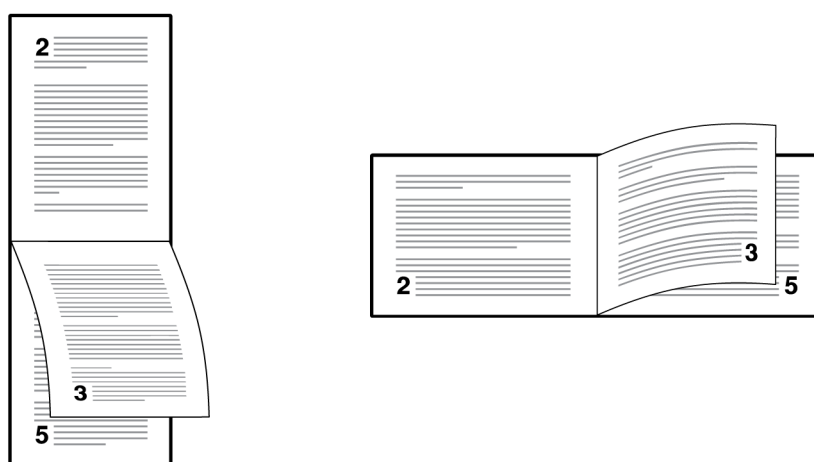
[短辺とじ]

短辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

長辺とじ



短辺とじ



ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

[両面印刷] は **[簡単設定]** タブにも表示されます。**[簡単設定]** または **[基本設定]** タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** を選択し、**[両面印刷]** を選択することによって、すべてのジョブを両面に印刷できます。

[ロック設定] を行う前に、**[両面印刷]** をオンにしておく必要があります。**[両面印刷]** がオフのまま **[ロック設定]** を行った場合、すべてのユーザーは **[両面印刷]** が使用できなくなります。

両面印刷モードで印刷する

- 1 **[基本設定]** タブで、**[長辺とじ]** または **[短辺とじ]** いずれかのアイコンをクリックします。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

カラー

使用可能なオプションは、次のとおりです。

[フルカラー]

このモードは、テキストやグラフィックを 4 色でフルカラー印刷します。

[エコカラー]

[エコカラー] が選択された場合、黒とグレースケールの印刷には黒トナーのみが使用されます。

[白黒]

このモードは、カラー設定を無効にして黒トナーのみで印刷します。

[2 色カラー]

このモードは、黒と他の色を組み合わせで 2 色で印刷します。[印刷品質] タブで、色の組み合わせを選択できます。[2 色カラー] は、[PCL XL] または [PCL 5c] が、PDL として選択されている場合に使用できます。

アイコンをクリックして、[フルカラー]、[エコカラー]、[白黒]、または [2 色カラー] を選択します。

[カラー] は、[簡単設定] タブと [印刷品質] タブにも表示されます。[簡単設定]、[基本設定]、または [印刷品質] タブで行った変更は、他のタブにも適用されます。

管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[白黒モード] を選択することによって、すべてのジョブを黒トナーのみで印刷できます。

エコプリント

この機能を使うと、印刷ジョブ内の画像、テキスト、およびグラフィック全体を、薄い濃度で印刷します。[エコプリント] は、印刷速度に影響しません。

[エコプリント] は、[簡単設定] タブと [印刷品質] タブにも表示されます。[簡単設定]、[基本設定]、または [印刷品質] タブで行った変更は、他のタブにも適用されます。

管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[エコプリント] を選択することによって、すべてのジョブを [エコプリント] モードで印刷できます。

[ロック設定] を行う前に、[エコプリント] をオンにしておく必要があります。[エコプリント] がオフのまま [ロック設定] を行った場合、すべてのユーザーは [エコプリント] を利用できなくなります。

エコプリントを選択する

- 1 [基本設定] タブで、オン/オフを切り替えます。[エコプリント] チェックボックスをクリックします。
- 2 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

6 レイアウト

【レイアウト】タブで、元の文書のレイアウトを変更することなく、さまざまなレイアウトで印刷できます。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。【標準に戻す】ボタンは、アプリケーションの【印刷】ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



ページ集約

この機能を使うと、文書のレビューや用紙節約などの目的で1枚の用紙に複数のページを印刷できます。1枚の用紙に印刷するページが増えるため、ページサイズが小さくなり読みやすさは低下します。【レイアウト】タブから、各ページの境界線の印刷、およびページの並べ方の設定ができます。

この機能は、【簡単設定】タブの【ページ集約】にも表示され、2ページ/シート、4ページ/シート、またはオフを選択できます。

【ページ集約】が選択されている場合、【縮小/拡大】、【ポスター印刷】、【全面印刷】は使用できません。

ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、【PDL (ページ記述言語)】>【白紙ページをスキップ】で、【オン】を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、【オフ】または【レイアウト設定を使用】を選択します。

【ロック設定】を行う前に、【ページ集約】をオンしておく必要があります。【ページ集約】がオフのまま【ロック設定】を行った場合、すべてのユーザーは【ページ集約】が使用できなくなります。

管理者は、[デバイス設定]>[管理者設定]>[ロック設定]の順に進み、[ページ集約]を選択することによって、すべてのジョブをページ集約で印刷することができます。

ページ集約印刷する

- 1 [レイアウト] タブで、[ページ集約] アイコンをクリックします。
- 2 [1 シートのページ数] リストで、1 枚の用紙に印刷するページ数を指定します。
- 3 [レイアウト (順序)] リストから、ページを並べる方向を選択します。
- 4 各ページの境界線を印刷するには [境界線を印刷] をオンにします。
- 5 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

縮小/拡大

テキストやグラフィックを含むページを拡大または縮小して印刷します。

また、とじしろ設定を選択すると、ステープルや穴あけを行うために、とじしろを拡大することができます。

[レイアウト] タブの他のオプションが選択されている場合、[縮小/拡大] は使用できません。

ページ内での縮小/拡大を設定する

- 1 [レイアウト] タブで、20～500% の範囲で比率を入力または選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

とじしろ

[とじしろ] を増やすと、用紙左側および上側のマージン (余白) が拡大します。[とじしろ] は、印刷文書をステープルでとじたり、パンチを行ったりする際に、読みやすくするためによく使用されます。印刷領域を右または下にずらし、余白を広くとることができます(最大25.4mm)。

[とじしろの幅] には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。[デバイス設定] からアクセスして、[ユーザー設定] ダイアログボックスの [単位] 設定を変更できます。

参考: PDL として、[PCL XL]、[PCL 5c] または [KPD] が選択されている場合、[とじしろ] は、[仕上げ] タブで利用することができます。

とじしろを作成する

- 1 [レイアウト] タブで、[とじしろ設定] をクリックします。
- 2 [とじしろの幅] で、5.0 から 25.4 mm (0.20 から 1.00 インチ) の範囲で値を入力するか選択します。
[短辺とじ (上)]

これを選択すると、ページ上部の外側のマージンを変更できます。

[長辺とじ (左)]

これを選択すると、ページ左側の外側のマージンを変更できます。

参考: [とじしろ設定] が使用できるかどうかは、[基本設定] タブの [印刷の向き] と [両面印刷] の設定によって異なります。

- 3** 印刷内容が用紙の端に寄りすぎる場合は、[ページに合わせて縮小する] を選択します。印刷内容は用紙の端から離れ少しだけ縮小されます。

とじしろを増やしてもページからはみ出ない場合は [ページに合わせて縮小する] をオフにします。

- 4** すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

全面印刷

この機能は、元の文書よりも大きいサイズ of 用紙に印刷することにより、余白なしのフルページ印刷を可能にします。これにより、用紙の端を切り取ることができます。印刷後に文書を切り取ることで、トナーが文書の端まで完全にカバーしていることが確認できます。小冊子やポスター、その他マーケティング文書の印刷が可能です。この機能を使うと、切り取りやズームを行うことができ、目的に合わせた本格的な文書を仕上げるのが可能です。

トンボ印刷を使用し、文書の端を切り取ることができます。トンボ印刷は、文書の周りを正確かつ均一に切るのに役立ちます。アイコンをクリックして、[なし]、[角トンボ]、[枠線]、[オフ] に変更できます。

[なし]

トンボを印刷しない。

[角トンボ]

トンボがページの四角に印刷されるため、左右に線を合わせページを正確に切ることができます。

[枠線]

原稿サイズに合わせて、細くて黒い枠線を作成します。文書の余分な部分をこの枠線に沿って切り取ることができます。

[全面印刷] が選択されている場合、[レイアウト] タブのその他の機能と [仕上げ] タブ ([仕分け] を除く) および [表紙/合紙] タブのすべての機能は使用できません。

[全面印刷] が選択されている場合、印刷サイズと用紙サイズの組み合わせにかかわらず、[縮小/拡大] は 100% に固定されます。

[基本設定] タブの [用紙サイズ] が原稿サイズより大きいことを確認します。例えば、[全面印刷] が選択されている状態で、[基本設定] タブで [出力用紙サイズ] > [レター]、[原稿サイズ] > [Envelope #10] を選択している場合、印刷後に切り取る空白スペースができます。

全面印刷で印刷する

用紙の端まで印刷できます。

- 1** [レイアウト] タブの [全面印刷] で、アイコンをクリックし、[なし]、[角トンボ]、[枠線] のいずれかを選択します。
- 2** すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

ポスター印刷

この機能を使うと、プリントデバイスで印刷可能な用紙サイズより大きなサイズの文書を印刷できます。元の大きさの最大 25 倍までの大きさの、ポスターやバナーを印刷できます。ポスター文書は分割されて複数枚の用紙に印刷され、ポスター設定の機能を使って再びこれらの用紙を集めることにより、簡単にポスターを作成できます。

[ポスター印刷] が選択されている場合、**[レイアウト]** タブの他のオプションは選択できません。

[分割ページ数] を使用して、元の文書サイズに対応するポスターのサイズを選択します。各オプションには印刷されるページ数と最大ポスターサイズが表示されます。

[分割ページ数] には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**[デバイス設定]** からアクセスして、**[ユーザー設定]** ダイアログボックスの **[単位]** 設定を変更できます。

印刷されたポスター用紙をどのようにつなぎ合わせるのを見るには、ポスター設定を選択後、**[印刷条件]** を選択してテスト印刷を行います。

[ポスター印刷]

指定した枚数に実際に分割して印刷します。

[テスト印刷]

すべてのポスターページを 1 枚の用紙に印刷して、どのように仕上がるのが表示します。

[ポスター印刷 + テスト印刷]

すべてのポスター用紙の印刷 (ポスター印刷) と 1 枚のテスト印刷の両方が実行されます。

[ポスター設定] を使用して、ポスターの作成に最も便利のように、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションは、ポスター印刷された用紙に、ページの裁ち落としやページのつなぎ合わせに便利なガイドラインを印刷します。

[のりしろ幅]

隣り合う用紙の端をオーバーラップさせて印刷する機能です。このように端をオーバーラップさせて印刷すると、ポスターの見栄えがよくなります。チェックボックスをオンにして、のりしろ幅を 0.0 から 30.4 mm (0.00 から 1.20 インチ) の範囲で入力または選択します。この機能を使用すると、最終的なポスターのサイズが少し小さくなります。

[枠線を印刷]

ポスター用紙の端を示す枠線を印刷します。用紙をつなぎ合わせる前に、枠線から外側を切り落としてください。これによって、隣り合う用紙どうしの印刷内容が正確につながります。

[つなぎ目の番号を印刷]

各用紙の端に番号を印刷し、隣り合う用紙と用紙を番号で合わせます。同じ番号の用紙の端を重ね合わせて完成させます。

ポスターを印刷する

- 1 **[レイアウト]** タブで、**[ポスター印刷]** アイコンをクリックします。
- 2 **[分割ページ数]** でポスターのサイズを選択します。各オプションには仕上がりを 1 枚の用紙に収めるため分割する枚数が記されています。

- 3 **[印刷条件]** では、仕上がり印刷条件のオプションを 1 つ選択します。
- 4 **[ポスター設定]** をクリックして、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションによって、ポスターを作成するためのより詳細な設定が行えます。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ブックレット印刷

1 枚の用紙に 2 ページのレイアウトで両面印刷を行うことができます。ブックレットは、用紙の中央で 2 つに折りたたんでとじることができます。折りたたんだブックレットは、選択した用紙の半分のサイズになります。

[ブックレット設定] ダイアログボックスで、ブックレット印刷のオプションを設定できます。

[レイアウト] では、ブックレット印刷のレイアウトを設定する方法を選択できます。

[ドライバー側で作成]

ページの順序や 1 枚あたりのページ数設定を、ドライバー設定を使って行います。アプリケーションで、ブックレット印刷のレイアウトが作成されていない場合に、このオプションを選択します。

[アプリケーション側で作成]

ページの順序や 1 枚あたりのページ数設定を、アプリケーション設定を使って行います。アプリケーションで、ブックレット印刷のレイアウトが作成されている場合、このオプションを選択します。

[中とじ・折り設定] では、ステープルまたはブックレット (中折り) を選択できます。中折りユニットを装着している場合、このオプションを使用できます。

[なし]

ステープルおよび中折りをせずにブックレット印刷をします。

[中とじ]

ブックレット印刷をし、ステープルおよび中折りをします。

[折りのみ]

ブックレット印刷をし、ステープルせずに中折りをします。リストから、中折りするシートの枚数を選択します。選択すると、**[仕上げ]** タブの **[2 つ折り]** 機能が自動的に選択されます。

[ブックレット印刷] を選択した場合は、**[レイアウト]** タブの他のオプションは選択できません。

ブックレットの表紙には別の給紙元を選択できます。ブックレットに表紙を含めるには、**[表紙/合紙]** タブで、**[表紙付け]** を選択します。

ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

ブックレットを印刷する

- 1 **[レイアウト]** タブで、次の 2 つのとじオプションのいずれかのアイコンをクリックします。

[左とじ]

左から右に読む文書を印刷する場合に選択します。

[右とじ]

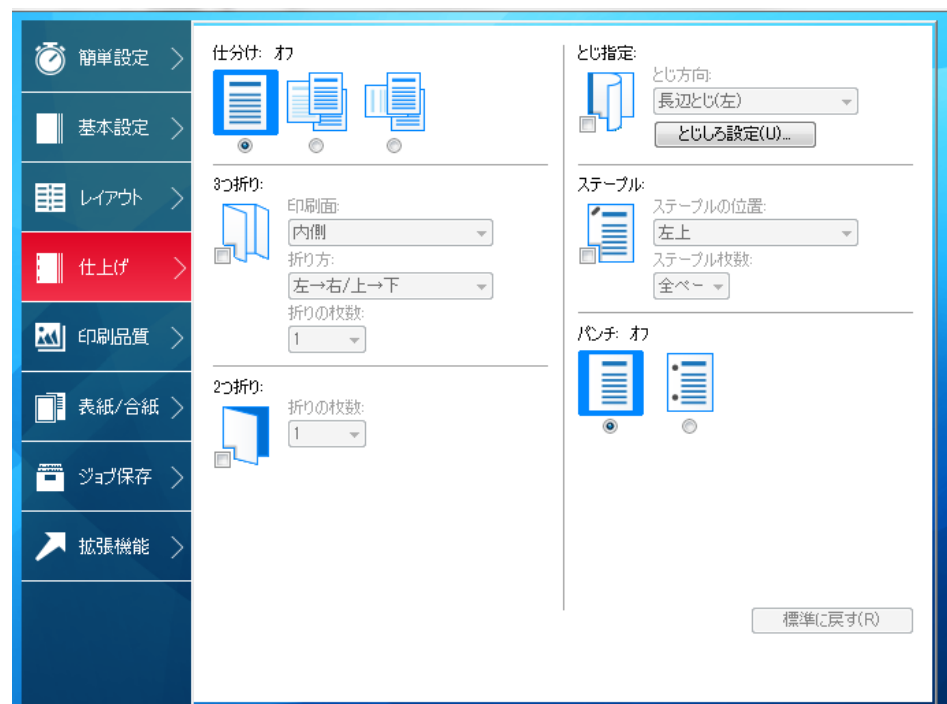
右から左に読む文書を印刷する場合に選択します。

- 2 追加オプションを設定するには、**[ブックレット設定]** をクリックします。
- 3 **[ブックレット設定]** ダイアログボックスで、使用できる **[レイアウト]** オプションから選択し、**[OK]** をクリックします。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

7 仕上げ

【仕上げ】タブでは、印刷ジョブの仕分け、2つ折りや3つ折り、文書中の異なる2つのページサイズの端揃え、とじしろの作成、ステープルやパンチ穴の作成など、文書の仕上がりを指定できます。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】**をクリックします。これにより、**【基本設定】**タブの**【排紙先】**も元に戻ります。**【標準に戻す】**ボタンは、アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



仕分け

【仕分け】機能は、印刷出力された複数ジョブを、他と仕分けできるように積み重ねて排紙します。

参考: **【仕分け】**は、**【とじ指定】**または**【ステープル】**機能と同時に使用できません。

振り分け

【振り分け】機能は、印刷された文書を排紙トレイ上で一部ごとに互い違いにずらして出力します。

振り分けを効果的に使用するために、同じプリントデバイスを使用するすべてのユーザーは、**【振り分け】**をデフォルト設定として選択しておく必要があります。

【振り分け】機能を使用するには、**【デバイス設定】**の**【使用できるオプション】**でフィニッシャーを選択しておく必要があります。**【ステープル】**や**【とじ指定】**機能とは併用できません。

振り分け

- 1 **【仕上げ】**>**【仕分け】**で、**【振り分け】**アイコンをクリックします。
- 2 すべてのダイアログボックスで**【OK】**をクリックします。

回転ソート

【回転ソート】は、印刷した文書を90度回転した状態で排紙します。本体側で、**【ジョブごとの文書仕分け】**が**【設定する】**に設定されている場合、プリンタードライバーの**【回転ソート】**設定は無視されます。

この機能を使用するには、次の点に注意してください。

用紙サイズの選択は、**【Letter】**、**【A4】**、**【16K】**、または**【B5 (JIS)】**に限定されます。

選択した用紙サイズは2つの給紙元に、縦向きと横向きで給紙される必要があります。

印刷ジョブは複数のページを含んでおり、また複数の部数の印刷が指定されている必要があります。

回転ソート

- 1 **【基本設定】**>**【排紙先】**で、**【プリンターの設定】**を選択します。
- 2 印刷部数を2部以上設定します。
- 3 **【仕上げ】**>**【仕分け】**で、**【回転ソート】**アイコンをクリックします。
- 4 すべてのダイアログボックスで**【OK】**をクリックします。

3つ折り

【3つ折り】機能は、カタログやパンフレットのような3つ折りの文書を作成できます。用紙サイズは、A4およびLetterの用紙が使用できます。用紙の内側に印刷するか、外側に印刷するかを選択できます。折り方を選択できます。出力されるページ数の選択もできます。

中折りトレイを装着している場合に、この機能を使用できます。

3つ折り印刷する

- 1 **【基本設定】**タブの**【排紙先】**で、**【プリンターの設定】**または**【中折りトレイ】**を選択します。
- 2 **【仕上げ】**タブで、**【3つ折り】**アイコンをクリックします。
- 3 **【印刷面】**で、2つのオプションのいずれかを選択します。
【内側】
折った用紙の内側に印刷するオプションです。

[外側]

折った用紙の外側に印刷するオプションです。

- 4** **[折り方]**で、使用可能なオプションから選択します。

[左→右 / 上→下]

このオプションを選択すると、縦向き原稿では上側を先に折り、次に下側を折ります。横向き原稿では左側を先に折り、次に右側を折ります。

[右→左 / 下→上]

このオプションを選択すると、縦向き原稿では下側を先に折り、次に上側を折ります。横向き原稿では右側を先に折り、次に左側を折ります。

- 5** **[折りの枚数]**で、3つ折りする枚数 (最大 5 枚まで) を選択してください。

- 6** すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

2 つ折り

[2 つ折り] 機能は、カタログやパンフレットのような 2 つ折りの文書を作成できます。用紙サイズは、Letter、Legal、Ledger、A3、A4、B4、Oficio II、8K の用紙が使用できます。用紙の外側に印刷されます。出力されるページ数の選択もできます。

中折りトレイを装着している場合に、この機能を使用できます。

2 つ折り印刷する

- 1** **[基本設定]** タブの **[排紙先]** で、**[プリンターの設定]** または **[中折りトレイ]** を選択します。
- 2** **[仕上げ]** タブで、**[2 つ折り]** アイコンをクリックします。
- 3** **[折りの枚数]** で、2 つ折りする枚数 (最大 5 枚まで) を選択してください。
- 4** すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

とじ指定

[とじ指定] は、文書に含まれる異なる 2 つのページサイズの端を揃えます。例えば、A4 サイズページの長辺を A3 サイズページの短辺に揃えたり、Letter サイズページの短辺を Legal サイズページの短辺に揃えたりします。**[とじ指定]** は、ステープル機能やパンチ機能と同時に使用可能です。

ページによって用紙サイズが異なる文書を、位置決めしてステープルできます。また、**[とじ指定]** を使用しないで用紙サイズの混在した文書を印刷すると、ステープルの位置は給紙カセットの用紙サイズの設定 (縦または横) によって決まります。

[とじ指定] は、**[ステープル]** が選択された時、自動的に設定されます。**[とじ指定]** の初期設定は、用紙サイズと **[ステープル]** の設定によって決まります。**[とじ指定]** の設定は必要に応じて変更できます。

[とじ指定] を選択すると、**[基本設定]** タブにある **[印刷の向き]** 機能の縦 (180° 回転) と横 (180° 回転) 回転などの機能が使用できなくなります。**[とじ指定]** は、**[ブックレット印刷]** または **[ポスター]** 機能と同時に使用できません。

とじ指定のオプション

用紙サイズの組み合わせ

【とじ指定】は、次の用紙サイズの組み合わせで使用できます。

【A4】と【A3】(210 x 297 mmと297 x 420 mm)

【B5 (JIS)】と【B4】(182 x 257 mm と257 x 364 mm)

【Letter】と【Legal】(8.5 x 11 インチと 8.5 x 14 インチ)

【Letter】と【Ledger】(8.5 x 11インチと11 x 17インチ)

【16K】と【8K】(197 x 273 mmと273 x 394 mm)

位置のオプション

【とじ方向】下の設定で、仕上げのページのとじ方法を指定できます。その他の位置は【設定内容】ダイアログボックスで設定できます。使用可能なオプションは、【出力用紙サイズ】、【印刷の向き】、【ブックレット印刷】、および【ページ集約】の設定によって異なります。【インデックス紙】機能が使用されている場合、長辺とじだけが使用可能です。

【とじ指定】と一緒に【ステープル】と【パンチ】の位置が選択されている場合、下のオーバービューに、現在選択されている位置がカラーの線で示されたページ画像が表示されます。【ステープル】オプションが使用されている場合、選択した【とじ指定】によってステープルの位置が決まります。この画像を使用して、選択した【とじ指定】、【ステープル】、および【パンチ】の位置を確認できます。

設定内容

【とじ方向】リストで、【ユーザー定義】を選択して【設定内容】ダイアログボックスを開きます。

【設定内容】ダイアログボックスの図は、ページ揃えを視覚的に確認するのに便利です。違うサイズ of 用紙を揃える場合に最も適した設定を選択してください。

上の 2 つの設定 [(A4/Letter)] は、ページ指定のサイズが小さい用紙向けです。

次の 2 つの設定 [(A3/Legal/Ledger)] は、ページ指定のサイズが大きい用紙向けです。

設定内容を変更すると、変更による互換性を保つため他の選択も調整されることに注意してください。

とじ指定を設定する

- 1 【基本設定】タブで、【出力用紙サイズ】と【原稿サイズ】を設定します。
- 2 【基本設定】>【給紙元】から、【自動選択】を選択します。
- 3 【仕上げ】タブで、【とじ指定】アイコンをクリックします。
- 4 【とじ方向】リストで、使用できるオプションから選択するか、【ユーザー定義】を選択し、【設定内容】ダイアログボックスのオプションを選択します。
- 5 【OK】をクリックして【印刷】ダイアログボックスに戻ります。
- 6 各サイズ of 用紙を、それぞれの給紙カセットにセットします。例えば、揃える側の辺の長さが 297 mm の場合は、A4 および A3 サイズ of 用紙、8.5 インチの場合は Letter および Legal サイズ of 用紙を使用できます。

- 7 アプリケーションの **[印刷]** ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックして印刷を開始します。

プリントデバイスで使用できない原稿サイズまたは方向 (短辺とじまたは長辺とじ) を指定した場合、プリントデバイスの操作パネルに、正しい方向で適切なサイズの用紙をセットするようメッセージが表示されます。

とじしろ

[とじしろ] を増やすと、用紙左側および上側のマージン (余白) が拡大します。**[とじしろ]** は文書の読みやすさを向上するため、印刷文書をステープルでとじたり、パンチを行ったりする場合に使用します。印刷領域を右または下にずらし、余白を広くとることができます (最大25.4mm)。

[とじしろの幅] には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**[デバイス設定]** からアクセスして、**[ユーザー設定]** ダイアログボックスの **[単位]** 設定を変更できます。

参考: PDL として **[PDF]** が選択された場合、**[レイアウト]** タブで **[とじしろ]** が使用できます。

とじしろを作成する

- 1 **[仕上げ]** タブで **[とじしろ設定]** を選択します。
- 2 **[とじしろの幅]** で、5.0 から 25.4 mm (0.20 から 1.00 インチ) の範囲で値を入力するか選択します。
 - [短辺とじ (上)]**
これを選択すると、ページ上部の外側のマージンを変更できます。
 - [長辺とじ (左)]**
これを選択すると、ページ左側の外側のマージンを変更できます。

参考: **[とじしろ設定]** で指定できる設定は、**[とじ指定]** の設定や **[基本設定]** タブの **[印刷の向き]** と **[両面印刷]** の設定によって異なります。

- 3 印刷内容が用紙の端に寄りすぎる場合は、**[ページに合わせて縮小する]** をオンにします。印刷内容は用紙の端から離れ少しだけ縮小されます。
とじしろを増やしてもページからはみ出ない場合は **[ページに合わせて縮小する]** をオフにします。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ステープル

文書をステープルでとじて作成できます。**[デバイス設定]** > **[使用できるオプション]** で、フィニッシャーを選択します。**[ステープル]** 機能を選択すると **[仕分け]** は使用できません。最大の用紙枚数は、選択した出力用紙サイズの設定によって異なります。**[とじしろ設定]** では、ステープルの位置に応じて、上および左マージンを増やすことができます。

[ステープル] と **[仕分け]** 機能は同時に使用できません。

[基本設定] タブで **[排紙先]** として **[プリンターの設定]** が指定されている場合、**[仕上げ]** タブのオプションを選択すると、排紙先は仕上げオプションと互換性を保つため、自動選択となります。排紙先は、選択された仕上げオプション

ンをサポートする、最初に使用可能な出力トレイに自動的に変更されます。
【仕上げ】 オプションが変更されても、**【排紙先】** の選択には影響はありません。

【とじ指定】 は、**【ステープル】** が選択されていると、自動的に設定されます。
【とじ指定】 の初期設定は、用紙サイズと **【ステープル】** の設定によって決まります。
【とじ指定】 の設定は必要に応じて変更できます。

【ステープル】 は、**【簡単設定】** タブで、**【オン】** と **【オフ】** を切り替えられます。

参考: ページによって用紙サイズが異なる文書を、ステープルして出力すると、ステープルの位置がずれる場合があります。その場合は、**【とじ指定】** > **【設定内容】** でそれぞれの用紙サイズに合ったとじ指定の位置を選択してください。

文書をステープルする

- 1 **【仕上げ】** タブで、**【ステープル】** アイコンをクリックします。
- 2 使用可能なオプションから位置を選択します。位置は、**【とじ指定】** の設定によって異なり、文書に応じてステープルの位置を指定できます。
 中折りユニットがインストールされていて、**【レイアウト】** タブで、ブックレットが選択されると、**【中とじ】** が自動的に選択されます。文書がブックレット形式で印刷され、中折りされ、さらにステープルで2箇所がとじられます。
- 3 **【ステープル枚数】** からステープルするページ数を選択するか、**【全ページ】** を選択して、全ページをステープルします。
- 4 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

パンチ

【パンチ】 機能は、印刷された用紙の端にパンチ穴をあけ、バインダーなどでとじられるようにします。

【パンチ】 は、**【デバイス設定】** の **【使用できるオプション】** で、**【パンチ】** 機能をサポートするオプションフィニッシャーが選択されている場合に有効です。**【使用できるオプション】** の一覧に青色で表示されているフィニッシャーのチェックボックスをオンにすると、**【パンチユニット設定】** ダイアログボックスが表示されます。デバイスのリストがすでにオンになっている場合、オプションをダブルクリックすると、**【パンチユニット設定】** ダイアログボックスが表示されます。

【パンチ】 は、**【レイアウト】** タブで **【ブックレット】** がオンになっている場合は使用できません。

【とじ指定】 の選択は、**【仕上げ】** タブで他の機能を選択する前に行ってください。**【とじ指定】** を最後に指定すると、その前に **【パンチ】** で行った設定が変更される場合があります。

参考: ページによって用紙サイズが異なる文書を、パンチして出力すると、パンチの位置がずれる場合があります。その場合は、**【とじ指定】** > **【設定内容】** でそれぞれの用紙サイズに合ったとじ指定の位置を選択してください。

印刷ジョブの実行時にパンチ穴をあける

- 1 **【仕上げ】** タブで、**【パンチ】** アイコンをクリックし、**【オフ】** を選択するか、**【2穴】** を選択します。

[パンチ] の位置は [とじ指定] の設定によって異なります。

- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

8 印刷品質

【印刷品質】 タブで、印刷の品質やカラーモードなどを設定できます。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】** をクリックします。**【標準に戻す】** ボタンは、アプリケーションの **【印刷】** ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



印刷品質とカスタム品質

【印刷品質】 では、印刷ジョブの解像度を設定できます。解像度とは、印刷されるテキストや画像の画質や鮮明度を、1 インチあたりのドット数 (dpi) で表したものです。**【カスタム品質の設定】** では、より精度の高い解像度を印刷ジョブに設定できます。

印刷品質の選択

【印刷品質】 タブで、リストから **【品質設定】** を選択します。

【高品質】、**【標準】**

印刷の解像度を高と低のどちらで印刷するかを選択します。**【標準】** は、**【PDL (ページ記述言語)】** ダイアログボックスで **【PCL 5c】** が選択されている場合は使用できません。

【ユーザー定義】

【ユーザー定義】 をクリックすると、**【カスタム品質の設定】** ダイアログボックスを開きます。**【解像度】** を、**【1200 dpi】** または **【600 dpi】** に設定できます (PCL 5c では使用できません)。**【KIR (スムージング)】** は、テキストおよびベ

クトルグラフィックの輪郭を滑らかにする機能で、[オン]または[オフ]に設定できます。

これらすべての選択で[エコプリント]を選択できます。[エコプリント]を選択した場合、節約するトナー量をリストから選択できます。

印刷品質を選択する

1 [印刷品質]>[品質設定]で、リストから印刷品質を選択します。

2 以下を選択します。

[ユーザー定義]

[エコプリント]を選択できます。

[ユーザー定義]>[カスタム品質の設定]

[解像度]を設定できます。

これら両方の選択で、[エコプリント]あるいは[光沢モード]を選択できます。[エコプリント]と[光沢モード]は同時に使用できません。[エコプリント]を選択した場合、節約するトナー量をリストから選択できます。

[KIR (スムージング)]は、テキストおよびベクトルグラフィックの輪郭を滑らかにする機能で、[オン]または[オフ]に設定できます。

3 [OK]をクリックします。

トラッピング

カラー印刷では、カラートナーは同一ページに各色別々に印刷されます。カラー画像は、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各色に分解された領域から構成されます。高品質のカラー画像を生成するためには、これらの色分解された領域を厳密に配置する(レジストレーションと言います)ことが必要です。印刷中に用紙が給紙される際、わずかに位置がずれる場合があります。ごくわずかな位置ずれであっても、カラー画像では目に見える色ずれとなって現れる場合があります。カラートラッピングを行うと、各色領域の境界を微細に重ね合わせることで、この色ずれを補正できます。

参考: [PCL 5c] が PDL として選択されている場合、トラッピングは使用できません。

トラッピング値を設定する

1 [印刷品質]>[トラッピング]で、色を重ね合わせる幅を画素数(ピクセル)で選択します。

[低]、0.5 ピクセルのトラッピング

[中間]、1.0 ピクセルのトラッピング

[高]、1.5 ピクセルのトラッピング

[最大]、2.0 ピクセルのトラッピング

2 すべてのダイアログボックスで[OK]をクリックします。

フォント詳細設定

フォントは、書体デザインの同じ文字や記号などの一そろいを含むデータファイルです。フォントの一般的な用語は次のとおりです。

ビットマップフォントとは対照的に、アウトラインフォントは、数学的な線および曲線として定義されます。アウトラインフォントは、（ポイントサイズにかかわらず、ゆがみなく表示および印刷が可能のため）ビットマップフォントと異なり任意に拡大縮小が可能です。

[ビットマップフォント] は、各文字をピクセル（画像を構成する最小単位のドット）の組み合わせで表現するフォントです。ビットマップフォントは、拡大または縮小を行うと、ゆがみが発生します。

[ネイティブフォント] は、PC のオペレーティングシステムにインストールされている、基本的なフォントです。TrueType フォントは、Microsoft Windows で使用されるネイティブフォントです。

[TrueType フォント] は、拡大縮小可能なアウトラインフォントの 1 つです。TrueType は、Microsoft Windows で最も多用されて来た汎用的なフォント形式です。

[システムフォント] は、オペレーティングシステムで使用される基本のフォントです。システムフォントは通常、アプリケーションインターフェイス、または一般的なフォントダイアログボックスを介して使用されます。

デバイスフォントは、プリントデバイスメモリに恒久的または一時的に保存されています。

フォント詳細設定オプション

[フォント詳細設定] ダイアログボックスでは、TrueType フォントのプリントデバイスへの送信方法を選択します。選択した方法は、印刷ジョブの速度と品質に影響を与えます。

[TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロード]

この方法は、複数の異なるフォントやフォントサイズを使用する大きな文書や印刷ジョブに最適です。この設定の最適化機能により印刷の速度も速くなります。同じフォントデータを繰り返しプリントデバイスに送信する回数が減ることによって印刷速度が速くなります。日本語、中国語、韓国語などのアジア言語は、これらの特定のフォントに対して大量の情報が使用されているため、印刷速度は速くなりません。

[Type 42 フォント送信モード]

この方法は、TrueType フォントを Adobe Type 42 フォント形式に変換することによって、テキストの印刷品質を改良し、印刷速度を上げます。この機能は、**[KPDL]** が PDL として選択されている場合に使用できます。

[TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロード]

ビットマップとしてフォントをダウンロードすると、より詳細になります。ファイルのサイズは非常に大きくなります。これは、ユーザー定義フォント、非常に小さいフォント（ポイントサイズ 1-4）、またはアジアンフォントなどを使用している印刷ジョブに最適です。

[プリンターフォントに代替える]

フォントの代替えは、プリントデバイスで目的のフォントが使用できない場合に、代替りのフォントを使用する機能です。フォントの代替えは、フォントを多数内蔵していないプリントデバイスに文書を送信する場合に重要な機能です。代替えには標準 PostScript フォントを使用できます。

参考: **[GDI 互換モード]** は **[プリンターフォントに代替える]** をサポートしていません。

[プリンターフォントを使用しない]

TrueType フォントを、アウトラインフォントまたはビットマップフォントとして送信しても、プリントデバイスのフォントと置き換えられることがあります。TrueType フォントを、プリントデバイスのフォントと代替えしないようにするには、[プリンターフォントを使用しない]を選択します。

このオプションによって印刷可能データの可搬性も向上します。このオプションをオフにすると、異なるプリントデバイスに送信した場合、プリンターフォントは一致しません。

一部の Adobe アプリケーションでは、プリンターフォントの使用に制限がある場合があります。これらの制限を回避するには、[プリンターフォントを使用しない]を選択します。プリンターフォントは、PC 側に同等の TrueType フォント(TrueType アイコンで表示)が存在しない場合、アプリケーション内のフォント一覧などではフォント名のとなりにプリンターアイコンが表示されて区別されます。

フォント詳細設定を選択する

- 1 [印刷品質]>[フォント詳細設定]で、いずれかの TrueType フォントの送信方法を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

フォント代替えを設定する

- 1 フォントの代替えを設定するには、印刷ジョブを作成しているアプリケーションではなく、以下の手順によって **[印刷設定]** を開く必要があります。オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 10、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2: **[スタート]>[コントロールパネル]>[デバイスとプリンターの表示]** をクリックします。

Windows 8 および Windows Server 2012: **[コントロールパネル]>[デバイスとプリンターの表示]** を開きます。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **[スタート]>[デバイスとプリンター]** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[スタート]>[コントロールパネル]>[プリンター]** をクリックします。
- 2 目的のプリントデバイスの機種を右クリックし、**[印刷設定]** をクリックします。
- 3 **[印刷品質]>[フォント詳細設定]** で **[プリンターフォントに代替えする]** を選択してから **[フォントの代替え]** をクリックします。

[フォントの代替え] ダイアログボックスの **[システムフォント]** リストにはコンピューターにインストールされているフォントが表示されます。**[使用可能プリンターフォント]** リストには、プリントデバイスのフォントが表示されます。
- 4 システムフォントを選択し、それに代替えするプリンターフォントを選択します。
- 5 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして、設定内容を保存します。

システムフォントと類似するフォントがプリンターフォントに存在しない場合、文書内の文字間隔などが正しく表示されない場合があります。

プリンターフォントを無効にする

- 1 **[印刷品質]>[フォント詳細設定]**で、**[プリンターフォントを使用しない]**チェックボックスを選択します。
- 2 **[OK]**をクリックして、設定内容を保存します。

グラフィック詳細設定

グラフィックは、情報を画像で表したものです。グラフィックを使ってチャートやダイアグラムなどの機能的な情報を表示したり、描画や写真などのアートを表示したりできます。**[グラフィック詳細設定]**では、選択したPDL (ページ記述言語)で設定可能なオプションを使って、印刷したグラフィックの視覚的な結果を調整することができます。

パターンスケーリング

[パターンスケーリング]は、印刷対象がモニター上で表示される画質と、実際に印刷出力されたときの画質を、できるだけ同じにするための機能です。図形やパスなどのオブジェクトには、ドットの集合体から構成される網目パターンや塗りつぶし領域が含まれることがあります。パターンとは、規則的あるいは不規則的に反復された色や図形、線、値、背景から構成され、視覚的な配列を作り出します。フィルとは、色または階調によってオブジェクトを塗りつぶすものです。印刷されたパターンやフィルが画面の表示と一致しない場合、**[パターンスケーリング]**を使用して、他のドット密度を使用してみてください。

[印刷品質]>[グラフィック詳細設定]で、**[パターンスケーリング]**設定を選択します。

[自動] (デフォルト設定)

この設定は画面の表示に最も近いパターンおよびフィルで印刷します。

[粗い]

この設定は、パターンやフィルを最も少ない数の線、パターン、またはドットで印刷します。**[PCL XL]**または**[PCL 5c]**がPDLとして選択されている場合、**[粗い]**は**[自動]**と同じです。

[中間]

この設定は、線数やパターン、およびドットを、**[粗い]**場合より上げて、パターンおよびフィルを印刷します。**[KPDL]**がPDLとして選択されている場合、**[中間]**は、**[自動]**と同じです。

[精細]

細かいドットのパターンで印刷します。印刷結果は画面表示より濃くなる場合があります。

細線化

この機能を使うと、バーコードや線を描画する際のペン幅を縮小できます。アプリケーションで設定された線の太さは変更できません。

[印刷品質]>[グラフィック詳細設定]で、細線化設定を選択します。**[PCL XL]**がPDLとして選択されている場合、細線化機能を使用できます。**[PDL (ページ記述言語)]**ダイアログボックスで、**[GDI 互換モード]**が選択されている場合、細線化機能は使用できません。

[印刷品質]>[グラフィック詳細設定]で、[細線化]設定を選択します。

[オフ] (デフォルト設定)

細線化は適用されません。

[バーコード]

この設定は、縦線と横線のペン幅を調整します。バーコードの読み取りやすさが向上します。

[細線のみ]

この設定は、縦線、横線、斜線のペン幅を調整します。

[すべての線]

バーコードや描画に使用する縦線、横線、斜線のペン幅を1ドット減らします。

ハーフトーンスクリーン

[ハーフトーンスクリーン]は、プリントデバイスが印刷するイメージを向上します。ドライバーで[ハーフトーンスクリーン]を設定後、プリントデバイスに印刷ジョブを送信すると、設定にしたがって最適な印刷を行います。

[ハーフトーンスクリーン]は、[PDL 設定]ダイアログボックスで[PDF]を選択している場合は使用できません。

[印刷品質]>[グラフィック詳細設定]で、[ハーフトーンスクリーン]設定を選択します。

[標準] (デフォルト設定)

これは、一般的なオフィス文書印刷向けの設定です。

[階調優先]

この設定は、滑らかなグラデーションイメージが実現できます。

[解像度優先]

この設定は、文字や設定をはっきり印刷できます。

[高精細]

この設定は、細かな文字や極細の線をよりはっきり印刷できます。

反転のオプション

オプションでは、印刷内容を写真のネガのようなイメージや、鏡像のように逆になるように印刷します。

[印刷品質]>[グラフィック詳細設定]で、[オプション]の設定を選択します。この設定は、[KPDL]がPDLとして選択されている場合に使用できます。

[ネガティブイメージ印刷]

この設定は、画像を写真のネガのように、画像の白と黒の領域を反転して印刷します。

[ミラーイメージ印刷]

この設定は、画像が鏡に映ったように、ページを左右反転して印刷します。

イメージデータ方式

[イメージデータ方式]は、プリントデバイスの機能あるいは効率を向上するための処理または方法です。

[印刷品質]>[グラフィック詳細設定]で、[イメージデータ方式]を選択します。この設定は、[KPDL]がPDLとして選択されている場合に使用できます。

[バイナリー]

この設定は印刷速度を上げ、スプールデータ量を削減します。イメージをバイナリー形式で送信します。これはほとんどすべての印刷ニーズに対して使用できます。

[ASCII]

この設定は、ASCII テキストエンコードで PostScript ファイルを作成します。[バイナリー]で作成したバイナリー形式とは異なり、この選択を使用して作成した ASCII テキストは編集可能です。

CIE オプション

この機能を使うと、Adobe Acrobat や Photoshop などのアプリケーションで使われる、CIE カラースペースによる各処理で実行される通常の処理をバイパスします。この機能を使用すると、CIE データの最適化によって、これらのアプリケーションから印刷する文書の印刷速度が速くなります。CIE データを使用していない印刷ジョブに対しては効果はありません。[CIE 最適化]は精度よりも印刷速度を重視する場合に選択されるため、実際に印刷される出力と画面上の表示が異なる場合があります。

[印刷品質]>[グラフィック詳細設定]で、[CIE 最適化]チェックボックスを選択します。[CIE 最適化]は、[KPDL]が PDL として選択されている場合に使用できます。

画像処理オプション

[画像処理オプション]では希望する印刷画像の品質に基づいて画像の圧縮方法を選択することができます。JPEG 圧縮は、圧縮率重視の印刷画像出力を生成し、デルタロー圧縮は、圧縮率を抑えて高品質の画像を生成します（ファイルサイズ大）。[画像処理オプション]は、[PDL (ページ記述言語)]ダイアログボックスで[KPDL]または[PCL XL]が選択されている場合に使用可能です。

[印刷品質]>[グラフィック詳細設定]で、圧縮オプションを選択します。

[画像を圧縮して印刷]

JPEG 圧縮を使用します。

[画像をきれいに印刷]

デルタロー圧縮を使用します。

光沢モード

印刷テキストおよび画像の外観につやを加えて光沢のある仕上がりにするには、[光沢モード]を選択します。

参考: [エコプリント]が[オン]の場合、[光沢モード]は使用できません。

エコプリント

[エコプリント]は、印刷ジョブの画像やテキスト、およびグラフィック全体を薄く印刷し、トナー消費量を抑える機能です。[エコプリント]は、印刷速度に影響しません。トナーの使用量は、使用する機種や印刷するデータの種類（テキスト、グラフィックなど）によって異なります。[エコプリント]と[光沢モード]は同時に使用できません。

[エコプリント]は、[簡単設定]または[基本設定]タブでも選択できます。[エコプリント]を[簡単設定]または[基本設定]タブから選択すると、トナー節約量は一番最後に設定した節約量が表示されます。節約量が選択されていない場合は、[トナー節約量中間]がデフォルトとなります。

管理者は、[デバイス設定]>[管理者設定]>[ロック設定]を選択し、[エコプリント]を選択することによって、すべてのジョブを [エコプリント] モードで印刷できます。

[ロック設定]を行う前に、[エコプリント]をオンにしておく必要があります。
[エコプリント]がオフのまま[ロック設定]を行った場合、すべてのユーザーは [エコプリント] を利用できなくなります。

エコプリントを選択する

- 1 [印刷品質] タブで、[エコプリント] アイコンをクリックし、[オン]と[オフ]を切り替えます。
- 2 リストで、トナー節約量を選択します。
- 3 [OK] をクリックして [印刷] ダイアログボックスに戻ります。
- 4 [OK] をクリックして印刷を開始します。

カラー

この機能を使うと、フルカラー印刷、エコカラー印刷、黒トナーだけの印刷、または2色カラー印刷を選択できます。

[印刷品質]>[カラー]で、次のカラーモードが使用できます。

[フルカラー]

このモードは、テキストやグラフィックを4色でフルカラー印刷します。

[エコカラー]

[エコカラー]が選択された場合、黒とグレースケールの印刷には黒トナーのみが使用されます。

[白黒]

このモードは、カラー設定を無効にして黒トナーのみで印刷します。

[2色カラー]

このモードは、黒と他の色を組み合わせで2色で印刷します。色の組み合わせは、[色の組み合わせ] リストから選択できます。[2色カラー]は、[PCL XL] または [PCL 5c] が、PDL として選択されている場合に使用できます。この機能が選択されていると、[色再現モード]、[調整]、および [色変換処理] は使用できません。

[カラー]は、[簡単設定] タブと [基本設定] タブにも表示されます。[簡単設定]、[基本設定]、または [印刷品質] タブで行った変更は、他のタブにも適用されます。

管理者は、[デバイス設定]>[管理者設定]>[ロック設定]を選択し、[白黒モード]を選択することによって、すべてのジョブを黒トナーのみで印刷できます。

色再現モード

この機能は、写真やグラフィックの色再現を最適化します。[カラー]で[フルカラー]あるいは[エコカラー]が選択されている場合、この機能が使用できます。

[印刷品質]>[色再現モード]で次のオプションを選択できます。

[プリンター設定に従う]

このオプションは、プリンターの設定のみを使用します。

[文書+グラフ]

このオプションは、グラフ、チャート、図形などを多く含む文書に適しています。

[文書+写真]

このオプションは、写真画像を多く含む文書の印刷に適しています。

[あざやか]

このオプションは、グラフィックや写真を鮮やかに印刷します。

[DTP]

このオプションは、グラフィックや写真が混在した文書の印刷用です。画面に近い色合いで印刷したい場合に選択します。

[線画]

このオプションは、線で描かれた図形やグラフィックなどの印刷に適しています。色付きの線を単色で印刷する場合に、このオプションを選択します。

[中国紅]

このオプションはプリンタードライバーをインストールした後、オプションプリンターコンポーネントで **[中国紅]** プラグインを選択した場合に表示されます。OSの設定地域が中国の場合は標準機能として表示されます。

[カスタムテーブル]

このオプションは、プリントデバイスにすでにインストールされているカスタムカラーテーブルを選択するためです。他のすべての **[色再現モード]** オプションは、デフォルトのカラーテーブルを使用します。

[詳細設定]

このオプションは、さまざまなデバイス間で一貫したカラー再現性を実現するのに適しています。異なるカラープリントデバイス間の色空間の差を補います。一連のプロファイルを選択し、適用することをカラープロファイルと呼びます。追加でカラー印刷のオプションを設定するには、**[色合わせ]** ダイアログボックスを開きます。

中国紅

[中国紅] プラグインを使用すると、目的とする赤の色合いを正確に表示して印刷することができます。

[中国紅] ダイアログボックスでは、スポイトツールを画面上の文書にドラッグして色を選択するか、RGB 値を入力できます。プリンターアイコンをクリックして印刷する色調整テーブルの中から、1 色を選択できます。

参考: **[中国紅]** が選択されると、**[拡張機能]** タブの **[簡単色調整]** 機能は利用できません。

[中国紅] 機能がインストールされると、**[印刷品質]** > **[色再現モード]** メニューに表示されます。プリンタードライバーで以下の設定をしている場合は、**[中国紅]** 機能は利用できません。

[PDF] あるいは **[XPS]** が PDL として選択されている場合

[管理者設定] > **[ロック設定]** で **[白黒モード]** が選択されている場合

[印刷品質]、**[基本設定]**、または **[簡単設定]** タブで **[白黒]** が選択されている場合

参考: **[パススルーモード]** が、**[ページ記述言語 (PDL)]** ダイアログボックスで選択されている場合は、**[中国紅]** は選択できますが、**[中国紅]** の **[設定]** は、利用できません。

中国紅を使用して印刷する

- 1 特定の色を適用したい文書を開きます。
- 2 アプリケーションの **[ファイル]** メニューから、**[印刷]** をクリックし、次に **[設定]** または **[プロパティー]** をクリックして **[プロパティー]** ダイアログボックスを開きます。
- 3 **[印刷品質]** > **[色再現モード]** で **[中国紅]** を選択します。
- 4 **[設定]** をクリックします。
- 5 次のいずれかの方法で色を選択します。
スポイトツールをドラッグし、画面上の目的の色を選択します。
色の RGB 値がわかっている場合は、RGB の各ボックスにその値を入力するか、上矢印または下矢印ボタンをクリックして値を調整します。
色のプレビューボックスに色が表示されます。
- 6 プリンターアイコンをクリックして、選択した色のバリエーションが表示された色調整テーブルを 1 ページ印刷します。印刷されたシートから、目的のバリエーションを選択します。
- 7 **[中国紅]** ダイアログボックスの、色のプレビューボックス横にあるスピンドックスで、選択したバリエーションの番号/文字の組み合わせを入力または選択します。
- 8 **[OK]** をクリックして、設定内容を保存します。

色合わせ

[色再現モード] の **[色合わせ]** で、プリントデバイスが色合わせを処理する方法を選択することができます。

- 1 **[色再現モード]** から **[詳細設定]** を選択します。 **[色合わせ]** ダイアログボックスが表示され、次の項目が選択できます。

[なし (アプリケーション設定)]

このオプションを選択すると、プリントデバイス内部のカラー参照テーブルを適用せずに色合わせ処理を行います。インクシミュレーションは実行されません。これはアプリケーションが独自の色補正を行う場合に役立ちます。

[ICM (システム調整)]

このオプションは、印刷ジョブでカラーレンダリングを指定し、できる限り元の色を再現します。ICM は、プリントデバイスなどの出力デバイスにカラープロファイルを関連付ける技術です。プリントデバイスに関連付けられた ICM プロファイルには、そのデバイスで正確なカラー再現を行うための情報が含まれています。ICM の設定は、プリンターのプロパティーの **[色の管理]** タブで設定します。

[なし (アプリケーション設定)] オプションを選択した場合、**[OK]** をクリックし、**[色合わせ]** ダイアログボックスを閉じます。

[ICM (システム調整)] オプションを選択した場合、手順 2 に進みます。

2 オプションを選択し、**[OK]** をクリックし選択を保存します。

[色を忠実に再現する (カラーメトリック)]

このオプションは、会社のロゴなどのように、どのような印刷ジョブでも正確に色を合わせたい場合に選択します。

[コントラストで最適化する (イメージに最適)]

このオプションは、階調範囲全体にわたってディテールを保つようコントラストを調整し、カラーコントラストを最適化します。さまざまな色や陰影を含む画像やスキャンした写真などを印刷する場合に選択します。

[彩度で最適化する (グラフィックに最適)]

このオプションは、色合いを調整して純色の鮮やかさを保持することにより、色の彩度を最適化します。ベタ色を含むグラフや表などを印刷する場合に選択します。

3 **[OK]** をクリックして**[色合わせ]** ダイアログボックスを閉じます。

デフォルトカラープロファイルを設定する

1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 10、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2: **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[デバイスとプリンターの表示]** をクリックします。

Windows 8 および Windows Server 2012: **[コントロールパネル]** > **[デバイスとプリンターの表示]** を開きます。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **[スタート]** > **[デバイスとプリンター]** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[プリンター]** をクリックします。

2 お使いの機種のアイコンを右クリックして、次の手順にしたがいます。

Windows 10、Windows 8.1、Windows Server 2012 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、および Windows Server 2008 R2: **[プリンターのプロパティ]** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[プロパティ]** をクリックします。

3 **[色の管理]** タブを選択し、**[色の管理]** をクリックします。

4 **[デバイス]** タブ > **[デバイス]** リストで、目的のカラープリントデバイスを選択します。

5 **[このデバイスに自分の設定を使用する]** チェックボックスを選択します。

6 **[プロファイルの選択]** リストで、**[手動]** を選択し、**[追加]** をクリックします。

- 7 **[カラープロファイルの関連付け]** ダイアログボックスで、ICC プロファイルを選択するか、または **[参照]** をクリックしてプロファイルを指定し、**[OK]** をクリックします。プロファイルは、**[このデバイスに関連付けられたプロファイル]** リストに追加されます。
- 8 リストから希望のカラープロファイルを選択し、**[既定のプロファイルに設定]** をクリックします。
- 9 **[閉じる]** をクリックします。

色調整

色調整では、ドライバーが持つ 2 つのカラースペースをカスタマイズさせ、3 つまでのカスタムグループを保存できます。カラースペースの変更は、色合い、彩度、明るさ (HSL) に対して、またはカラーバランスレベルに対して行うことができます。

参考: **[調整]** と **[拡張機能]** タブの **[単色調整]** とで異なるカスタム設定が選択された場合は、最後に行った変更が優先され、印刷ジョブに適用されます。

クライアント/サーバー環境では、ユーザーがクライアントコンピューターで行った設定は、今後の使用のために保存されます。

カスタム色調整を選択する

カスタム色設定がすでに定義されている場合は、それを選択し、印刷ジョブに適用できます。

- 1 **[印刷品質]** > **[カラー]** で、**[フルカラー]** あるいは **[エコカラー]** アイコンをクリックします。
- 2 **[調整]** リストから、**[カスタム 1]**、**[カスタム 2]**、または **[カスタム 3]** を選択します。
- 3 **[OK]** をクリックします。

HSL (色相、彩度、明るさ) を調整する

- 1 **[印刷品質]** > **[カラー]** で、**[フルカラー]** あるいは **[エコカラー]** アイコンをクリックします。
- 2 **[調整]** リストで、**[カスタム設定]** を選択します。
- 3 **[バランス調整]** > **[色調整]** で、**[カスタム 1]**、**[カスタム 2]**、または **[カスタム 3]** を選択します。
- 4 **[HSL (色相、彩度、明るさ)]** を選択します。
- 5 **[色見本イメージの選択]** のアイコンをクリックして、3 つの異なるイメージのいずれかを選択します。それぞれイメージ写真の強調している色の特徴が異なっているので、色調整の度合いがわかりやすくなっています。

- 6 色相の配分とバランスを調整します。
コーディネートされた色相調整の場合は、**[色選択]** リストから、**[マスター]** を選択します。**[色合い]** で -180 から +180 までの値を入力または選択します。
特定の色相を調整する場合は、**[色選択]** リストから **[赤]**、**[黄]**、**[緑]**、**[シアン]**、**[青]**、または **[マゼンタ]** を選択します。**[色合い]** で -10 から +10 までの値を入力または選択します。
- 7 **[彩度]**、**[明るさ]**、**[コントラスト]** で -10 から +10 までの値を入力または選択します。
- 8 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 9 **[OK]** をクリックして、新規の HSL 調整を保存します。

カラーバランスを調整する

- 1 **[印刷品質]** > **[カラー]** で、**[フルカラー]** あるいは **[エコカラー]** アイコンをクリックします。
- 2 **[調整]** リストで、**[カスタム設定]** を選択します。
- 3 **[バランス調整]** > **[色調整]** で、**[カスタム 1]**、**[カスタム 2]**、または **[カスタム 3]** を選択します。
- 4 **[カラーバランス]** を選択します。
- 5 **[色見本イメージの選択]** のアイコンをクリックして、3 つの異なるイメージのいずれかを選択します。それぞれイメージ写真の強調している色の特徴が異なっているので、色調整の度合いがわかりやすくなっています。
- 6 各カラーバーの下で、各カラーの相対値を -10 から +10 の間で入力または選択します。
- 7 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 8 **[OK]** をクリックして、新規のカラーバランス設定を保存します。

白黒印刷のバランス調整

白黒印刷のバランス調整は、グラフィックの明るさとコントラストを変更します。これらの設定は、グラフィックイメージが明るすぎる、薄すぎる、あるいは暗すぎる場合に便利です。テキストには何も影響はありません。

白黒設定を調整する

- 1 **[印刷品質]** > **[カラー]** で、**[白黒]** アイコンを選択します。
- 2 **[調整]** リストで、**[ユーザー定義]** を選択します。

[バランス調整] ダイアログボックスのプレビューイメージに明るさとコントラストの変更が表示されます。

- 3 印刷ジョブのグラフィックイメージをより明るくしたり暗くしたりするには、**[明るさ]** の値を入力または選択します。
+100 で最も明るくなり、-100 で最も暗くなります。0 はデフォルトで中間レベルの明るさです。イメージが明るすぎたり暗すぎたりする場合は、明るさを調整してグラフィックイメージをカスタマイズできます。
- 4 印刷ジョブのグラフィックイメージの明暗のコントラストを増減するには、**[コントラスト]** の値を入力または選択します。
コントラストの設定を高くすると、グレースケールのスペクトルが減少し、明るいグレーはより明るく、暗いグレーはより暗くなります。コントラストの設定を低くすると、グレースケールのスペクトルが増加し、明るいグレーは暗く、暗いグレーは明るくなります。
+100 で最もコントラストが強くなり、-100 で最も弱くなります。0 はデフォルトで中間レベルのコントラストです。コントラストの調整は、グラフィックイメージがぼやける、または明暗がはっきりしすぎて印刷される場合に便利です。テキストには影響しません。
- 5 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして、新しい白黒の設定を保存します。

色変換処理

この機能を使うと、アプリケーションからのカラー情報の受け取り方法に応じて、印刷ジョブへのカラー処理方法を選択できます。**[PDL (ページ記述言語)]** ダイアログボックスで **[KPDL]** が選択されている場合、この機能を使用できます。

[印刷品質] > [色変換処理] で、次のオプションから選択します。

[プリンター設定に従う]

このオプションは、デバイスの現在の設定を使用するときに選択します。

[速度優先]

ドライバーがアプリケーションから RGB データを受け取る場合に、このオプションを選択します。

[画質優先]

ドライバーがアプリケーションからフルカラーデータを受け取る場合に、このオプションを選択します。

色の組み合わせ

[色の組み合わせ] 機能を使うと、黒とそれ以外の色を使用して 2 色だけで印刷を行います。

[カラー] で **[2 色カラー]** が選択されている場合、この機能が使用できます。**[2 色カラー]** は、**[PCL XL]** または **[PCL 5c]** が PDL として選択されている場合に有効です。

[印刷品質] > [色の組み合わせ] で次の組み合わせを選択できます。

[黒 + 赤]

黒と赤のみで印刷

[黒 + 緑]

黒と緑のみで印刷

[黒 + 青]

黒と青のみで印刷

[黒 + シアン]

黒とシアンのみで印刷

[黒 + マゼンタ]

黒とマゼンタのみで印刷

[黒 + 黄]

黒と黄のみで印刷

色の組み合わせを選択する

- 1** **[印刷品質]** > **[カラー]** で、**[2 色カラー]** アイコンをクリックします。
- 2** **[色の組み合わせ]** で、リストから 2 色の組み合わせを選択します。
- 3** すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

テキストと図の効果

カラーまたは白黒印刷では特殊設定も可能です。

[文字を黒色で印刷]

このオプションはすべての文字を黒色で印刷します。プリントデバイスに送るデータ量が減るため、カラー印刷ジョブの印刷が高速化します。白黒印刷では、この機能を使用することで、印刷された淡色テキストのきめ細かさが向上します。白い文字や画像の色に影響はありません。**[エコカラー]** が選択された場合は、自動的にオフになります。

[グレースケールを黒トナーで印刷]

このオプションは、グレースケールを黒のみで印刷します。**[カラー]** で、**[フルカラー]** を選択する必要があります。**[簡単設定]**、**[基本設定]**、あるいは **[印刷品質]** タブで **[エコカラー]** が選択されている場合、この機能が自動的に選択されます。

[画像を黒色で印刷]

このオプションは、すべての画像をグレースケールではなく黒色で印刷します。この機能は CAD アプリケーション向けです。**[カラー]** は **[白黒]** を選択する必要があります。

[オーバープリントモード]

この機能を選択するとイメージを重ね合わせて描画処理を行います。**[ページ記述言語 (PDL)]** ダイアログボックスで **[KPDL]** と **[パススルーモード]** が選択されている場合、この機能を使用できます。**[カラー]** で、**[フルカラー]** を選択する必要があります。

9 表紙/合紙

【表紙/合紙】タブでは、印刷ジョブに表紙や合紙を追加したり、OHP フィルム
の間に用紙を追加したり、インデックス紙を挿入したりできます。このタブの
機能は、**【PDF】**が PDL として選択されている場合は使用できません。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】**をクリックします。**【標準に戻す】**ボタン
は、アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスからプリンタードライ
バーにアクセスした場合に表示されます。



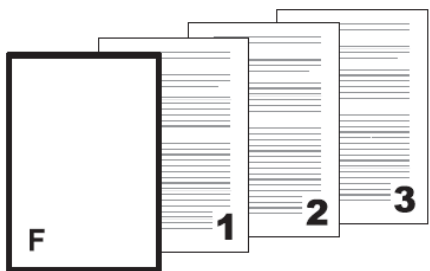
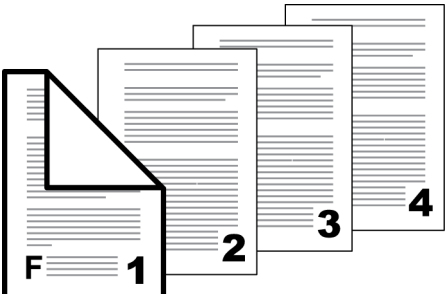
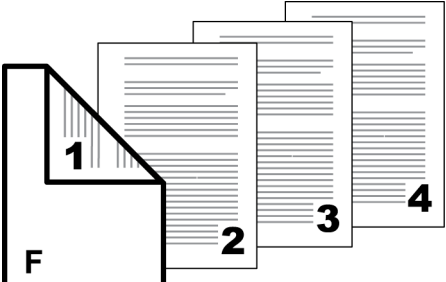
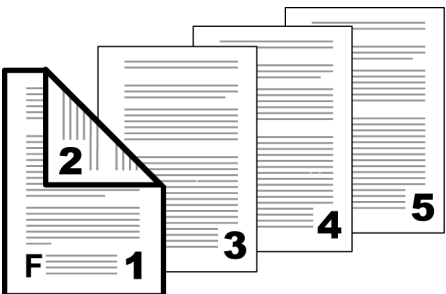
表紙付け

この機能を使うと、文書の前後に表紙および裏表紙を追加できます。本文ページに使用する用紙とは別の厚手の用紙やカラー紙などを使い、表紙を印刷することができます。表紙の給紙元は、同じく**【表紙/合紙】**ダイアログボックスのタブの**【表紙の給紙方法】**設定で指定します。

【表紙】/【内側】または**【裏表紙】/【外側】**オプションを使用して印刷するには、**【基本設定】**タブまたは**【簡単設定】**タブで両面印刷を選択する必要があります。

【表紙付け】機能は、**【OHP 合紙】**とは併用できません。

表紙付けオプション

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙のみ	白紙の表紙を追加します。 
表紙のみ 表紙：外側	表紙の外側に印刷します。 
表紙のみ 表紙：内側	表紙の内側に印刷します。 
表紙のみ 表紙：外側 表紙：内側	表紙の両面に印刷します。 

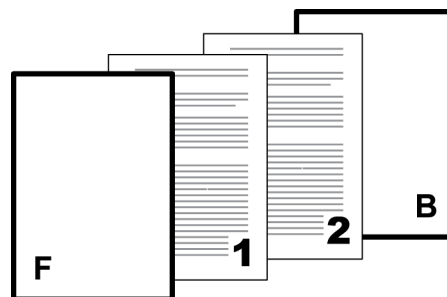
— 続く

チェックボックスの選択

表紙挿入の種類

表紙と裏表紙

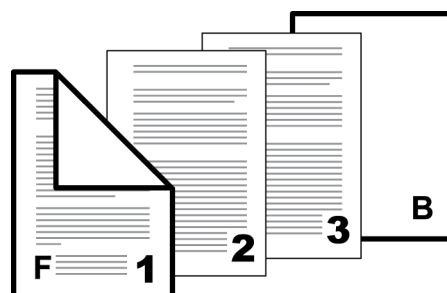
白紙の表紙と裏表紙を追加します。



表紙と裏表紙

表紙 : 外側

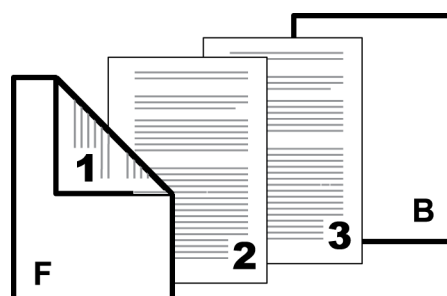
表紙の外側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。



表紙と裏表紙

表紙 : 内側

表紙の内側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。

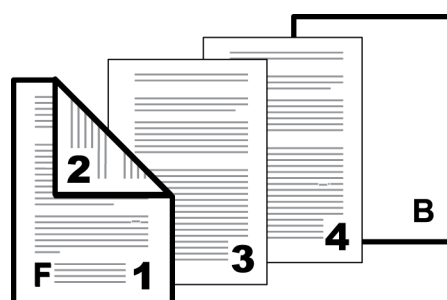


表紙と裏表紙

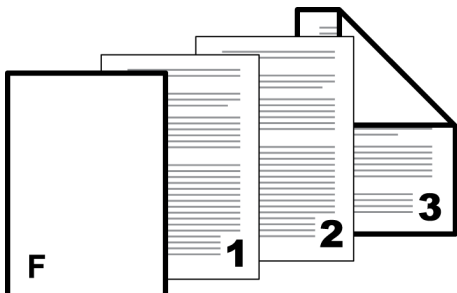
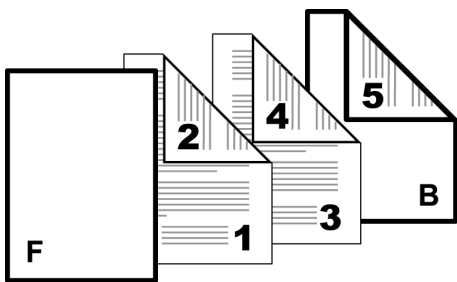
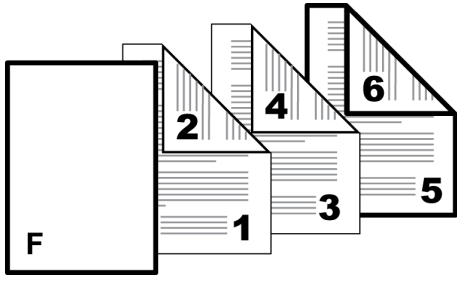
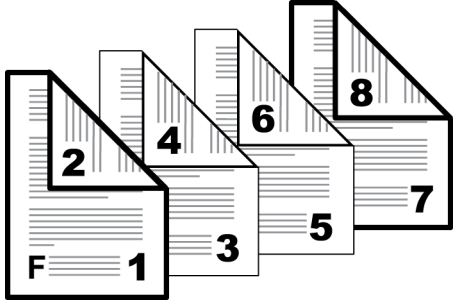
表紙 : 外側

表紙 : 内側

表紙の両面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。



— 続く

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙 裏表紙：内側	裏表紙の内側に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 裏表紙：外側	裏表紙の外側に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 裏表紙：内側 裏表紙：外側	裏表紙の両面に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙：外側 表紙：内側 裏表紙：内側 裏表紙：外側	表紙と裏表紙の両面に印刷します。 

表紙を印刷する

- 1 [表紙/合紙] タブで、[表紙付け] アイコンをクリックします。
- 2 [表紙のみ] または [表紙と裏表紙] を選択して印刷する表紙の種類を指定します。

- 3 表紙に印刷する場合は、**[印刷面]** オプションから選択します。
- 4 **[表紙の給紙方法]** リストで、表紙と裏表紙の用紙種類または給紙元を選びます。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

OHP 合紙

[OHP合紙] 印刷では、印刷される各 OHP フィルムの間合紙を挿入します。合紙は間紙とも呼び、OHP フィルムに汚れや傷がつくのを防ぎ、フィルム同士が張り付くのを防ぎます。この機能は、OHP フィルムを **[手差しトレイ]** から給紙して印刷する場合にのみ使用可能です。挿入する合紙に、OHP フィルムと同じ文書を印刷することもできます。

[OHP 合紙] 機能は、**[表紙付け]**、**[合紙]**、**[インデックス紙]** および **[章分けの挿入]** と組み合わせて使用できません。

OHP フィルム間へ合紙を挿入する

- 1 **[基本設定]** > **[用紙種類]** で、**[OHP フィルム]** を選択します。**[給紙元]** と **[用紙種類]** リストが組み合わせされている場合 (**[デバイス設定]** > **[互換性]** で選択)、**[用紙種類]** は表示されません。代わりに **[給紙元]** リストで、**[自動 (OHP フィルム)]** を選択します。
- 2 **[表紙/合紙]** タブで、**[OHP 合紙]** アイコンをクリックします。
- 3 OHP フィルムと同じ内容を合紙にも印刷する場合は、**[合紙に印刷]** チェックボックスをオンにします。
- 4 **[合紙の給紙方法]** ドロップダウンリストから、用紙種類または給紙元を選択します。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。
プリントデバイスの操作パネルには、OHP フィルムを **[手差しトレイ]** にセットするよう、また必要に応じて、合紙の用紙を選択したカセットにセットするよう求めるメッセージが表示されます。

合紙

[合紙] とは、プレプリントされたページ、または印刷ジョブの指定された箇所に挿入される異なった種類の用紙のことです。また、その用紙に印刷することも可能です。両面ユニットを使用すると、合紙裏面に印刷することもできます。

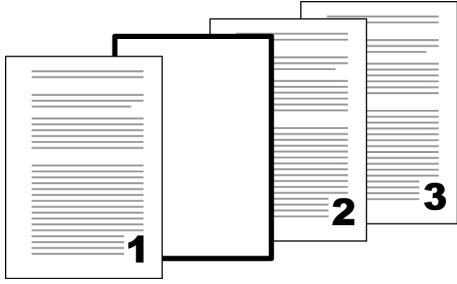
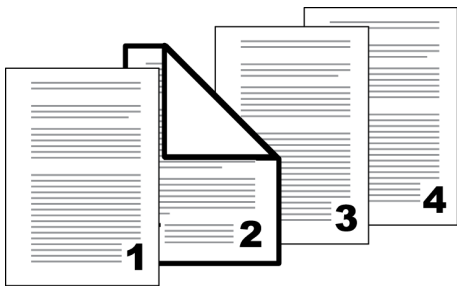
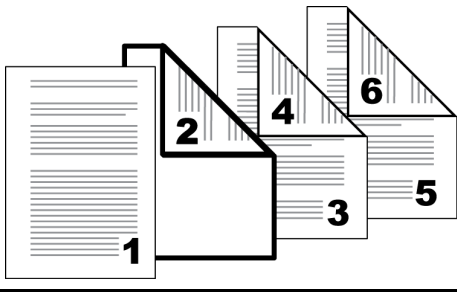
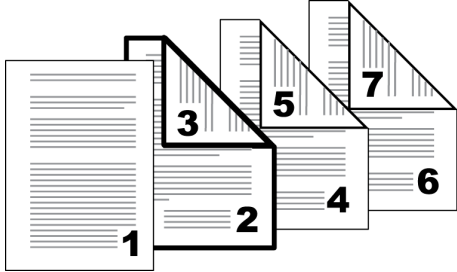
[裏面] オプションを使用して印刷するには、**[基本設定]** または **[簡単設定]** タブで両面印刷を選択する必要があります。

この機能が **[表紙/合紙]** > **[インデックス紙]** と組み合わせて使用された場合、**[インデックス紙]** で選択されたオプションは自動的に **[合紙]** でも選択されま

す。同様に、[合紙] の選択項目は [タブ設定] ダイアログボックスに表示されます。

[合紙] 機能は、[OHP 合紙] とは併用できません。

合紙印刷の組み合わせ

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙	合紙として白紙を挿入する。 
合紙 おもて面	合紙のおもて面に印刷する。 
合紙 裏面	合紙の裏面に印刷する。 
合紙 おもて面 裏面	合紙の両面に印刷する。 

合紙を印刷する

- 1 [表紙/合紙] タブで、[合紙] アイコンをクリックします。

- 2 選択可能な **[印刷面]** オプションから選択します。
[おもて面]: 合紙のおもて面に印刷します。
[裏面]: 合紙の裏面に印刷します。
オプションが選択されていない: 空白ページを挿入します。
- 3 **[合紙挿入位置]** に、差し込む位置のページ番号を入れます。合紙は、入力したページ番号とその前のページの間に差し込まれます。
- 4 **[合紙の給紙方法]** ドロップダウンリストから、合紙の用紙種類または給紙元を選択します。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

インデックス紙

[インデックス紙] は、印刷ジョブの指定されたページ位置にインデックス紙を挿入し、印刷する文書をセクションに区切ります。タブに印刷することもできます。A4 および Letter サイズの用紙には、標準のインデックス紙を使用できます。あるいは、これらの用紙サイズにカスタムタブを作成することも可能です。インデックス紙は、タブが給紙方向の後ろ側になるように印刷面を下にして、**[手差しトレイ]** にセットして給紙します。1 タブ目は給紙方向に対して左側になります。

[タブ設定] ダイアログボックスで設定されたすべてのタブは、現在のジョブに適用されます。

プリントデバイスの『使用説明書』の指示にしたがって、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。

[インデックス紙] で選択された一部のオプションは、**[表紙/合紙] > [合紙]** でも自動的に選択されます。同様に、**[合紙]** の選択項目は **[タブ設定]** ダイアログボックスに表示されます。

文書のページが両面に印刷される場合でも、タブのテキストは片面にしか印刷できません。

タブに印刷する前に、白紙にテスト印刷をすることをお勧めします。短いテスト文書を使用し、白紙をインデックス紙のサイズにカットします。テスト印刷をすることで、ドライバーの設定や **[手差しトレイ]** への給紙を正確に行えます。

[カスタム用紙]、**[タブ設定]**、および **[カスタムタブ]** ダイアログボックスには、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**[デバイス設定]** からアクセスして、**[ユーザー設定]** ダイアログボックスの **[単位]** 設定を変更できます。

インデックス紙のオプション

[表紙/合紙] タブの **[インデックス紙]** 機能で使用可能なオプションは次のとおりです。

[基本設定]

リストから、A4 または Letter に使用可能な標準のインデックス紙を選択します。**[カスタム]** を選択し **[カスタム用紙]** ダイアログボックスを開くと、カスタムインデックス紙を作成できます。

[設定]

クリックして **[タブ設定]** ダイアログボックスを開き、タブ設定を行います。

カスタム用紙ダイアログボックス

標準サイズ以外のインデックス紙の場合は、任意の大きさを選択し、カスタムサイズを作成できます。タブサイズは、タブの数およびタブの前、間、後で選択された間隔により調整されます。合計の長さが長辺の幅を超えないようにします。

[タブ数]

カスタム用紙に含むタブの数を 1 から 15 の間で選択します。

[出力用紙サイズ]

[A4] または **[Letter]** を選択します。

[最初のタブの前]

用紙の端と最初のタブとの間隔を入力、または選択します。

[タブの間]

各タブの間隔を入力、または選択します。互いに重なり合うタブには、負の値を選択します。

[最後のタブの後ろ]

最後のタブと用紙の端との間隔を入力、または選択します。

[タブの幅]

タブが用紙の端からどれくらい出ているかを入力、または選択します。

タブ設定ダイアログボックス

用紙の選択後、現在の印刷ジョブのタブ設定を行います。最大 50 のタブ印刷設定と、50 シートまでの合紙挿入設定ができます。選択は印刷ジョブのすべてのインデックス紙に適用されます。

用紙の最後のタブが使用されると、最初のタブに戻って同じパターンを繰り返します。例えば、タブが 5 つの用紙に 20 のタブが選択された場合、5 つのタブが 4 回繰り返しのパターンで挿入されます。

参考: **[インデックス紙を使用]** を選択している場合、**[本文を印刷]** リストで、**[合紙]** と同じ設定は選択できません。**[インデックス紙を使用]** を選択していない場合、**[本文を印刷]** リストで、**[合紙]** の **[印刷面]** と異なる設定は選択できません。

[現在のタブ設定]

現在の印刷ジョブのタブ設定を表示します。

[新規]

ボタンをクリックし、**[現在のタブ設定]** リストに新しいタブを追加します。その後に新しいタブの設定を選択します。

[削除]

リストでタブを選択し、**[削除]** をクリックするとタブを削除できます。

[カスタム]

ボタンをクリックし**[カスタムタブ]** ダイアログボックスを開き、フォント、色、テキスト配置といったカスタムタブ設定を選択します。**[カスタム]** ボタンは、**[インデックス紙を使用]** が選択され、**[イメージを移動]** が選択されていない場合に使用できます。

[次のページの前に挿入]

挿入するページの番号を入力します。インデックス紙は、入力したページ番号の前に差し込まれます。**[1]** と入力した場合は、インデックス紙は 1

ページの前に挿入されます。**[インデックス紙を使用]**を選択していない場合は、**[合紙]**機能が自動的に選択され、**[合紙挿入位置]**にこの数字が入ります。

同じページ番号を入力した場合は、エラーになります (テキストボックスが赤くなります)。

[本文を印刷]

合紙に印刷される文書データのオプションを選択します。**[おもて面]**を選択し、文書データの次のページをインデックス紙に印刷します。インデックス紙に文書データを印刷したくない場合は、**[しない]**を選択します。どちらを選択した場合でも、タブテキストはタブに印刷されます。

[インデックス紙を使用]

チェックボックスを選択して、**[表紙/合紙]** タブの **[基本設定]** リストで選択されたインデックス紙を使用します。チェックボックスが選択されていない場合は、**[インデックス紙]** は **[表紙/合紙] > [合紙]** と同じです。

[イメージを移動]

文書にタブを含むアプリケーションデータやテンプレートには、**[インデックス紙を使用]** を選択し、**[イメージを移動]** を選択します。タブテキストがタブに印刷できるように、ページの中身とタブテキストが移動します。移動幅は最大 **30 mm (1.2 インチ)** で入力、または選択します。

この機能を使用する場合、タブテキストは、**[タブ設定]** ダイアログボックスではなく、アプリケーションまたはテンプレートに入力します。

[タブの位置]

各タブの位置を選択します。**[自動]** でタブ位置を自動に設定、またはリストから位置を選択できます。選択可能なタブ位置は、選択された標準の用紙、または **[カスタム用紙]** ダイアログボックスの **[タブ数]** により異なります。インデックス紙は、文字列の位置設定と一致するようにセットする必要があります。

[タブテキスト (最大 3 行)]

各タブのテキストを、最大 3 行 (1 行 260 字) で入力します。

カスタムタブのダイアログボックス

タブテキストのフォント、スタイル、色、サイズ、向き、タブ配置、テキスト配置、および行間を選択できます。選択は印刷ジョブのすべてのインデックス紙に適用されます。

[簡単設定]、**[基本設定]**、または **[印刷品質]** タブで、**[カラー]** を選択している場合は、**[カスタムタブ]** ダイアログボックスでデフォルト色またはカスタム色を選択します。

参考: **[2 色カラー]** が **[簡単設定]**、**[基本設定]**、**[印刷品質]** タブで選択されている場合、その選択した色の組み合わせでタブテキストが印刷されます。

[印刷の向き] は、**[簡単設定]** および **[基本設定]** タブ内の印刷の向きと異なります。カスタムタブでは、次の印刷の向きを選択できます。

[標準]

タブを上にしてシートを見たときに、テキストは横書きです。

[反転]

タブを上にしてシートを見たときに、テキストは上下を逆にした横書きです。

[横]

タブを右側にしてシートを見たときに、テキストは横書きです。

[縦]

タブを右側にしてシートを見たときに、テキストは縦書きです。
【文字列の配置】 は、Microsoft Word の垂直方向の配置と同様です。

【上】

タブテキストは、タブの幅の上端に揃えられます。

【中央】

タブテキストは、タブの幅の中心に揃えられます。

【下】

タブテキストは、タブの幅の下端に揃えられます。

【左ぞろえ】 と **【行間】** のオプションを選択する場合、ダイアログボックスのイラストにあるように、タブを右側にして用紙を見ます。

インデックス紙を挿入する

- 1** 長辺が給紙方向の先頭になるように、インデックス紙を **【手差しトレイ】** にセットします。タブは給紙方向の反対側になります。インデックス紙は印刷面を下 (フェイスダウン) にしてセットします。1 タブ目は給紙方向に対して左側になります。
- 2** **【表紙/合紙】** タブで、**【インデックス紙】** アイコンをクリックします。
- 3** **【基本設定】** リストで、標準の用紙オプションを選択するか、**【カスタム】** を選択してカスタム用紙を作成できます。
- 4** 手順 3 で **【カスタム】** を選択した場合は、**【カスタム用紙】** ダイアログボックスで任意のカスタム用紙を作成し、**【OK】** をクリックします。
- 5** **【設定】** をクリックします。
- 6** **【タブ設定】** ダイアログボックスで、**【新規】** をクリックし、挿入するページ番号を入力します。インデックス紙は、入力したページ番号の前に差し込まれます。
- 7** **【本文を印刷】** と **【タブの位置】** の設定を選択し、タブテキストを入力します。
- 8** **【インデックス紙を使用】** が選択され、**【イメージを移動】** が選択されていない場合は、**【カスタム】** をクリックして、タブテキストのカスタム設定を行えます。**【OK】** をクリックします。
 文書にタブを含むアプリケーションデータやテンプレートの場合、**【イメージを移動】** を選択して移動幅を選択します。
- 9** 印刷ジョブに複数のインデックス紙を含めたい場合は、手順 6 から 8 を繰り返し、**【OK】** をクリックします。
- 10** 現在のタブ設定を再度使用したい場合は、**【印刷設定】** ダイアログボックス下部にある、**【名前を付けて保存】** をクリックし、設定をプロファイルとして保存します。
- 11** すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

章分けの挿入

両面印刷時に文書の各章最初のページを、強制的に用紙のおもて面に印刷できます。100 章までの各章最初のページを識別できます。この機能は、両面印刷やページ集約印刷時にも設定できます。

【簡単設定】 および **【基本設定】** タブの **【部単位印刷】** は、自動的にオンに設定されます。

【章分けの挿入】 は、**【レイアウト】** タブの、**【ポスター】** および **【ブックレット】** または、**【表紙/合紙】** タブの **【OHP 合紙】** と同時には使用できません。

この機能は、**【PCL 5c】** が PDL として選択されている場合は使用できません。

章（指定したページ）で分けて印刷

- 1 **【簡単設定】** あるいは **【基本設定】** タブで、**【両面印刷】** を選択します。
- 2 **【表紙/合紙】** タブで、**【章分けの挿入】** アイコンをクリックします。
- 3 **【章分けの最初のページ】** に、各章最初のページ番号を 2 から 999 までで入力します。ページ番号をカンマで区切って入力することができます。

参考: **【表紙付け】**、**【印刷面】**: **【表紙のみ】 / 【外側】** および **【表紙のみ】 / 【内側】** が選択されている場合には、ページ番号は、3 から 999 までで入力してください。

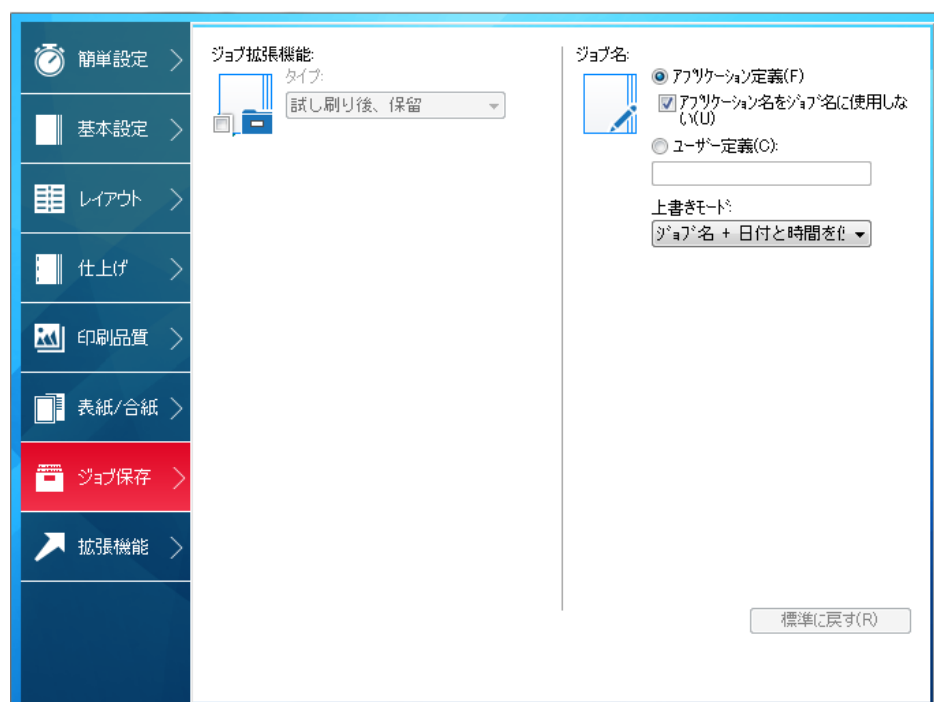
- 4 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

10 ジョブ保存

[ジョブ保存] タブで、プリントデバイスにインストールされているメモリーに印刷ジョブを保存できます。また、[ジョブ名] を選択してジョブ保存機能と合わせて使用できます。このタブは、Microsoft Windows アプリケーションから文書を印刷する際に、デフォルト設定を決定、または変更する場合に使用します。

元の設定に戻すには、[標準に戻す] をクリックします。[標準に戻す] ボタンは、アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

管理者は [デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[ジョブ保存] を選択することによって、[ジョブ保存] タブで選択した設定ですべてのジョブを保存または印刷されるようにすることができます。



ジョブ拡張機能

[ジョブ拡張機能] は、印刷ジョブをプリントデバイスのメモリーに保存するための各種設定や、それらの印刷ジョブの印刷の実行や、再印刷する機能が含まれます。印刷ジョブは、プリントデバイスの操作パネルから後で簡単に印刷しなおことができ、機密文書の印刷を許可されたユーザーだけに制限することも可能です。

この機能は、高度な印刷管理をデスクトップから直接行うことのできる多層的なソリューションです。プリントデバイスにジョブを保存することにより、コンピューターからジョブを再送信しなくても、操作パネルからいつでも再印刷することが可能です。

[ジョブ拡張機能] を利用する場合、[デバイス設定] にある [ユーザー設定] ダイアログボックスで、ユーザー名を設定することもできます。Windows のログインユーザー名を使用する場合（デフォルト）は、ユーザー名の設定は不要です。

[デバイス設定] > [管理者設定] > [Net Manager] で、[Net Manager] が選択されている場合、[ジョブ拡張機能] は使用できません。

ジョブ拡張機能のオプション

	ストレージロケーション	必要なアクセスコード	ジョブの印刷時	ジョブがメモリから削除される時
[ユーザーボックス]	ハードディスク	オプションパスワード	操作パネルからの出力時	手動で削除、または最大 31 日間
[クイックコピー]	ハードディスク	なし	PC から送られた時	プリントデバイスの電源オフ時、ストレージデバイス容量の超過時、またはジョブ保持日数経過時
[試し刷り後、保留]	ハードディスク	なし	ジョブが送られた時に 1 部印刷し、残りは後で印刷	プリントデバイスの電源オフ時、またはジョブ保持日数経過時
[プライベートプリント]	ハードディスク	あり	操作パネルからアクセスコードが入力された時	プリントデバイスの電源オフ時、印刷後、またはジョブ保持日数経過後
[ジョブ保留]	ハードディスク	オプション	操作パネルからの出力時	手動で削除された時

ユーザーボックス

この機能を使うと、印刷ジョブはプリントデバイスの操作パネルから印刷されるまで保存されます。保存したジョブはストレージデバイスから 1 つまたは複数回印刷できます。

印刷ジョブはストレージデバイスに 1 ～ 31 日間保存するか、もしくは印刷後に削除できます。

ユーザーボックスは、プリントデバイスのホームページで、また [デバイス設定] からアクセスする [ハードディスク設定] で、ユーザーごとに設定する必要があります。ユーザーボックスは最大 1000 個作成できます。

ユーザーボックスにジョブを保存する

- 1 [ジョブ保存] タブで [ジョブ拡張機能] アイコンをクリックします。
- 2 [タイプ] リストで、[ユーザーボックス] を選択します。
- 3 [設定] をクリックします。
- 4 [ユーザーボックス設定] オプションを選択します。
[特定のボックス番号を使用] を選択した場合、そのボックス番号とパスワードを入力します。

[印刷時にボックス番号を入力]を選択し、[OK]をクリックします。印刷を開始すると、[ユーザーボックス]ダイアログボックスが表示されます。[定義されたユーザーボックス]リストからボックス番号を入力します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

[印刷時にボックスリストから選択]を選択し、[OK]をクリックします。印刷を開始すると、[ユーザーボックス]ダイアログボックスが表示されます。リストからボックスを選択します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。これは、[ハードディスク設定]ダイアログボックスで[共有ボックス]が選択されている場合に、選択することができます。

[ログインユーザー毎にボックス番号を確認]を選択し、[OK]をクリックします。印刷を開始すると、[ユーザーボックス]ダイアログボックスが表示されます。ボックス番号を入力します。パスワード保護を行うには、[パスワードの確認]を選択し、パスワードを入力します。これは、[ハードディスク設定]ダイアログボックスで[共有ボックス]が選択されている場合に、選択することができます。

5 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

[ログインユーザー毎にボックス番号を確認]が選択されている場合、ドライバーはユーザーボックスからログインユーザー名を検索してユーザーボックス名として使用します。

一致したユーザー名が見つかり、そのユーザーボックスを使用して印刷ジョブが実行されます。

一致したユーザー名が見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限のチェックを行います。管理者権限を持っている場合、ボックス番号および印刷ジョブ用のパスワードを入力するよう求められます。ドライバーは Windows のログインユーザー名を検索し、ボックス番号とパスワードとともに、この名前をドライバーのユーザーボックスリストに追加します。ユーザー権限の場合、印刷ジョブはキャンセルされます。ユーザーには管理者に問い合わせて印刷権限を取得するよう促すメッセージが表示されます。

クイックコピー

[クイックコピー]は、印刷ジョブのすべての部数を印刷した後、再び印刷できるようにするため、印刷ジョブを一時的にストレージデバイスに保存しておく、[ジョブ拡張機能]のオプションです。

[クイックコピー]は、文書の印刷後に追加部数を印刷することが必要になった場合などに便利です。その場合は、PC からジョブを再送信することなく、プリントデバイスの操作パネルから追加部数を設定し、印刷を行うことができます。

保存可能な [クイックコピー] ジョブおよび [試し印刷後、保留] ジョブの数は、プリントデバイスの操作パネルで設定できます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。[クイックコピー] ジョブはすべて、印刷後にストレージデバイスに保存されます。ジョブは、プリントデバイスの電源がオフになる、またはジョブ保持日数を過ぎると削除されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。

警告: 印刷ジョブは、同じユーザー名とジョブ名を持つ、ストレージデバイス内にあるジョブを置き換えます。こうした状況を防ぐには、[上書きモード]で、[ジョブ名 + 日付と時間を使用]を選択します。

クイックコピージョブを印刷する

- 1 [ジョブ保存] タブで [ジョブ拡張機能] アイコンをクリックします。
- 2 [タイプ] リストで、[クイックコピー] を選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

試し刷り後、保留

[試し刷り後、保留] は、印刷ジョブを 1 部印刷してから残りの部数を印刷することで、印刷結果を確認できる [ジョブ拡張機能] のオプションです。

試し刷り印刷を行い、確認した後は、コンピューターからジョブを再送信しなくても、プリントデバイスの操作パネルから残りの部数を印刷することが可能です。必要に応じて、印刷部数は変更することができます。

参考: [試し刷り後、保留] は、Microsoft Excel など一部のアプリケーションでは使用できません。

保存可能な [試し刷り後、保留] ジョブおよび [クイックコピー] ジョブの数は、プリントデバイスの操作パネルで設定できます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。[試し刷り後、保留] ジョブはすべて、印刷後にストレージデバイスに保存されます。ジョブは、プリントデバイスの電源がオフになる、またはジョブ保持日数を過ぎると削除されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、[上書きモード] で、[ジョブ名 + 日付と時間を使用] を選択します。

試し刷り後、保留ジョブを印刷する

- 1 [基本設定] タブで、印刷部数を選択します。
- 2 [ジョブ保存] タブで [ジョブ拡張機能] アイコンをクリックします。
- 3 [タイプ] リストで、[試し刷り後、保留] を選択します。
- 4 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

プライベートプリント

[プライベートプリント] は [ジョブ拡張機能] の 1 つで、印刷ジョブを印刷するため 4 桁のアクセスコードが入力されるまでストレージデバイスに保存します。ストレージデバイス容量が限界に達した状態で、新しい保存用ジョブが送信された場合は、保存されている最も古いジョブが新しいジョブに差し替わられます。[プライベートプリント] ジョブは、プリントデバイスをリセットしたり、電源をオフにしたり、またはジョブ保持日数を超過すると削除されます。ジョブを削除されたくない場合は、[ジョブ保留] 機能を選択してください。

機密文書をプリントデバイスに送信する場合、4 桁のアクセスコードを入力する必要があります（アクセスコードは、[ジョブ名]、[ユーザー名] と共に印刷ジョブに添付されます）。アクセスコードの入力が求められるオプションを

選択することもできます。プリントデバイスの操作パネルにアクセスコードが入力されるまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリントデバイスのメモリーから削除されます。

保存可能な【プライベートプリント】ジョブの数は、ストレージデバイスの容量のみに制限されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、【上書きモード】で、【ジョブ名 + 日付と時間を使用】を選択します。

プライベートプリントジョブを保管する

- 1 【ジョブ保存】タブで【ジョブ拡張機能】アイコンをクリックします。
- 2 【タイプ】リストで、【プライベートプリント】を選択します。
- 3 アクセスコードを選択するための方法を選択します。

すべての印刷ジョブに対して同じアクセスコードを使用する場合は、【印刷時にアクセスコードを入力】の選択を解除し、【アクセスコードの指定】ボックスに 4 桁の数字を入力します。

各印刷ジョブに対して、異なるアクセスコードを使用する場合は、【印刷時にアクセスコードを入力】を選択します。アプリケーションの【印刷】ダイアログボックスで【OK】をクリックすると、【プライベートプリント】ダイアログボックスが表示されるのでアクセスコードを入力します。
- 4 すべてのダイアログボックスで【OK】をクリックします。

ジョブ保留

【ジョブ保留】は、【ジョブ拡張機能】の 1 つで、印刷ジョブをストレージデバイスに恒久的に保存しておき、再印刷を可能にします。また、アクセスコードを使用してジョブが不正に印刷されるのを防ぐオプションも用意されています。

【ジョブ保留】で印刷したジョブは、プリントデバイスの電源を一度切った後でも再印刷が可能のため、いつでも印刷できるようにしておく必要のあるジョブなどに便利です。【ジョブ保留】ジョブを削除するには、プリントデバイスから手動で削除します。

必要に応じて、4 桁のアクセスコードを【ジョブ保留】ジョブに設定して、誰にも見られないようにジョブを印刷したり、許可されたユーザーだけに印刷を制限したりすることができます。アクセスコードを設定すると、ユーザーがプリントデバイスの操作パネルからアクセスコードを入力するまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリントデバイスのメモリーに残ります。

保存可能な【ジョブ保留】ジョブの数は、ストレージデバイスの容量のみに制限されます。ジョブは操作パネルから手動で削除することもできます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、【上書きモード】で、【ジョブ名 + 日付と時間を使用】を選択します。

ジョブ保留ジョブを保管する

- 1 【ジョブ保存】タブで【ジョブ拡張機能】アイコンを選択します。

- 2 [タイプ] リストで、[ジョブ保留] を選択します。
- 3 アクセスコードを選択するための方法を選択します。

すべての印刷ジョブに対して同じアクセスコードを使用する場合は、[印刷時にアクセスコードを入力] の選択を解除し、[アクセスコードの指定] ボックスに 4 桁の数字を入力します。

各印刷ジョブに対して、異なるアクセスコードを使用する場合は、[印刷時にアクセスコードを入力] を選択します。アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックすると、[ジョブ保留] ダイアログボックスが表示されるのでアクセスコードを入力します。
- 4 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

ユーザー管理

[ユーザー管理] は、部署や部門ごとに権限を割り当てる [部門管理] とは異なり、ユーザーごとにジョブ制限を提供します。[デバイス設定] > [管理者設定] > [ユーザー管理] で [特定のログインユーザー名を使用] が選択されている場合、この機能が [ジョブ保存] タブに表示されます。

[ジョブ保存] タブで、印刷ジョブに対してユーザー名やパスワードを一時的に変更できます。[デバイス設定] で設定されたデフォルトのユーザー名やパスワードは変更されません。

ユーザー管理を使用して印刷する

- 1 [ジョブ保存] で [ユーザー管理] の下の [オプション設定] をクリックします。
- 2 [認証設定] ダイアログボックスで、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 [標準に戻す] をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 4 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

部門管理

この機能を使うと、管理者は、プリントデバイスを制御できます。[部門管理] で、ユーザーあるいは部署に部門コード (識別番号) を割り当てられます。[デバイス設定] > [管理者設定] > [部門管理] で [特定のコードを使用] が選択されている場合、この機能が [ジョブ保存] タブに表示されます。

[ジョブ保存] タブで、印刷ジョブに対して部門コードを一時的に変更できます。[デバイス設定] で設定されたデフォルトの部門コードは変更されません。

部門管理を使用して印刷する

- 1 [ジョブ保存] タブで [部門管理] の下の [オプション設定] をクリックします。
- 2 [認証設定] ダイアログボックスで、部門コードを入力します。
- 3 [標準に戻す] をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

- すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ジョブ名

[ジョブ名] は、印刷ジョブごとの識別名です。これはプリントデバイスの操作パネルからジョブを検索したり、印刷したりするのに便利です。**[ジョブ拡張機能]** のいずれかを使用して印刷ジョブを送信する場合、ジョブにカスタム名を割り当てたり、アプリケーションファイルの名前を使用したりできます。

Microsoft Word および PowerPoint では、アプリケーションで定義される **[ジョブ名]** にアプリケーション名を含めたり、除外したりできます。またプリントデバイスのメモリー内のジョブを印刷するとき、同じ **[ジョブ名]** を持つ新しいジョブによって置き換えられないようにすることもできます。

アプリケーション名をジョブ名に使用しない

この機能を使うと、ジョブ拡張機能で、ジョブ名からアプリケーション名を削除できます。**[アプリケーション名をジョブ名に使用しない]** を選択すると、選択したファイル名がジョブリストにわかりやすく表示されます。この機能は、Microsoft Word または PowerPoint から印刷する場合にのみ使用できます。

上書きモード

この機能を使うと、保存された印刷ジョブが同じ **[ジョブ名]** を持つ新しいジョブによって、プリントデバイスのメモリー内で置き換えられないようにできます。ユーザーが同じ **[ユーザー名]** と **[ジョブ名]** を持つ 2 つの印刷ジョブを送信した場合、2 番目のジョブは何のメッセージも表示しないで最初のジョブに置き換わります。これを防ぐために、**[上書きモード]** はジョブが送信された日付と時間を追加して自動的に **[ジョブ名]** を変更します。また、この機能は、PC から印刷ジョブが送信された時間を追跡するのにも役立ちます。

選択されたオプションは、**[アプリケーション定義]** または **[ユーザー定義]** が選択された **[ジョブ名]** に適用されます。**[上書きモード]** オプションには、次のものがあります。

[既存のファイルを置き換える]

このオプションは、同じ **[ユーザー名]** および同じ **[ジョブ名]** が存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントデバイスメモリー内の既存のジョブが置き換わります。

[ジョブ名 + 日付と時間を使用]

このオプションは、現在の日付と時間を **[ジョブ名]** の後ろに追加します。同じジョブ名である前回の印刷ジョブは、プリントデバイスのメモリーに残ります。

ジョブ名を選択する

[ジョブ拡張機能] を使用する際に、プリントデバイスの操作パネルに表示されるジョブリストから目的のジョブを確認できるよう、**[ジョブ名]** を設定することができます。選択した **[ジョブ名]** は、ジョブがプリントデバイスに送信されるときに、印刷ジョブとともに保存されます。

- [ジョブ保存] > [ジョブ名]** で名前を選択します。

[アプリケーション定義]

アプリケーションの文書名を **[ジョブ名]** として使用します。Microsoft Word または PowerPoint 文書の場合、**[アプリケーション名をジョブ名に使用しない]** を選択すると、**[ジョブ名]** としてドキュメント名のみを表示するためにアプリケーション名が削除されます。

[ユーザー定義]

このオプションは、ジョブごとに一意の名前を使用します。79 文字以内でボックスに名前を入力します。

- 2** 同じ **[ジョブ名]** のジョブがプリントデバイスのメモリーにすでに存在する場合は、**[上書きモード]** オプションを選択します。

[既存のファイルを置き換える]

同じ **[ユーザー名]** および同じ **[ジョブ名]** のジョブが存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントデバイスメモリー内の既存のジョブが置き換わります。

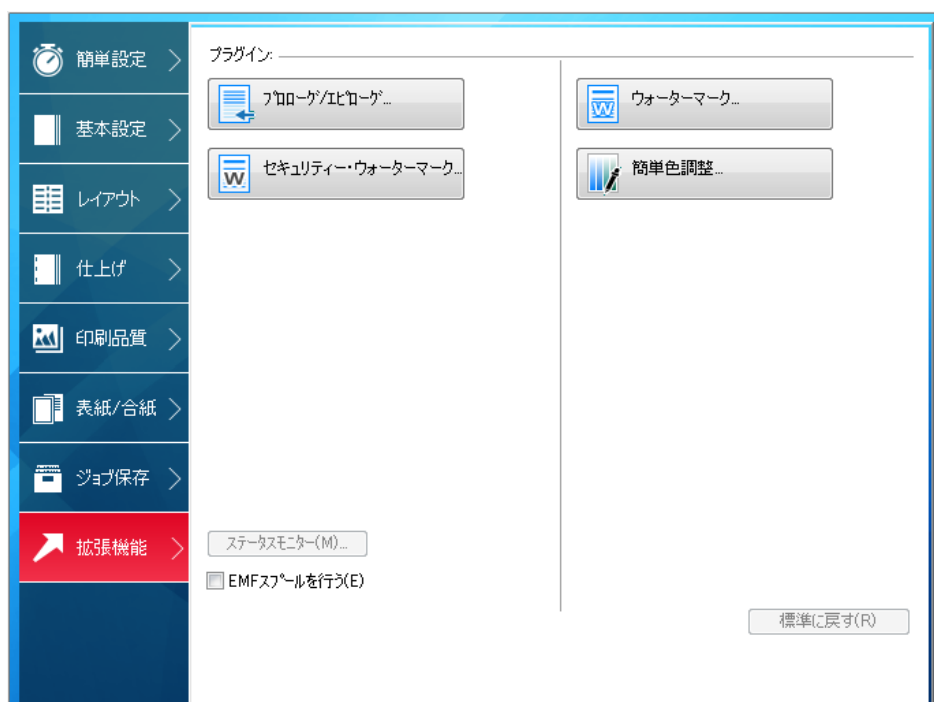
[ジョブ名 + 日付と時間を使用]

現在の日付と時間を **[ジョブ名]** の後ろに追加します。

11 拡張機能

[拡張機能] タブでは、プリントデバイスの機能を拡張させる特殊な機能を選択できます。

[標準に戻す] をクリックすると、**[EMF スプールを行う]** チェックボックスは、プリンタードライバの **[印刷設定]** で設定されたデフォルト設定に戻ります。**[標準に戻す]** ボタンは、アプリケーションの **[印刷]** ダイアログボックスからプリンタードライバにアクセスした場合に表示されます。



プロローグ/エピローグ

この機能を使うと、印刷ジョブの始めまたは終わりにコマンドファイルを挿入できます。コマンドファイルは、本機に搭載されているプリスクライプ言語のプログラミングコマンドを使用します。**[Product Library]** ディスクには、プリスクライプコマンド言語の説明書が含まれています。

コマンドファイルは一連の命令であり、プリントデバイスはこれを解釈して所定の出力を生成します。例えばレターヘッドのように、文書の決まった位置にロゴなどを印刷するために、**[プロローグ/エピローグ]** コマンドファイルにマクロを挿入することができます。または、**[基本設定]** タブの **[カーボンコピー]** 機能を使用している場合は、カーボンコピーに見出しを挿入できます。

印刷ジョブに追加する前に、お使いの PC で **[プロローグ/エピローグ]** ファイルを使用可能にしておく必要があります。このファイルを作成するには、Windows のメモ帳などのテキストエディターを使用します。PC で **[編集]** をクリックして、**[プロローグ/エピローグ]** ファイルを編集できます。コマンドファイルを編集して保存すると、ローカルまたはネットワークにある既存ファイルの内容が上書きされます。

リストで**[プロログ/エピログ]**ファイルを選択して**[削除]**をクリックすることにより、ファイルを削除できます。プロログ/エピログデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカル PCに残っています。

挿入箇所オプション

挿入箇所は、選択された**[プロログ/エピログ]**コマンドファイルが、プリンタデバイスによって処理される印刷ジョブ内の場所です。コマンドファイルリストの各ファイルに割り当てられる挿入箇所は1つです。

参考: **[PCL 5c]**がPDLとして選択されている場合のみ、**[ページの始め]**と**[ページの終わり]**の挿入箇所オプションが使用できます。

[なし [未設定]]

選択したコマンドファイルは印刷ジョブに挿入されません。この選択は、複数のコマンドファイルがある場合に、特定のコマンドファイルだけを使用する際に使用できます。コマンドファイルを使用しない印刷ジョブには、**[なし [未設定]]**を選択します。

[文書のはじめ]

コマンドファイルは印刷ジョブの最初のページに挿入されます。文書は2ページ目から印刷が開始されます。

[文書の終わり]

コマンドファイルは印刷ジョブの最終ページに挿入され、文書の最終ページの後に印刷されます。

[ページのはじめ]

コマンドファイルは、印刷ジョブの各ページの前に挿入されます。

[ページの終わり]

コマンドファイルは、印刷ジョブの各ページの後ろに挿入されます。

[奇数ページに挿入]

[ページのはじめ] または **[ページの終わり]** を選択すると、このオプションを選択して、すべての奇数ページにコマンドファイルを挿入することができます。

[偶数ページに挿入]

[ページのはじめ] または **[ページの終わり]** を選択すると、このオプションを選択して、すべての偶数ページにコマンドファイルを挿入することができます。

[ページ指定]

[ページのはじめ] または **[ページの終わり]** を選択すると、このオプションを使用して指定されたページにコマンドファイルを挿入することができます。テキストボックスにページ番号をカンマで区切って入力するか、またはハイフンで区切ってページ範囲を指定します。

プロログ/エピログファイルの選択および割り当てをする

- 1 **[拡張機能]** > **[プロログ/エピログ]** で、**[参照]** をクリックして**[プロログ/エピログ]** ファイル (.TXT、.LOG) を選択し、**[プロログ/エピログデータファイル]** リストに追加することができます。
- 2 リストからファイルを選択します。

- 3 [挿入箇所] で、[プロログ/エピログ] ファイルを挿入する場所を選択、または [なし [未設定]] を選択します。
- 4 必要に応じて、手順 1 - 3 を繰り返してファイルを追加します。
- 5 [OK] をクリックします。

プロログ/エピログファイルを編集する

PC で [プロログ/エピログ] ファイルを編集できます。

- 1 [拡張機能] > [プロログ/エピログ] で、リストから [プロログ/エピログ データファイル] を選択し、[編集] をクリックします。
- 2 テキストエディターが開いてから、ファイルの変更を行います。
- 3 ファイルを保存し、終了します。

参考: コマンドファイルを編集して保存すると、ローカルまたはネットワークにある既存ファイルの内容が上書きされます。

プロログ/エピログファイルを削除する

- 1 [拡張機能] > [プロログ/エピログ] で、リストから [プロログ/エピログ データファイル] を選択し、[削除] をクリックします。
- 2 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して [はい] をクリックします。

参考: プロログ/エピログデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカル PC に残っています。

ウォーターマーク

ウォーターマークは目に見える画像またはパターンで、ページ上または文書全体に配置できます。デフォルトのウォーターマークを 1 つ選択するか、独自の文字列を作成するか、または画像を使用することができます。ダイアログボックスのプレビュー領域には、ウォーターマークがどのように表示されるかが示されます。これはウォーターマークの外観や位置を変更するとき便利です。

デフォルトのウォーターマークは限られた数のオプションしか変更できませんが、どのウォーターマークでも編集可能です。

ウォーターマークに画像を使用したい場合は、印刷ジョブに追加する前に、お使いの PC で画像ファイルを準備しておく必要があります。

ウォーターマークの[間隔]には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。[デバイス設定] からアクセスして、[ユーザー設定] ダイアログボックスの[単位]設定を変更できます。

管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[ウォーターマーク]を選択することによって、すべてのジョブにウォーターマークが印刷されるようにすることができます。

[ロック設定]を行う前に、[ウォーターマーク]をオンにしておく必要があります。[ウォーターマーク]がオフのまま[ロック設定]を行った場合、すべてのユーザーは[ウォーターマーク]が使用できなくなります。

ウォーターマーク文字列を追加または編集する

- 1 **[拡張機能]>[ウォーターマーク]**で**[新規]**をクリックしてカスタムのウォーターマーク文字列を作成します。
デフォルトまたはカスタムのウォーターマーク文字列を編集するには、リストから対象の文字列を選択します。
- 2 **[設定名]**に、最大 39 文字で名前を入力します。デフォルトのウォーターマーク名は変更できません。
- 3 **[ウォーターマーク文字列]**に、希望する文字列を入力します。デフォルトのウォーターマーク文字列を編集する場合は、このオプションは使用できません。
- 4 文字列のフォント、サイズ、スタイルを設定します。
- 5 リストからウォーターマーク文字列の色を選択します。
デフォルトの色から選択するか、あるいは、カスタム色設定の場合には**[カスタム]**を選択して**[色の設定]**ダイアログボックスを開きます。**[基本色]**の中から色を選んでクリックし**[OK]**をクリックするか、**[色の作成]**をクリックしてカラーマトリックスを表示します。

参考: **[簡単設定]**、**[基本設定]**、または**[印刷品質]**タブで**[2 色カラー]**が選択されている場合、その選択した色の組み合わせでウォーターマーク文字列が印刷されます。

- 6 ウォーターマークの**[数]**は 20 個まで設定できます。**[間隔]**のボックスに、2 つ以上のウォーターマーク文字列の間の距離をインチまたはミリメートルで入力、または選択します。
- 7 **[角度]**、**[水平位置]**、**[垂直位置]**ボックスで、ウォーターマーク文字列の位置を選択します。
プレビュー領域の下にあるボタンをクリックしてからウォーターマーク文字列をクリックして、文字列の位置と角度を変更することもできます。ウォーターマーク文字列を、ドラッグ操作で移動または回転できます。
ダイアログボックスの下部にある**[中心を軸に回転]**チェックボックスでは、ウォーターマーク文字列の回転方法を設定できます。**[中心を軸に回転]**チェックボックスにチェックを入れると文字列の中央を、チェックを外すと文字列の左端を軸にして、ウォーターマーク文字列の回転を調整できます。
- 8 **[印刷面]**で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。
[すべてのページ]
このオプションは、文書の各ページにウォーターマークを印刷します。
[最初のページのみ]
このオプションは、文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

[最初のページ以外すべて]

このオプションは、最初のページの後、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

[指定したページ]

このオプションは、テキストボックスに入力した番号のページにウォーターマークを印刷します。

[表紙の外側]

このオプションは、表紙にウォーターマークを印刷します。このオプションは、**[表紙/合紙]** タブで **[表紙付け]** が選択されている場合に使用可能です。**[表紙/合紙]** タブで、**[表紙付け]** と **[表紙のみ]** / **[外側]** または **[表紙と裏表紙]** / **[外側]** の両方が選択されている場合は、**[表紙の外側]** が自動的に選択されます。

9 **[追加]** をクリックし、ウォーターマークを保存します。

10 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ウォーターマークイメージを追加または編集する

1 **[拡張機能]** > **[ウォーターマーク]** で **[新規]** をクリックし、カスタムのウォーターマークイメージを作成します。

カスタムのウォーターマークイメージを編集するには、リストから対象のイメージを選択します。

2 **[設定名]** に、最大 39 文字で名前を入力します。

3 **[ウォーターマークイメージ]** で **[参照]** をクリックし、お使いのコンピュータに保存しているイメージファイル（ビットマップ、JPEG、GIF、PNG）を選択します。

4 **[縮小/拡大]** で、ウォーターマークイメージのサイズを「1%」から「1000%」までの間で指定して、縮小または拡大します。**[自動]** を選択すると、イメージ全体がページの中心に配置されます。

5 **[不透明度]** では、ウォーターマークイメージの濃度を 1% から 100% までの間で選択します。

6 **[カラー]** では、ウォーターマークイメージをフルカラーで印刷するか、黒トナリだけを使用して印刷するかを選択します。

参考: **[簡単設定]**、**[基本設定]**、または **[印刷品質]** タブで **[2 色カラー]** が選択されている場合、その選択した色の組み合わせでウォーターマークイメージが設定されます。

7 **[角度]**、**[水平位置]**、**[垂直位置]** ボックスで、ウォーターマークイメージの位置を選択します。**[自動]** を選択すると、イメージ全体がページの中心に配置されます。

プレビュー領域の下にあるボタンをクリックしてからウォーターマークイメージをクリックし、イメージの位置と角度を変更することもできます。ウォーターマークイメージを、ドラッグ操作で移動または回転できます。

ダイアログボックスの下部にある **[中心を軸に回転]** チェックボックスでは、ウォーターマークイメージの回転方法を設定できます。**[中心を軸に回転]** チェックボックスにチェックを入れるとイメージの中央を、チェックを外すとイメージの左端を軸にして、ウォーターマークイメージの回転を調整できます。

8 **[印刷面]** で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。

[すべてのページ]

このオプションは、文書の各ページにウォーターマークを印刷します。

[最初のページのみ]

このオプションは、文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

[最初のページ以外すべて]

このオプションは、最初のページの後、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

[指定したページ]

このオプションは、テキストボックスに入力した番号のページにウォーターマークを印刷します。

[表紙の外側]

このオプションは、表紙にウォーターマークを印刷します。このオプションは、**[表紙/合紙]** タブで **[表紙付け]** が選択されている場合に使用可能です。**[表紙/合紙]** タブの **[表紙付け]** で、**[表紙のみ]** と **[外側]** が選択されている場合は、**[表紙の外側]** が自動的に選択されます。

9 **[追加]** をクリックし、ウォーターマークを保存します。

10 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

セキュリティ・ウォーターマーク

[セキュリティ・ウォーターマーク] は、ほとんど目で見ることのできない画像やテキストを背景に印刷するプラグインです。セキュリティ・ウォーターマークは、印刷したページをコピーした場合にのみ表示されます。この機能により、コピーが禁止されている印刷文書を識別したり、元の文書とコピーされた文書を区別したりすることを可能にします。標準では、6種類のテキストまたは画像のセキュリティ・ウォーターマークを使用できますが、ユーザー独自のセキュリティ・ウォーターマーク文字列を作成することもできます。

[オプションのコンポーネントウィザード] では、プリンタードライバのインストール後、**[セキュリティ・ウォーターマーク]** プラグインをインストールできます。

[PCL XL] が PDL として選択されている場合、**[拡張機能]** タブで **[セキュリティ・ウォーターマーク]** が使用できます。

デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークは限られた数のオプションしか変更できませんが、どのセキュリティ・ウォーターマークでも編集可能です。

セキュリティ・ウォーターマークの **[ガードパターン]** 機能を使用すると、ガード機能に対応している機種使用時には、文書が不正にコピー、スキャン、ファクス送信されたり、メモリーから印刷されたりすることを防ぎます。スキャン、ファクス送信、あるいはメモリーからの印刷が試みられると、印刷処理が停止し、プリントデバイスの動作パネルにメッセージが表示されます。

セキュリティ・ウォーターマークを効果的に使用するには、印刷した用紙ではほとんど見えないようにし、コピーした用紙ではっきり表示されるようにする必要があります。プリントデバイスとドライバーの設定は、印刷ジョブによってそれぞれ異なるため、セキュリティ・ウォーターマークを印刷する前に、パターンの濃度とコントラストの調整を行う必要があります。このパターン調整は、背景パターンを変更した際、トナーまたはプリントデバイスを交換した際、負荷の高い印刷を行った後にも行うことをお勧めします。

[セキュリティ・ウォーターマーク]を選択すると、ドライバーの各機能は次のように設定されます。

[拡張機能] タブの **[ウォーターマーク]** は、**[なし]** に設定されます。

[印刷品質] > **[品質設定]** > **[ユーザー定義]** > **[カスタム品質の設定]** で、**[解像度]** は **[600 dpi]** に設定されます。

[印刷品質] > **[品質設定]** > **[ユーザー定義]** > **[カスタム品質の設定]** で、**[KIR (スムージング)]** は、**[オフ]** に設定されます。

[印刷品質] タブの **[色再現モード]** が **[線画]** に設定されます。

[簡単設定]、**[基本設定]**、または **[印刷品質]** の **[エコプリント]** は **[オフ]** に設定されます。

[印刷品質] タブの **[調整]** は、**[なし]** に設定されます。

[拡張機能] タブの **[単色調整]** は、**[なし]** に設定されます。

また、この逆も同様です。これらの設定が変更された場合、**[セキュリティ・ウォーターマーク]** の選択は **[なし]** に設定されて使用できません。

管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ロック設定]** を選択し、**[セキュリティ・ウォーターマーク]** を選択することによって、すべてのジョブにセキュリティ・ウォーターマークを印刷できます。

[ロック設定] を行う前に、**[セキュリティ・ウォーターマーク]** をオンにしておく必要があります。**[セキュリティ・ウォーターマーク]** がオフのまま **[ロック設定]** を行った場合、すべてのユーザーは **[セキュリティ・ウォーターマーク]** が使用できなくなります。

セキュリティ・ウォーターマークを追加または編集する

- 1 **[拡張機能]** > **[セキュリティ・ウォーターマーク]** で **[新規]** をクリックしてカスタムのセキュリティ・ウォーターマークを作成します。
デフォルトまたはカスタムのセキュリティ・ウォーターマークを編集するには、リストから対象のセキュリティ・ウォーターマークを選択します。
- 2 **[セキュリティ・ウォーターマーク名]** に、名前を入力します (最大 39 文字)。デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークの名前は変更できません。
- 3 **[文字列]** では、最大 3 行までのテキストを入力します。デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークを編集する場合は、このオプションは使用できません。次のオプションから選択してください。

[なし]

このオプションは、空行のままにします。

[ユーザー定義]

このオプションには、最大 39 文字までのテキストを入力することができます。

これ以外のオプションでは、ジョブの印刷時に PC またはプリンタードライバーから取得した日付や時刻およびその他のジョブ情報が表示されません。

- 4 文字列のフォント、サイズ、スタイルおよび角度を選択します。
- 5 セキュリティー・ウォーターマークの背景となるデザインを選択します。
 - [ガードパターン]
ガードパターンは、セキュリティー・ウォーターマークの背景として表示されます。
 - [パターン]
セキュリティー・ウォーターマークの背景となるデザインを選択します。
- 6 [カラー] リストから、セキュリティー・ウォーターマークのカラーを選択します。オプションは、[黒]、[シアン]、または[マゼンタ]です。

参考: [簡単設定]、[基本設定]、または [印刷品質] タブで、[2 色カラー] が選択されている場合、その選択した色の組み合わせでセキュリティー・ウォーターマーク文字列が印刷されます。

- 7 [濃度] および [コントラスト] で、次の中から初期オプションを選択します。
 - [うすく]、[普通]、[こく]
背景パターンの濃度を選択します。
 - [コントラスト 1-9]
背景パターンに対するコントラストを、最も薄いレベルから最も濃いレベルの中で選択します。

ここでの選択内容は、次の手順でサンプルを印刷した結果を見て、必要に応じて変えることができます。
- 8 [サンプル印字] をクリックすると、選択したパターン濃淡で 9 種類のすべてのコントラストが表示されたページを印刷することができます。パターン濃淡のオプションごとに、サンプルページを印刷することをお勧めします。
- 9 サンプル印刷の中から、セキュリティー・ウォーターマークが最も写っていないサンプルを選びます。
- 10 [セキュリティー・ウォーターマーク] ダイアログボックスで、手順 9 にて選択したサンプルにマッチする [濃度] および [コントラスト] のオプションを選択します。
- 11 [印刷面] で、セキュリティー・ウォーターマークを印刷するページを選択します。
 - [すべてのページ]
このオプションは、文書の各ページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - [最初のページのみ]
このオプションは、文書の最初のページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - [最初のページ以外すべて]
このオプションは、最初のページの後、すべてのページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。

[指定したページ]

このオプションは、テキストボックスに入力した番号のページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。

[表紙の外側]

このオプションは、表紙にセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。このオプションは、[表紙/合紙] タブで [表紙付け] が選択されている場合に使用可能です。[表紙/合紙] タブの [表紙付け] で、[表紙のみ] と [外側] が選択されている場合は、[表紙の外側] が自動的に選択されます。

- 12 ウォーターマークの文字列の 1 行目をページの下部に印刷する場合は、[フッターにも印刷] を選択します。アイコンをクリックして、ページの位置を選択します。このオプションは、通常セキュリティー・ウォーターマークそのものは印刷ページに表示されないもので、便利です。
- 13 [セキュリティー・ウォーターマーク] は、デフォルトで [上書きモード] に設定されています。セキュリティー・ウォーターマークは文書データの上に重なって印刷されるため、印刷物の上にきちんと表示されるようになります。
- 14 [追加] をクリックし、セキュリティー・ウォーターマークを保存します。
- 15 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

簡単色調整

[簡単色調整] を使用して、印刷ジョブで単一の色を正確に一致させることができます。この機能を使用して、レターヘッドや会社のロゴなどの文書を印刷できます。色は無地でムラがなく、濃淡なしでなければなりません。複数の色は、1 色ずつ調整されます。[簡単色調整] は、写真を使用した文書では機能しません。

[簡単色調整] ダイアログボックスでは、スポイトツールを画面上の文書にドラッグして色を選択するか、RGB 値を入力できます。プリンターアイコンをクリックして印刷されるシートの、121 色あるカラーバリエーションの中から 1 色を選択できます。[色合い]、[明るさ]、[彩度] の設定は、選択したバリエーションにしたがってドライバーで調整されます。

[簡単色調整] > [色調整] 機能で、最大 3 つのカスタム選択設定を作成できます。[色再現モード] オプションも選択可能です。

参考: [簡単色調整] と [印刷品質] タブの [調整] とで異なるカスタム設定が選択された場合は、一番最近行った変更が優先され、印刷ジョブに適用されます。

インストールされている場合は、[簡単色調整] ボタンが [拡張機能] タブに表示されます。次の設定の場合、[簡単色調整] ボタンは使用できません。

[PDF] が PDL として選択されている場合

[管理者設定] > [ロック設定] で [白黒モード] が選択されている場合

[印刷品質]、[基本設定]、または [簡単設定] タブで、[白黒] または [2 色カラー] が選択されている場合

[印刷品質] タブの [色再現モード] で、[中国紅] が選択されている場合

RGB 色を印刷向けに最適化する

- 1 目的の色が含まれる文書を開きます。

- 2 アプリケーションの【ファイル】メニューから、【印刷】をクリックし、次に【設定】または【プロパティ】をクリックして【プロパティ】ダイアログボックスを開きます。
- 3 【拡張機能】>【単色調整】>【色調整】で、【カスタム 1】、【カスタム 2】、または【カスタム 3】のいずれかを選択します。
- 4 【色再現モード】で、文書に最適なオプションを選択します。
- 5 次のいずれかの方法で各色を選択します。
 - スポイトツールをクリックして画面上の目的の位置へドラッグし、目的の色を選択します。
 - 色の RGB 値がわかっている場合は、RGB の各ボックスにその値を入力するか、上矢印または下矢印ボタンをクリックして値を調整します。色のプレビューボックスに色が表示されます。
- 6 【色合い】、【明るさ】、【彩度】の設定からいずれか 2 つを選択します。
- 7 プリンターアイコンをクリックして、選択した色の色調整テーブルを 1 ページ印刷します。印刷されたシートから、目的のバリエーションを選択します。
- 8 【単色調整】ダイアログボックスで、色のプレビューボックス横にあるスピンボックスに、バリエーションの番号/文字の組み合わせを入力するか、または選択します。
- 9 【追加】をクリックして、各色をリストに追加します (最大 10 色)。リストで色を選択し、【削除】をクリックすると色を削除できます。
- 10 必要に応じて、【内容】ボックスにカスタム設定の説明を最大 30 文字で入力します。この説明は、【単色調整】ダイアログボックスにのみ表示されます。
- 11 【OK】または【適用】をクリックして、設定を保存します。

ステータスマニター通知

【ステータスマニター】は、ジョブの印刷中にプリントデバイスのステータス情報を表示します。プリントデバイスのイベントに、サウンドと音声による通知を設定することもできます。

サポートされているプリントデバイスごとに、ステータスマニターを起動できます。同時に複数のステータスマニターを表示できます。

ステータスマニター通知を設定する

- 1 【拡張機能】タブで、【ステータスマニター】をクリックします。
- 2 【ステータスマニター通知】ダイアログボックスで、【イベントの通知を有効にする】チェックボックスを選択します。

- 3 サウンドまたは音声による通知を追加するには、**[有効なイベント]** リストからイベントを選択します。
 - [カバーオープン]**
 - [紙づまり]**
 - [用紙切れ]**
 - [スリープ]**
 - [トナー切れ]**
 - [トナー残量少]**
 - [未接続]**
 - [印刷完了]**
 - [その他]**
- 4 **[サウンドファイル / 読み上げるテキスト]** の下で、選択したイベントの右側をクリックし、次に進みます。

サウンドファイルを追加するには、サウンドファイル (.WAV) の場所を入力するか、**[参照]** をクリックして、PC に保存しているサウンドファイルを見つけます。

音声を追加するには、任意のテキストを 260 文字以内で入力します。Microsoft 社の**[音声合成]** 機能は、入力したテキストを音声で読み上げます。
- 5 他のイベントにサウンドまたは音声を追加するには、手順 3 と手順 4 を繰り返します。
- 6 **[OK]** をクリックします。

ステータスマニターを表示する

- 1 ステータスマニターに印刷ジョブやプリントデバイスの情報を表示して確認することができます。

ジョブタブには、各印刷ジョブの情報が表示されます。ジョブをキャンセルするには、ジョブを右クリックして**[キャンセル]** をクリックします。

給紙タブには、各カセットと **[手差しトレイ]** の情報が表示されます。

トナータブには、各トナーのレベルが表示されます。

警告タブには、**[待機中]** またはイベント情報が表示されます。複数のイベントの場合、各イベントをクリックして詳細を表示します。
- 2 矢印をクリックして、詳細の表示・非表示を切り替えます。
- 3 オプションのリストを表示するには、ツールアイコンをクリックして使用できるオプションを選択します。
 - [Command Center RX]**

ネットワークに接続している場合、ブラウザーを開いてプリントデバイスのホームページを表示します。このオプションはUSB接続では使用できません。
 - [通知]**

[ステータスマニター通知] ダイアログボックスを開きます。

[www.kyoceradocumentsolutions.com]

Web ブラウザーが起動し、[京セラドキュメントソリューションズ株式会社] のホームページが開きます。

[アプリケーションの終了]

ステータスマニターを閉じます。

EMF スプール

エンハンスメタファイル (EMF) は、Microsoft Windows オペレーティングシステムによる印刷で使用するスプールファイル形式です。アプリケーションから印刷ジョブが送られると、ジョブはスプールファイルに転送されます。アプリケーションはスプールファイルに書き込み、プリンタードライバーは同時にスプールファイルから読み取ります。複数の文書や大量の文書を印刷する場合、この機能を使用すると、プリンターがまだ文書を印刷している間でもユーザーはアプリケーションにすばやく戻ることができます。

参考: [EMF スプールを行う] は、[ページ記述言語 (PDL)] ダイアログボックスで [パススルーモード] が選択されている場合は使用できません。

EMF スプールを選択する

- 1 [拡張機能] タブで、[EMF スプールを行う] チェックボックスを選択します。
- 2 [OK] をクリックします。

クライアントプロファイルを有効にする

クライアント PC 上で保存されているプロファイル設定を、クライアントプロファイルと呼びます。ローカルプロファイルとサーバープロファイルのどちらを使用するかを選択できます。この機能は、クライアント/サーバー環境のクライアント PC 側で使用します。

サーバーからプロファイルを選択し、ドライバで作成された印刷ジョブに適用するには、[拡張機能] タブで、[クライアントプロファイルを有効にする] チェックボックスをオフにします。サーバープロファイルは読み取り専用です。

[クライアントプロファイルを有効にする] チェックボックスをオンにすると、クライアント側で作成したプロファイルが使用されます。



お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号

<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>

お客様
相談窓口



0570-046562

受付時間

● 9:00～17:00

(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。